
鳴門市
子育てに関するアンケート調査

調査結果報告書

令和6年3月

鳴門市

目次

I 調査の概要	1
II 調査結果《就学前児童》	3
あて名のお子さんご家族の状況	4
お子さんをめぐる環境	7
保護者の就労状況	14
平日の定期的な教育・保育事業の利用	26
地域の子育て支援事業の利用状況	34
土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用 希望について	40
病気の際の対応	45
不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	52
小学校就学後の放課後の過ごし方	61
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	69
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	80
行政への要望	86
III 調査結果《小学生児童》	88
あて名のお子さんご家族の状況	89
お子さんをめぐる環境	92
保護者の就労状況	97
病気の際の対応	105
不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	111
放課後の過ごし方	119
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	128
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	139
行政への要望	143

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和6年度（2024）に策定する「第3期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の基礎資料として、教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、本市で確保すべき教育・保育・子育て支援に関する「量の見込み」を算出するため、鳴門市内の就学前児童・小学生児童の保護者の方を対象にアンケート（ニース）調査として実施しました。

2 調査概要

- (1)調査地域：鳴門市全域
- (2)調査対象者：①就学前児童 鳴門市内在住の0～6歳の未就学の子どもがいる世帯（令和5年11月末現在）
②小学生児童 鳴門市内の小学校に通う1～3年生の子どもがいる世帯（令和5年11月末現在）
- (3)抽出方法：住民基本台帳より、対象児童のいる世帯を全数調査
- (4)調査時期：令和5年12月14日～1月15日
- (5)調査方法：郵送配布、郵送回収による郵送調査法

調査票	調査対象世帯数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,800 世帯	549	30.5%
小学生児童	700 世帯	372	53.1%

3 報告書の見方

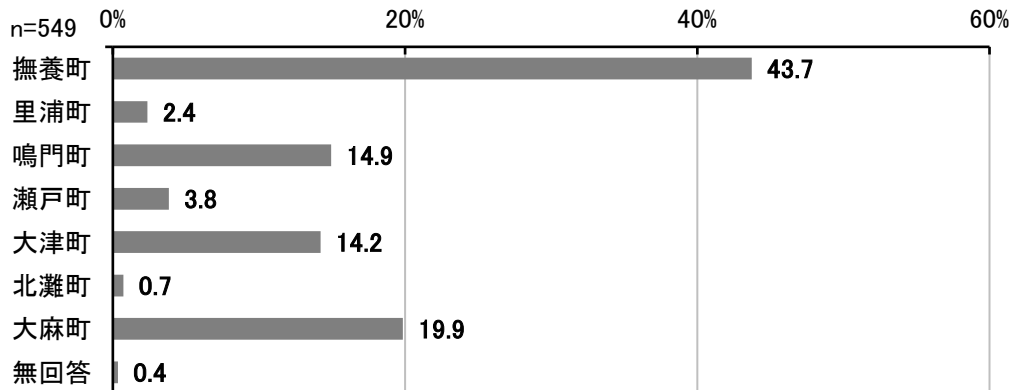
- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書の分析文章、グラフ及び表においても反映しています。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・グラフ及び表中のn（number of case）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を現しています。

II 調查結果（就学前兒童）

あて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします

問1 お住いの地区はどこですか。(1つに○)

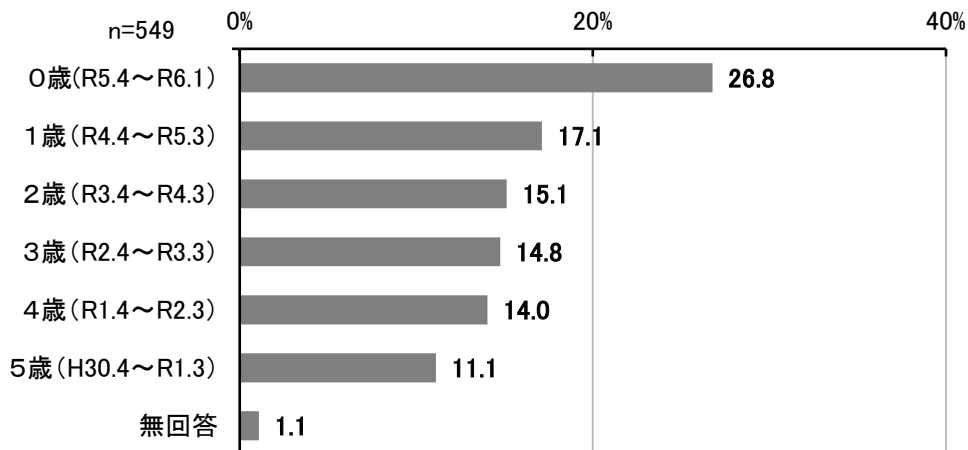
地区別に世帯の居住状況をみると、上位から「撫養町」43.7%、「大麻町」19.9%、「鳴門町」14.9%となっています。



問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

対象の子ども年齢は、上位から「0歳」26.8%、「1歳」17.1%、「2歳」15.1%となっています。

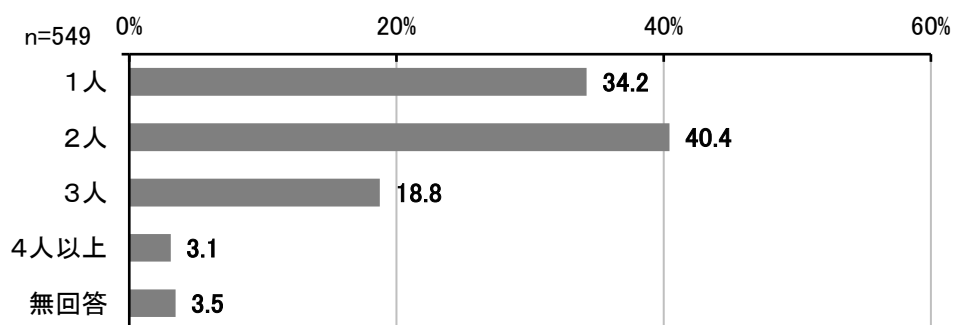
●子どもの年齢（学年齢で起算）



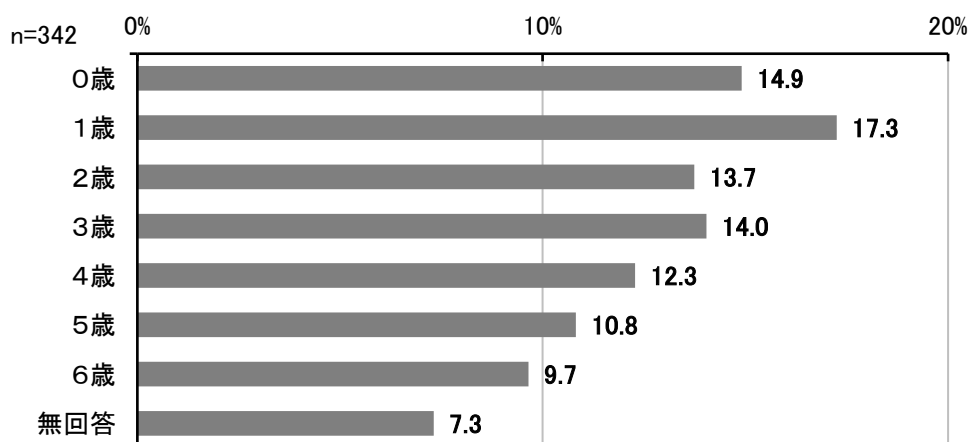
問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を枠内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年少のお子様の生年月をご記入ください。

子どもの人数は、上位から「2人」40.4%、「1人」34.2%、「3人」18.8%となっています。子どもが二人以上いる場合の末子の年齢は、「1歳」17.3%が最も高くなっています。

●子どもの人数

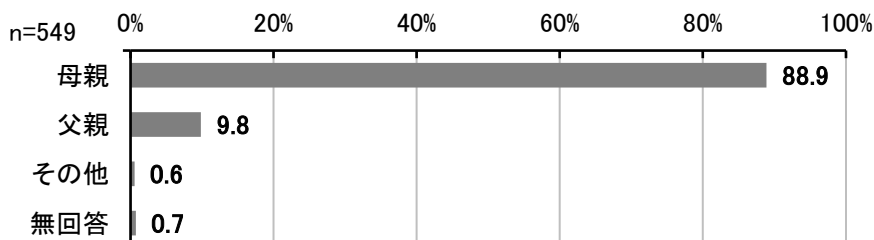


●子どもが二人以上の場合の末子の年齢（記入された生年月で起算）



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた見た関係でお答えください。(1つに○)

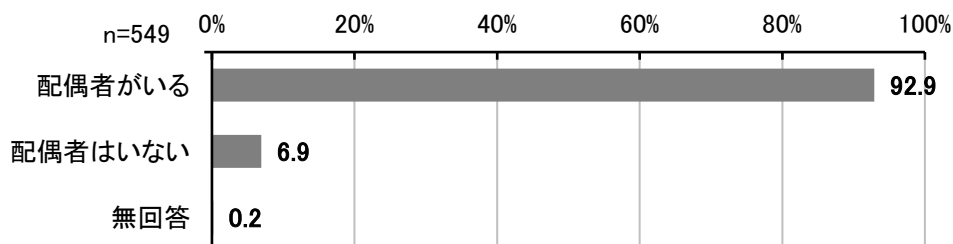
回答者は、「母親」88.9%でほとんどを占めています。「父親」は9.8%となっています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

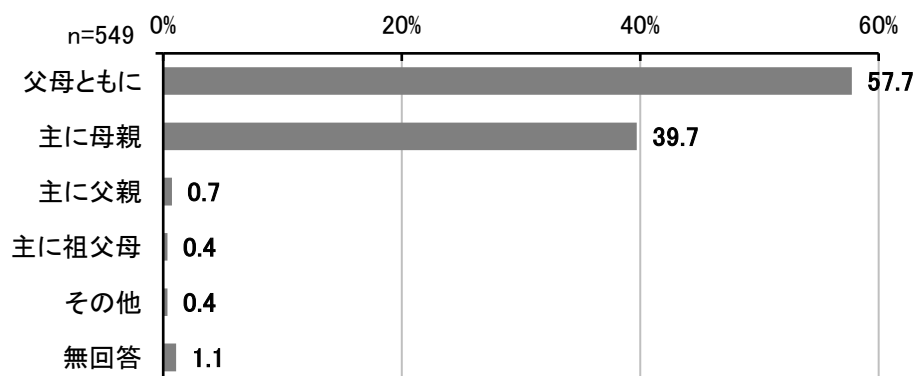
(1つに○)

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」92.9%でほとんどを占めています。「配偶者がいない」は6.9%となっています。



問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた見た関係でお答えください。(1つに○)

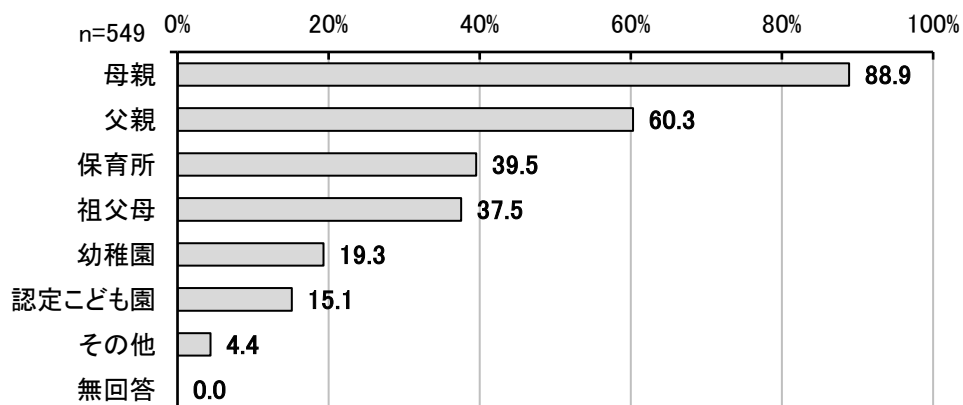
子育てを行っている方は、「父母ともに」の割合が57.7%と最も高く、次いで「主に母親」39.7%となっています。



あて名のお子さんをめぐる環境についておうかがいします

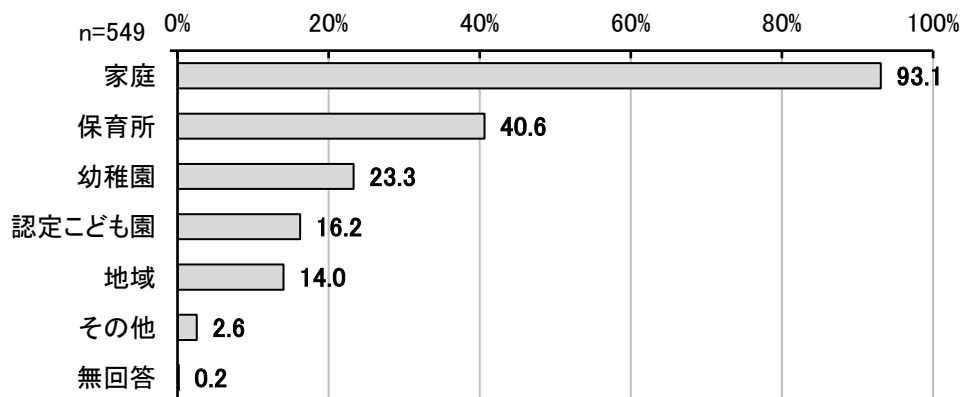
問7 あて名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

日常的に子育てに関わっている方は、「母親」の割合が88.9%と最も高く、次いで「父親」60.3%、「保育所」39.5%となっています。



問8 あて名のお子さんの子育てに、最も影響すると思われる環境についてお答えください（あてはまるものすべてに○）

子育てに最も影響すると思われる環境は、「家庭」の割合が93.1%と最も高く、次いで「保育所」40.6%、「幼稚園」23.3%となっています。

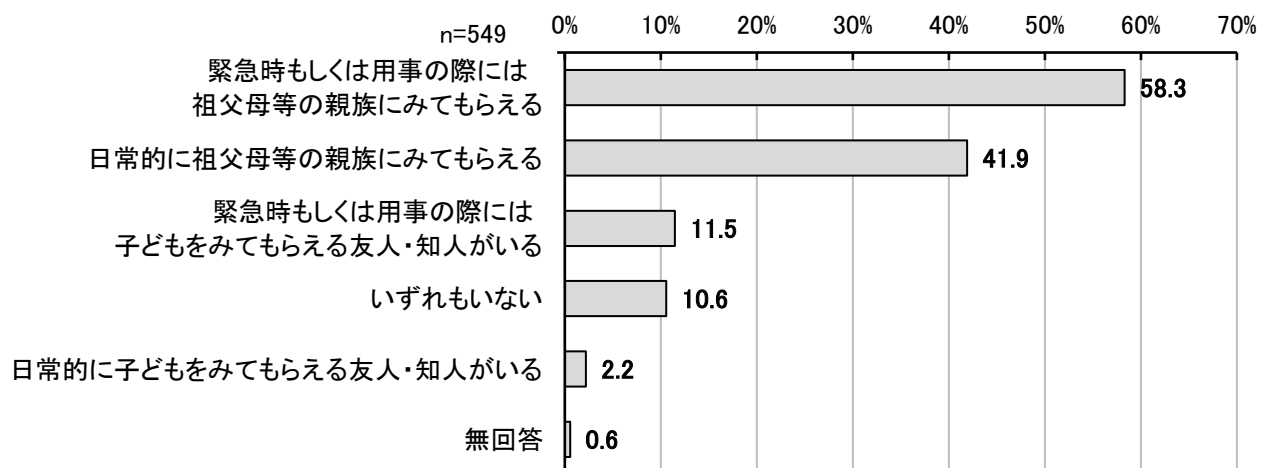


問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

■みてもらえる人の有無（あてはまるものすべてに○）

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際は祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」41.9%となっています。

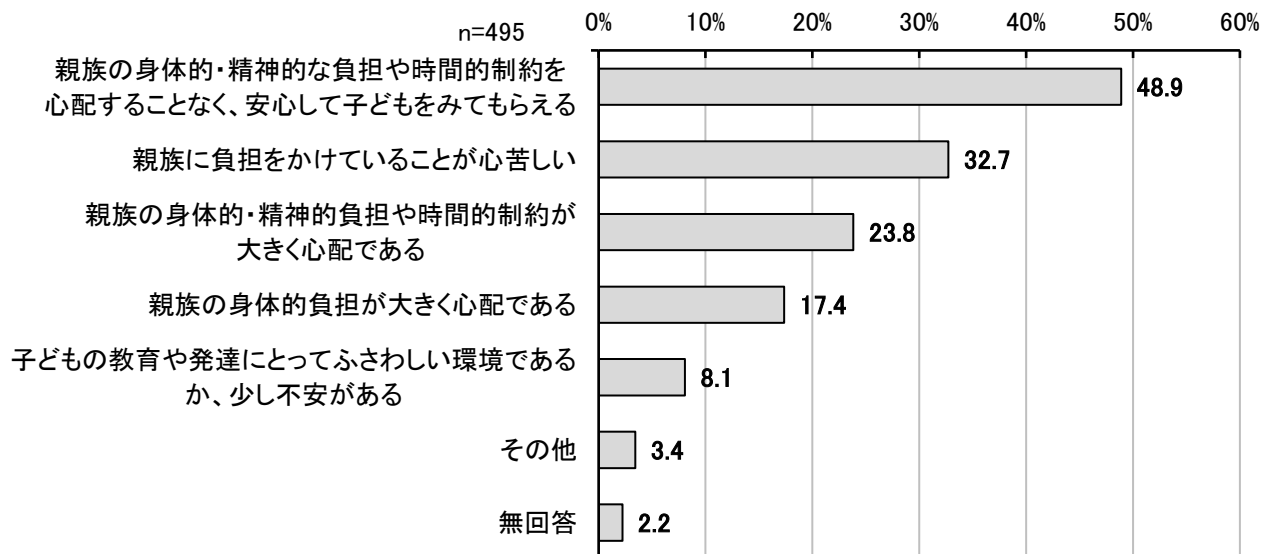
また、「いずれもない」は 10.6%となっています。



■祖父母等の親族にみてもらっている状況（あてはまるものすべてに○）

※「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた方

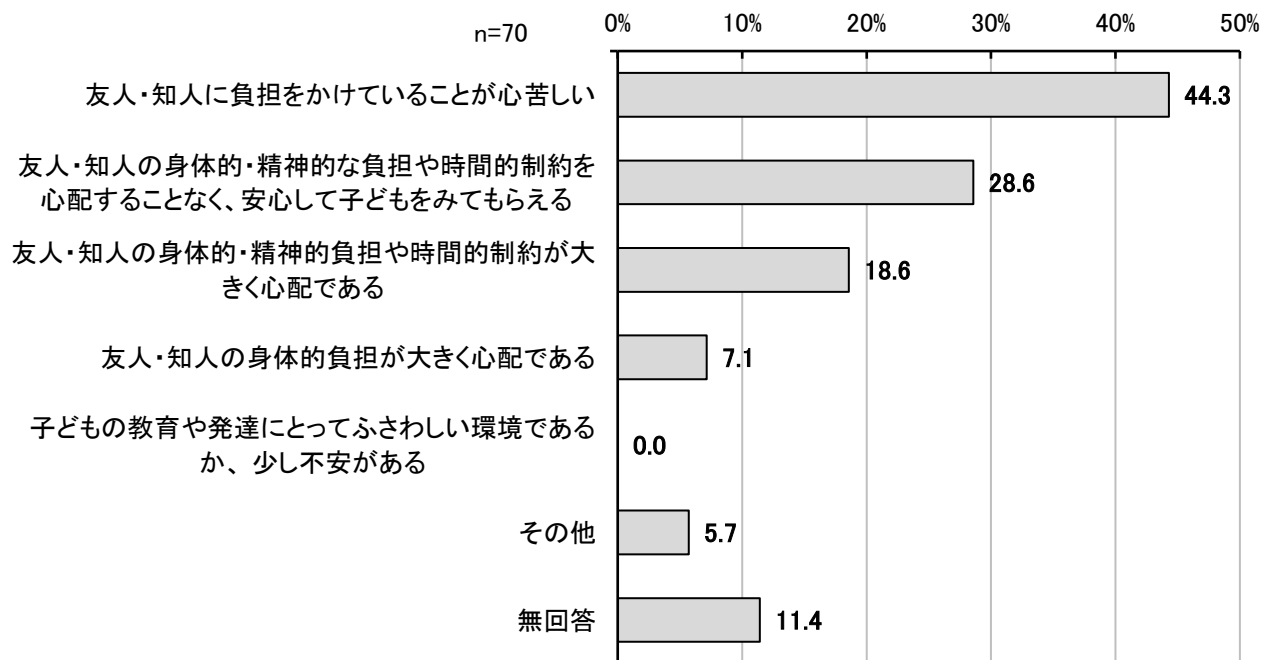
祖父母等の親族にみてもらっている状況は、上位から「親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」48.9%、「親族に負担をかけていることが心苦しい」32.7%、「親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」23.8%となっています。



■友人・知人にみてもらっている状況（あてはまるものすべてに○）

※「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と答えた方

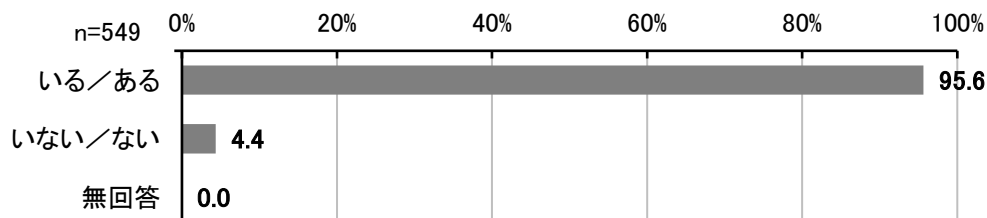
友人・知人にみてもらっている状況は、上位から「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」44.3%、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」28.6%、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」18.6%となっています。



問10 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

■相談先の有無（1つに○）

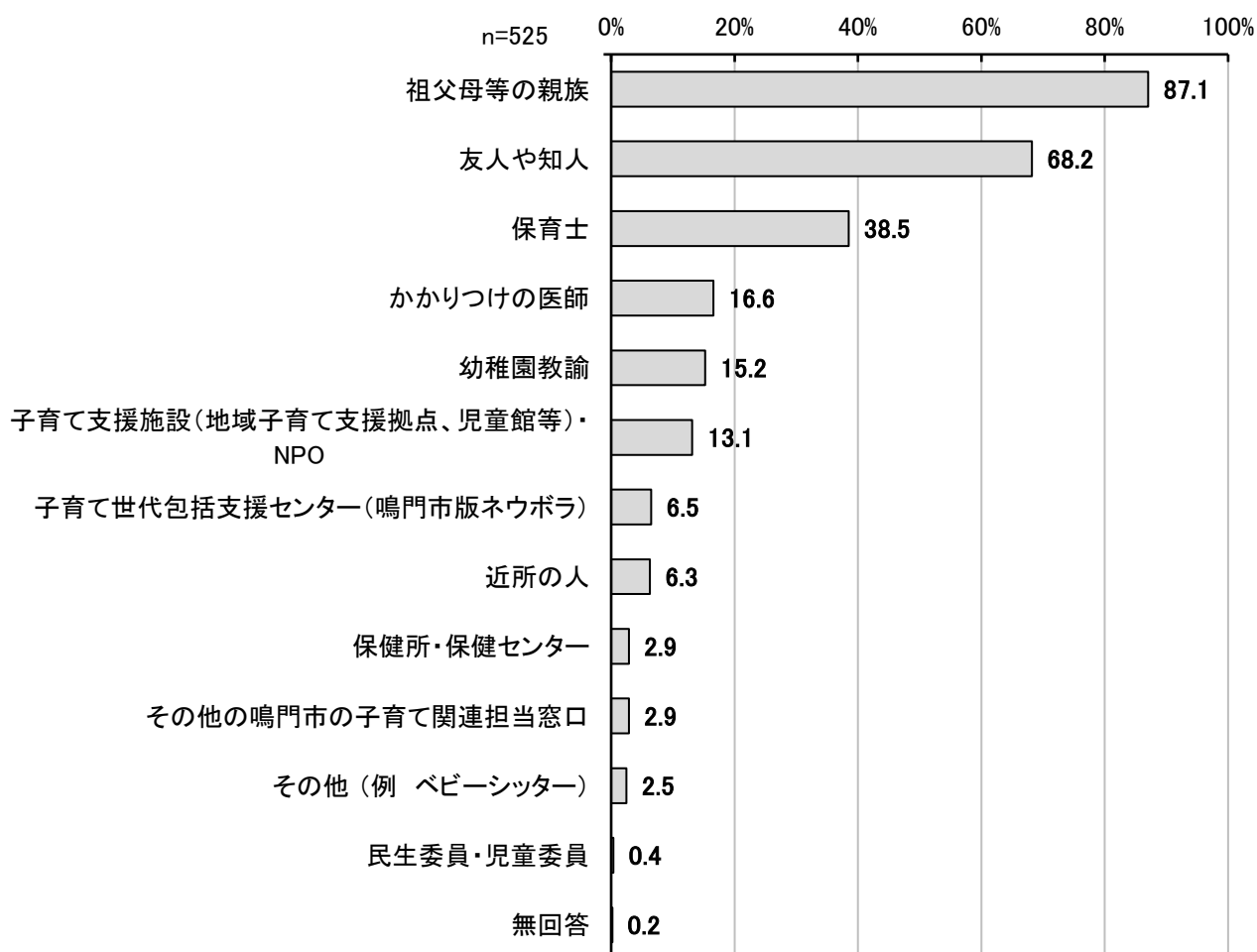
相談先の有無は、「いる／ある」95.6%でほとんどを占めています。「いない／ない」は4.4%となっています。



■相談相手（場所）（あてはまるものすべてに○）

※「1. いる／ある」と答えた方

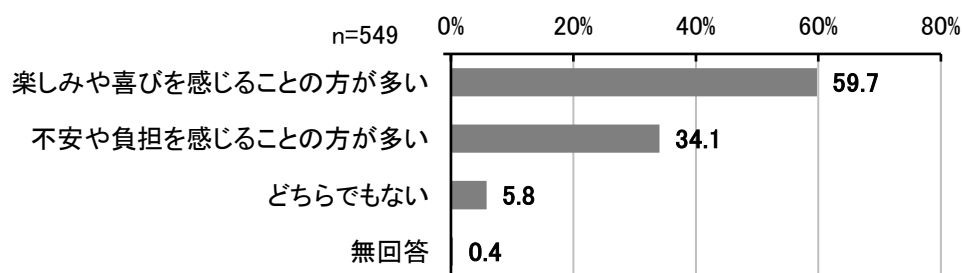
相談相手についての状況を見ると、上位から「祖父母等の親族」87.1%、「友人や知人」68.2%、「保育士」38.5%となっています。



問11 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか。

■子育てについて（1つに○）

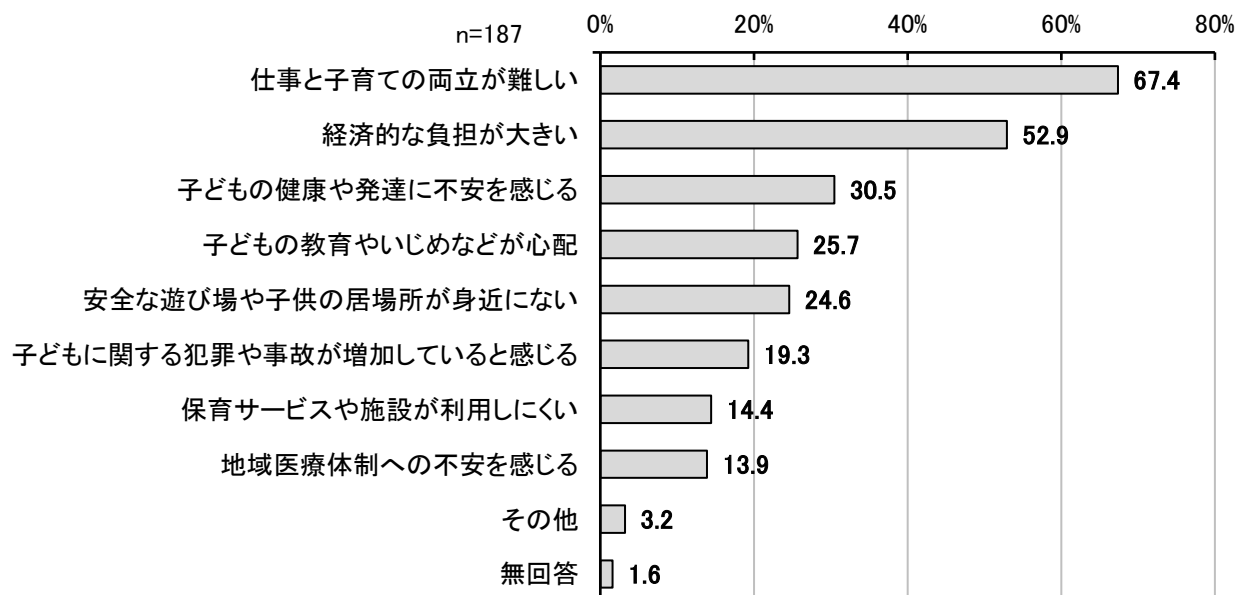
子育てについての精神的な状況を見ると、「楽しみや喜びを感じることの方が多い」の割合が59.7%と約6割となっています。一方で「不安や負担を感じることの方が多い」の割合は34.1%となっており、子育てに関して不安や負担を感じている方も多いことがうかがえます。



■不安や負担を感じる理由（あてはまるものすべてに○）

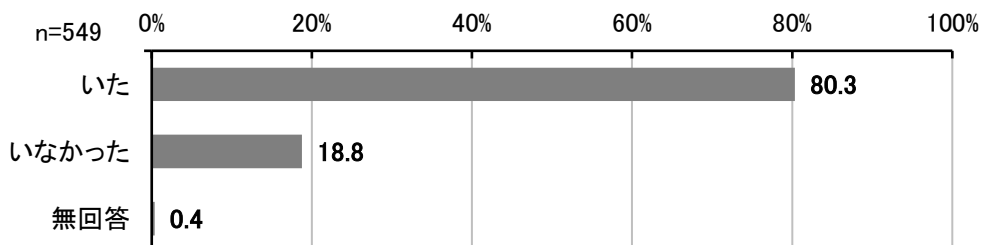
※「2. 不安や負担を感じることの方が多い」と答えた方

子育てでの不安や負担を感じる理由は、上位から「仕事と子育ての両立が難しい」67.4%、「経済的な負担が大きい」52.9%、「子どもの健康や発達に不安を感じる」30.5%となっています。



問 12 あて名のお子さんの父母以外の方（祖父母や親族、近隣の方、知人・友人、その他のヘルパーやシッターの方など）で、産後1年間の子育てを手伝ってくれたと感じる方はいましたか。（1つに○）

父母以外の子育てを手伝ってくれた人がいたかどうかについては、「いた」80.3%で8割以上を占め、「いなかった」18.8%となっています。



問 13 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

自由記載の内容については、主なものとして、「経済的支援」、「病児・病後児保育施設の充実」、「気軽に子どもを預けたり、相談できる環境づくり」に関する内容などが挙げられています。

あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします

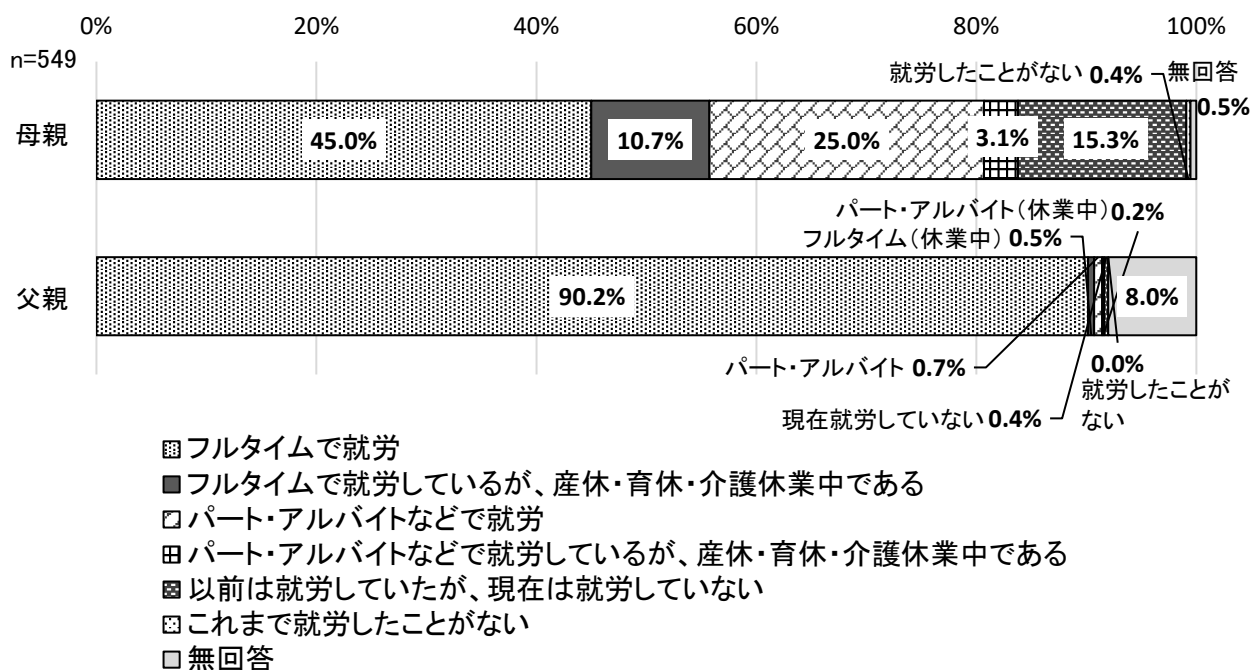
問14・15 あて名のお子さんの保護者（母親・父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についておうかがいします。

(1) 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間も含む)。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて数字でご記入ください。

(※パート・アルバイト…フルタイム以外の就労のこと)

■現在の就労状況（1つに○）

保護者の現在の就労状況は、母親は「フルタイムで就労」の割合が45.0%と最も高くなっています。また、産休・育休・介護休業中も含めると、フルタイムの割合は55.7%、パート・アルバイトの割合は28.1%となっています。父親は「フルタイムで就労」の割合が90.2%と最も高くなっています。



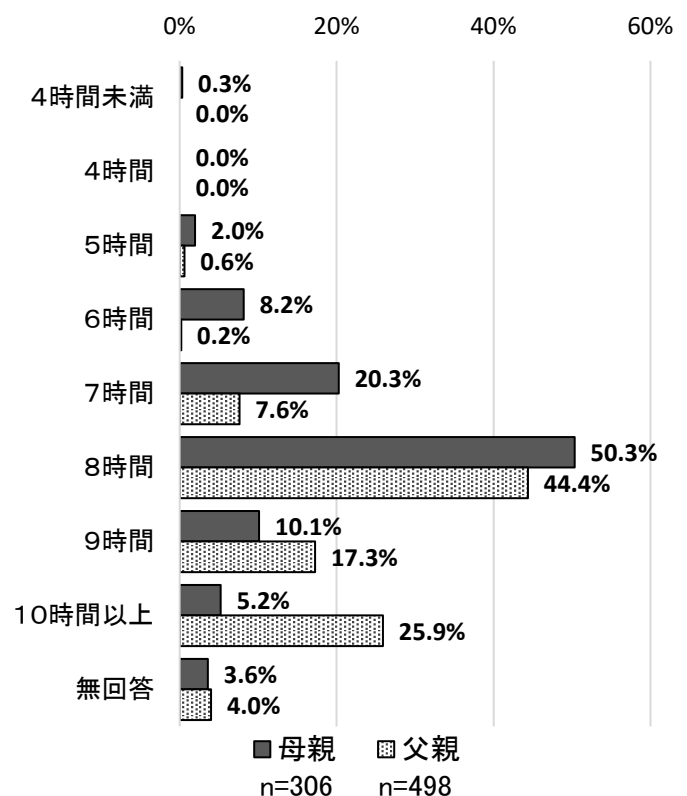
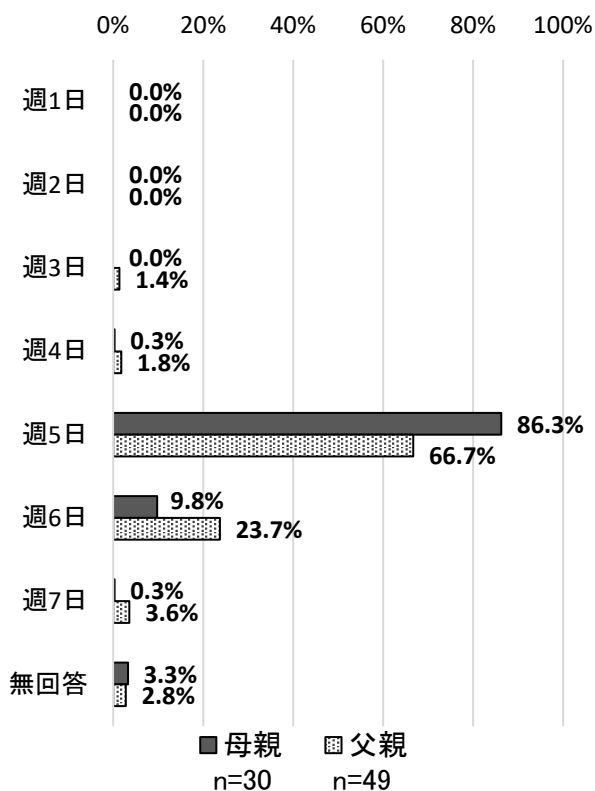
■現在の就労日数（1週間当たり）および就労時間（1日当たり）（数量回答）

※「1. フルタイムで就労」「2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

フルタイムで就労している保護者の状況は、1週間当たりの就労日数では、母親・父親ともに「5日」の割合がそれぞれ86.3%、66.7%と最も高くなっています。1日当たりの就労時間では、母親・父親ともに「8時間」の割合がそれぞれ50.3%、44.4%と最も高くなっています。

● 1週間当たりの就労日数-フルタイム

● 1日当たりの就労時間-フルタイム



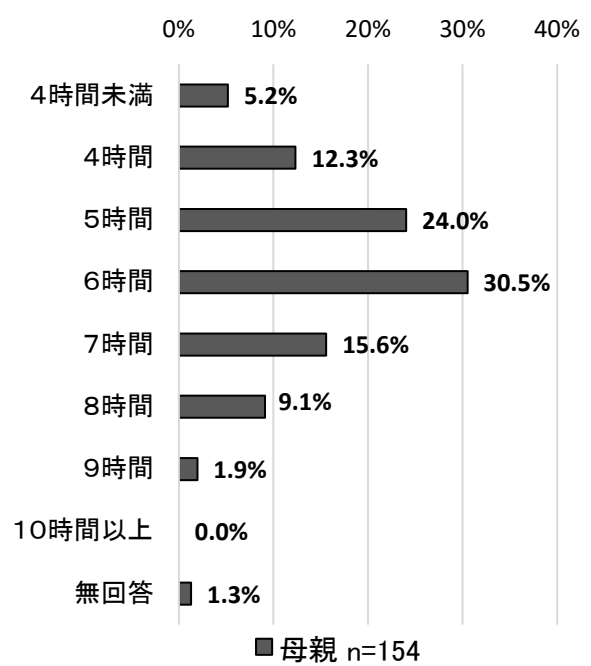
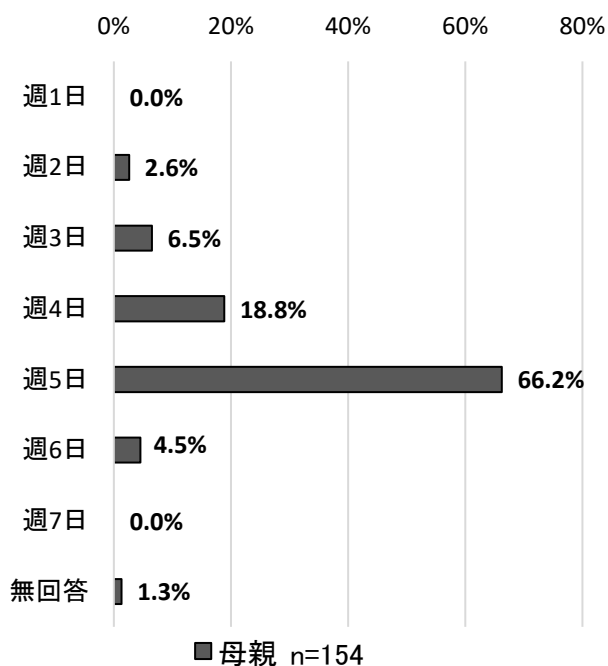
■現在の就労日数（1週間当たり）および就労時間（1日当たり）（数量回答）

※「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

パート・アルバイトなどで就労している保護者の状況は、1週間当たりの就労日数では、母親は「5日」の割合が66.2%と最も高く、父親は「5日」と「6日」が2件、「7日」が1件となっています。1日当たりの就労時間では、母親・父親ともに「6時間」の割合が最も高くなっています。

●1週間当たりの就労日数-パート・アルバイト

●1日当たりの就労時間-パート・アルバイト



父親	件数	割合 (%)
週1日	0	0.0%
週2日	0	0.0%
週3日	0	0.0%
週4日	0	0.0%
週5日	2	40.0%
週6日	2	40.0%
週7日	1	20.0%
無回答	0	0.0%
合計 (n=)	5	100.0%

父親	件数	割合 (%)
4時間未満	0	0.0%
4時間	0	0.0%
5時間	0	0.0%
6時間	2	40.0%
7時間	0	0.0%
8時間	1	20.0%
9時間	1	20.0%
10時間以上	1	20.0%
無回答	0	0.0%
合計 (n=)	5	100.0%

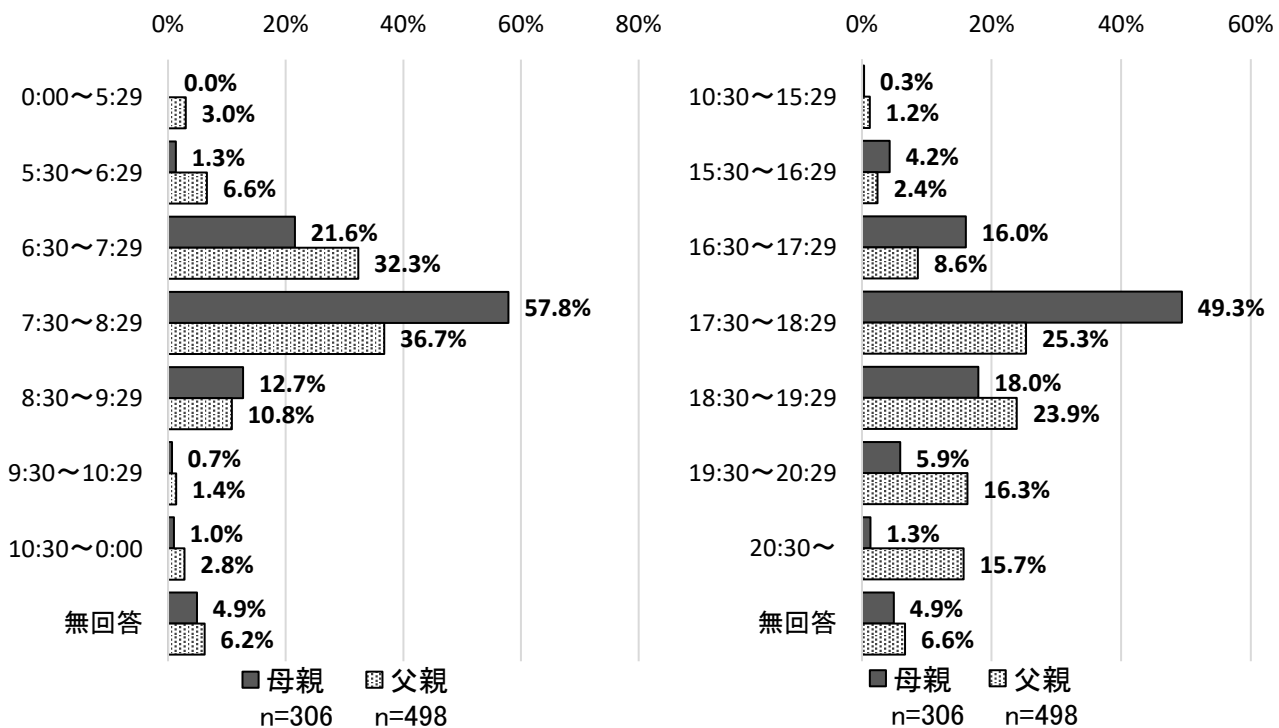
■家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

※「1. フルタイムで就労」「2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

フルタイムの出発時間と帰宅時間は、出発時間については、母親・父親ともに「7:30～8:29」の割合が最も高くなっています。帰宅時間についても、母親・父親ともに「17:30～18:29」の割合が最も高くなっています。

●出発時間-フルタイム

●帰宅時間-フルタイム



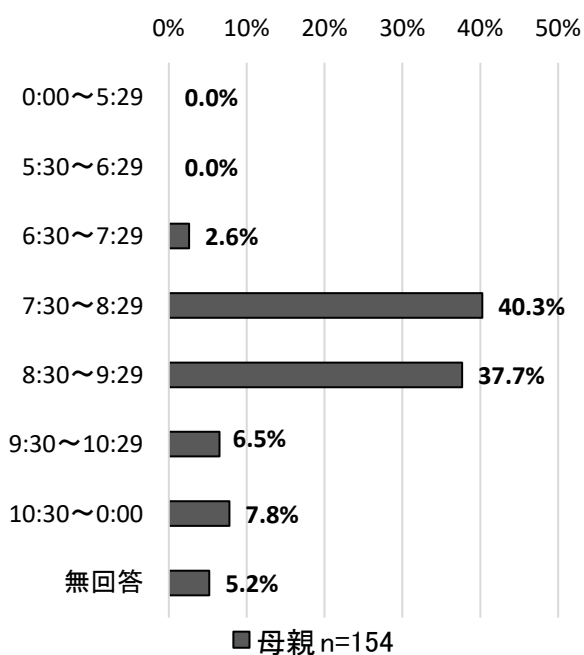
■家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

※「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

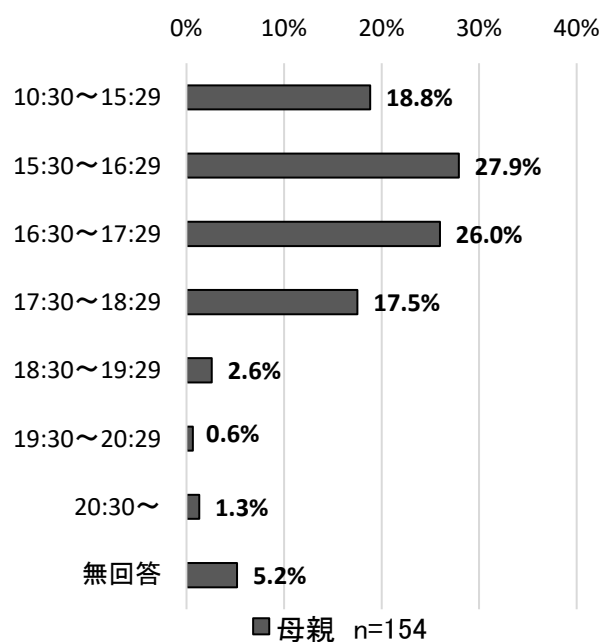
パート・アルバイト等の出発時間と帰宅時間は、出発時間については、母親は「7:30～8:29」の割合が40.3%と最も高く、次いで「8:30～9:29」37.7%となっています。父親は、「5:30～6:29」に1件、「8:30～9:29」に3件の回答がありました。

帰宅時間については、母親は「15:30～16:29」の割合が27.9%と最も高く、次いで「16:30～17:29」26.0%となっています。

● 出発時間-パート・アルバイト



● 帰宅時間-パート・アルバイト



父親	件数	割合 (%)
0:00～5:29	0	0.0%
5:30～6:29	1	20.0%
6:30～7:29	0	0.0%
7:30～8:29	0	0.0%
8:30～9:29	3	60.0%
9:30～10:29	0	0.0%
10:30～0:00	0	0.0%
無回答	1	20.0%
合計 (n=)	5	100.0%

父親	件数	割合 (%)
10:30～15:29	0	0.0%
15:30～16:29	1	20.0%
16:30～17:29	1	20.0%
17:30～18:29	1	20.0%
18:30～19:29	1	20.0%
19:30～20:29	0	0.0%
20:30～	0	0.0%
無回答	1	20.0%
合計 (n=)	5	100.0%

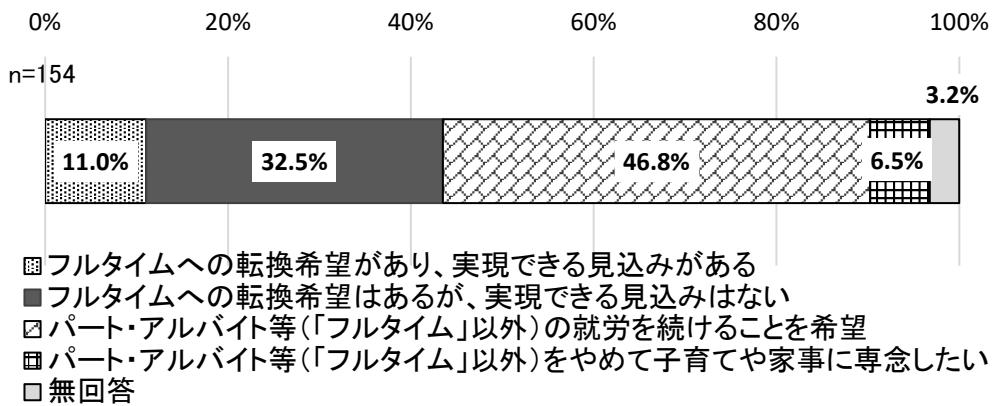
(2) フルタイムへの転職希望はありますか。(1つに○)

※「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転職希望は、母親は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が46.8%と最も高くなっています。また、『フルタイムへの転職希望がある方』（「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない」の合計）の割合は43.5%と4割を超えています。

父親でも「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が3件と最も高くなっています。

●母親



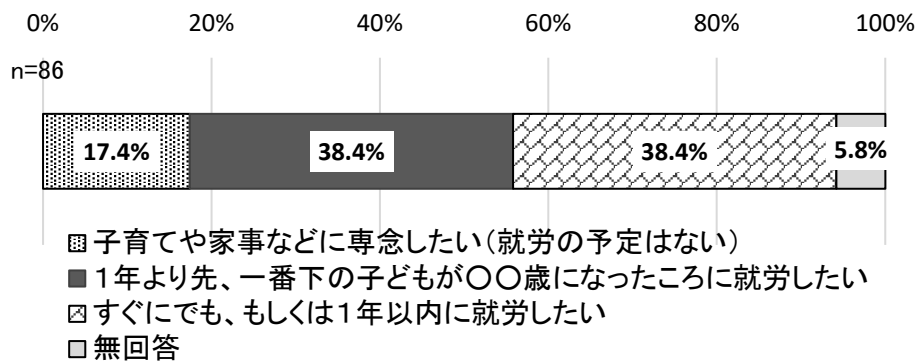
父親	件数	割合 (%)
フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	1	20.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	3	60.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	20.0%
合計 (n=)	5	100.0%

(3) 就労したいという希望はありますか。(1つに○)

※「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」と答えた方

現在就労していない方の就労希望は、母親は「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合がそれぞれ38.4%と最も高くなっています。

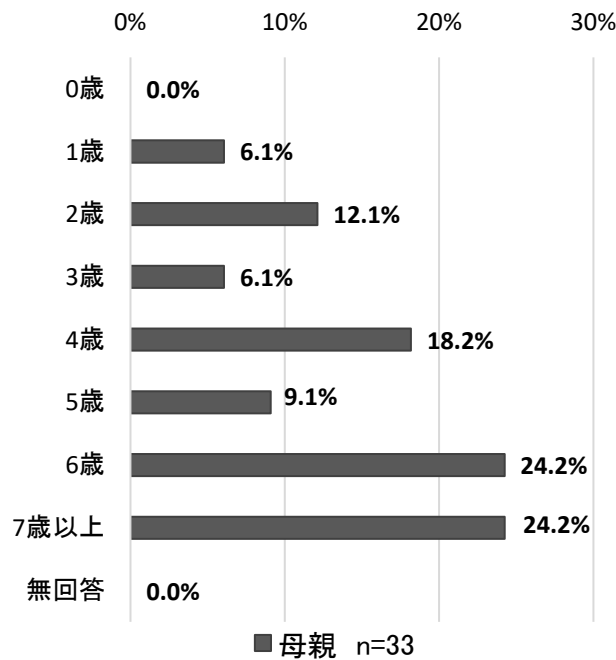
また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかは、母親は「6歳」と「7歳以上」の割合がそれぞれ24.2%と最も高くなっています。



※父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に2件の回答がありました。

■就労を希望する上での一番下の子どもの年齢 (数量回答)

※「2. 1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」と答えた方



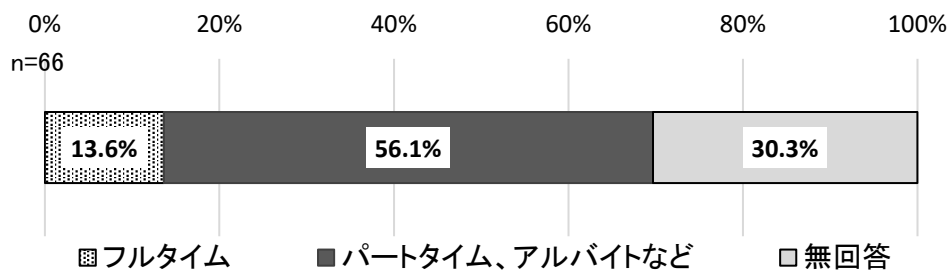
※父親の回答はありませんでした。

■希望する就労形態（1つに○）

※「2. 1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方

就労したい方の希望する就労形態は、母親は「パートタイム、アルバイトなど」56.1%の割合が最も高く、次いで「フルタイム」13.6%となっています。

父親は「フルタイム」が2件となっています。



父親	件数	割合 (%)
フルタイム	2	100.0%
パートタイム、アルバイトなど	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	2	100.0%

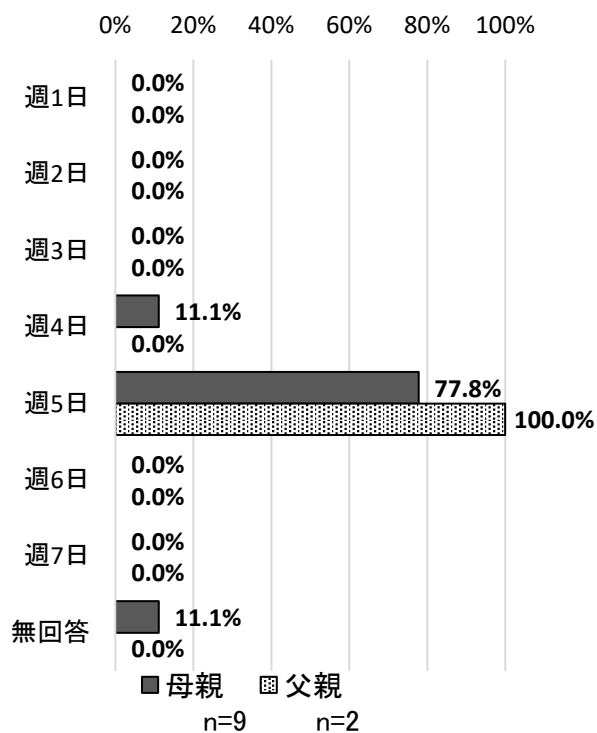
■希望する就労日数（1週間当たり）および就労時間（1日当たり）（数量回答）

※「2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方

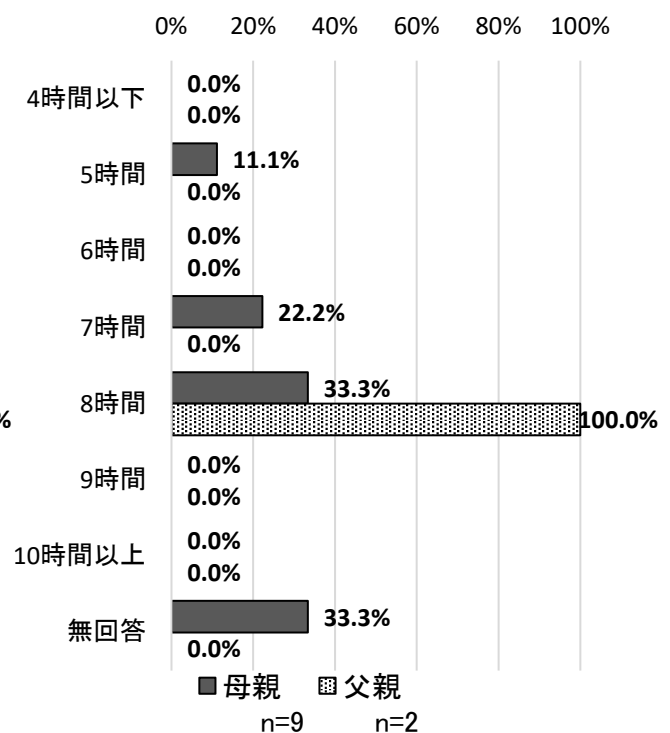
フルタイムで希望する1週間当たりの就労日数については、母親・父親ともに「週5日」の割合が最も高くなっています。フルタイムで希望する1日当たりの就労時間についても、母親・父親ともに「8時間」の割合が最も高くなっています。

パート・アルバイトなどで希望する1週間当たりの就労日数は、母親は「週5日」の割合が37.8%と最も高くなっています。パート・アルバイトで希望する1日当たりの就労時間は、母親は「5時間」の割合が43.2%と最も高くなっています。

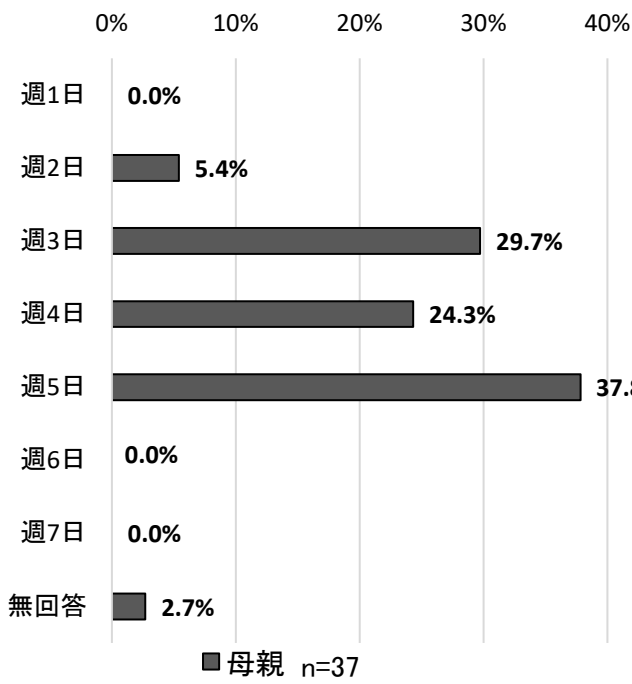
●フルタイムで希望する
1週間当たりの就労日数



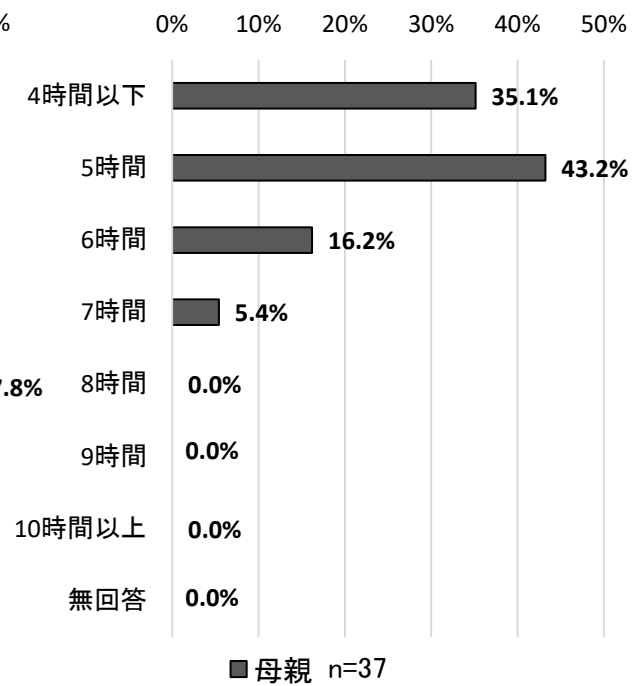
●フルタイムで希望する
1日当たりの就労時間



●パートタイム・アルバイトで希望する
| 週間当たりの就労日数



●パートタイム・アルバイトで希望する
| 日当たりの就労時間

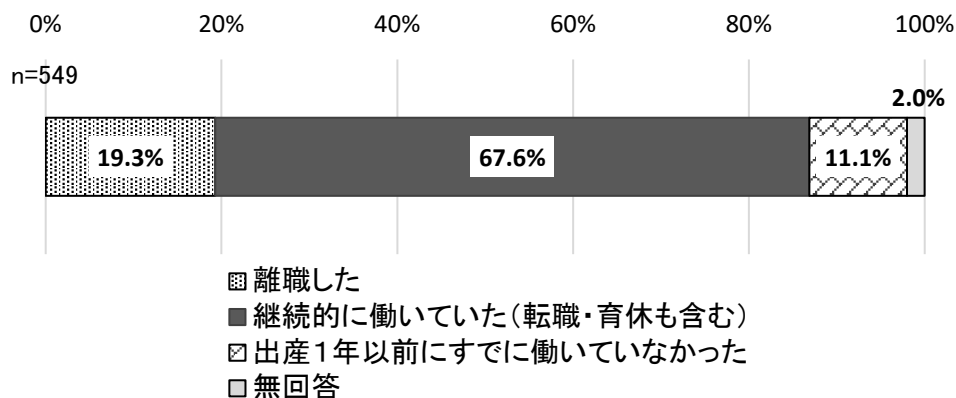


※就労日数、就労時間ともに父親の回答はありませんでした。

問16 母親の出産前後の状況をおうかがいします。あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。

■母親の出産前後の就労状況（1つに○）

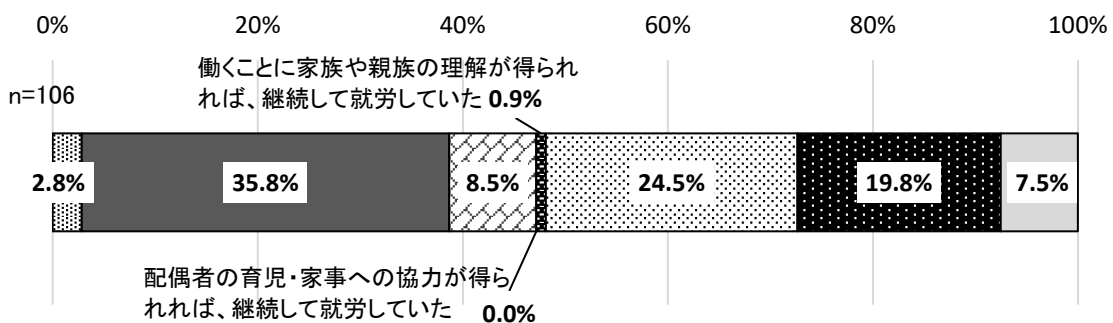
出産前後に離職したかについては、「継続的に働いていた（転職・育休も含む）」の割合が67.6%と最も高くなっています。「離職した」は19.3%となっています。



■仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(1つに○)

※「1. 離職した」と答えた方

仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続したかについては、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立制度が整い、働きやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」の割合が35.8%と最も高く、次いで「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」24.5%となっています。



☑教育・保育の事業が確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた

■職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた

☑教育・保育の事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた

☑配偶者の育児・家事への協力が得られれば、継続して就労していた

☑働くことに家族や親族の理解が得られれば、継続して就労していた

☑制度や環境に関係なく、自発的にやめた

■その他

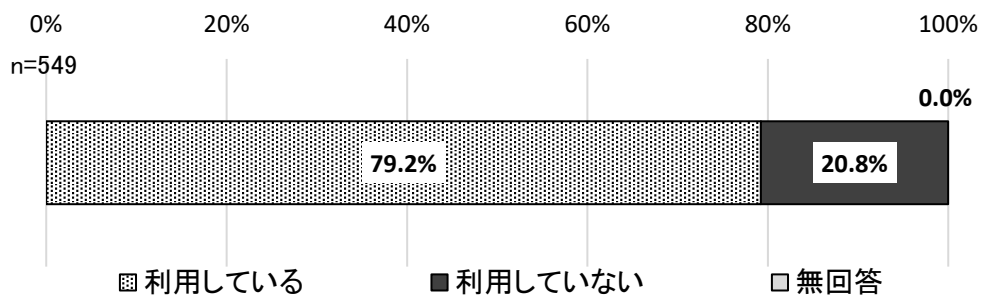
☐無回答

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用について おうかがいします

問17 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

■利用の有無（1つに○）

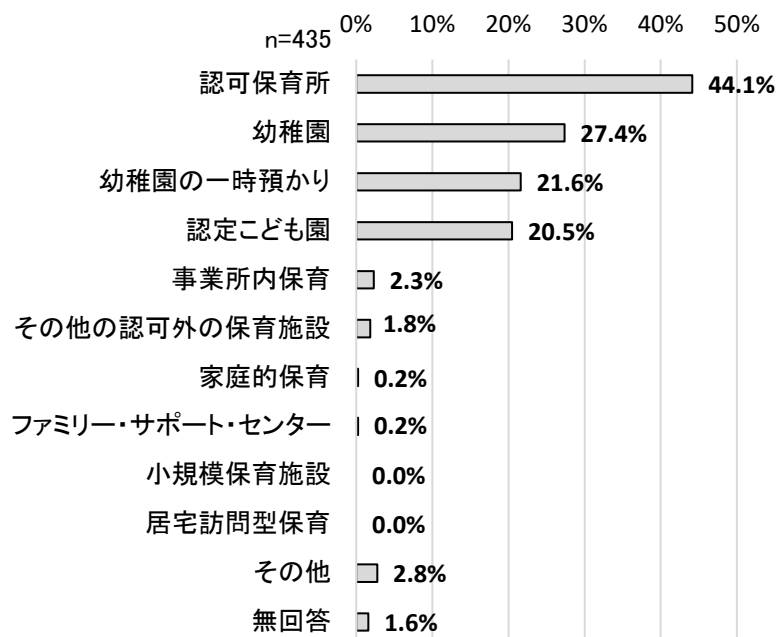
平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無については、「利用している」79.2%、「利用していない」20.8%となっています。



■「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用している」と答えた方

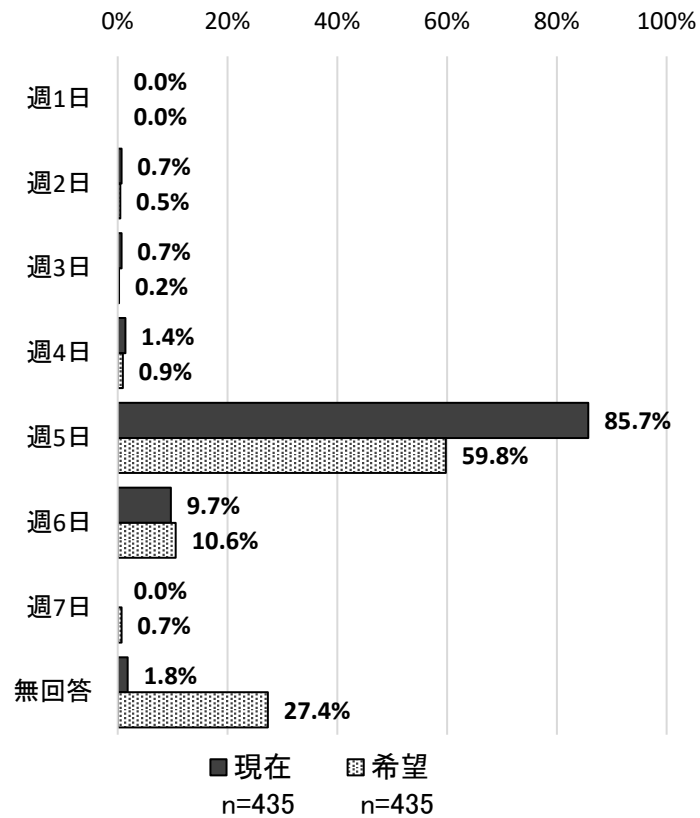
平日の定期的な教育・保育事業の利用は、上位から「認可保育所」44.1%、「幼稚園」27.4%、「幼稚園の一時預かり」21.6%となっています。



■現在の利用日数と希望の利用日数（1週間当たり）（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

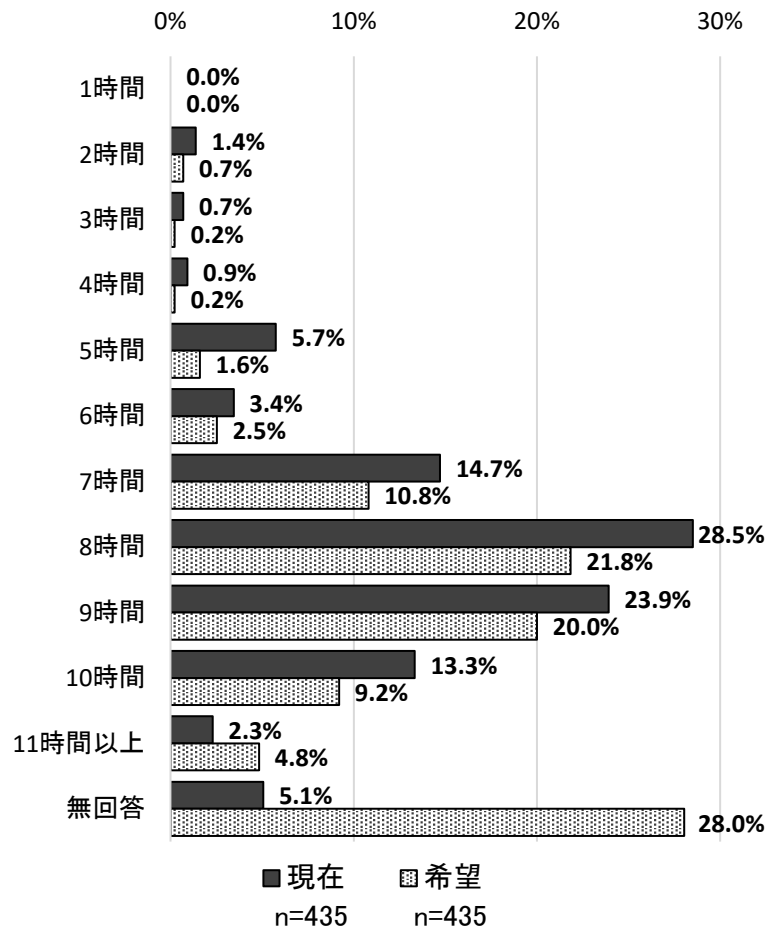
平日の利用している教育・保育事業の現在の状況と今後の利用希望は、1週間当たりの利用日数では、現在・希望ともに「週5日」の割合が最も高く、それぞれ85.7%、59.8%となっています。



■現在の利用時間と希望の利用時間（1日当たり）（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

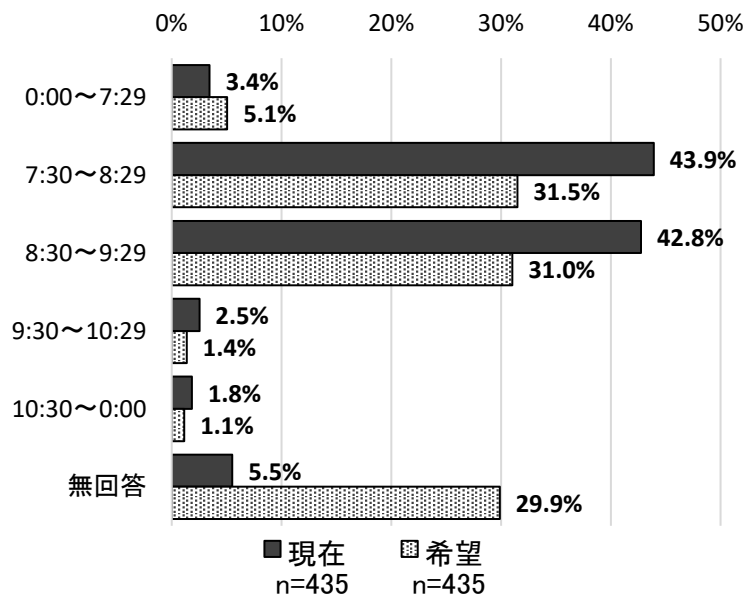
平日の利用している教育・保育事業の現在の状況と今後の利用希望は、1日当たりの利用時間では、現在・希望ともに「8時間」の割合が最も高く、それぞれ28.5%、21.8%となっています。



■現在の利用開始時間と希望の利用開始時間（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

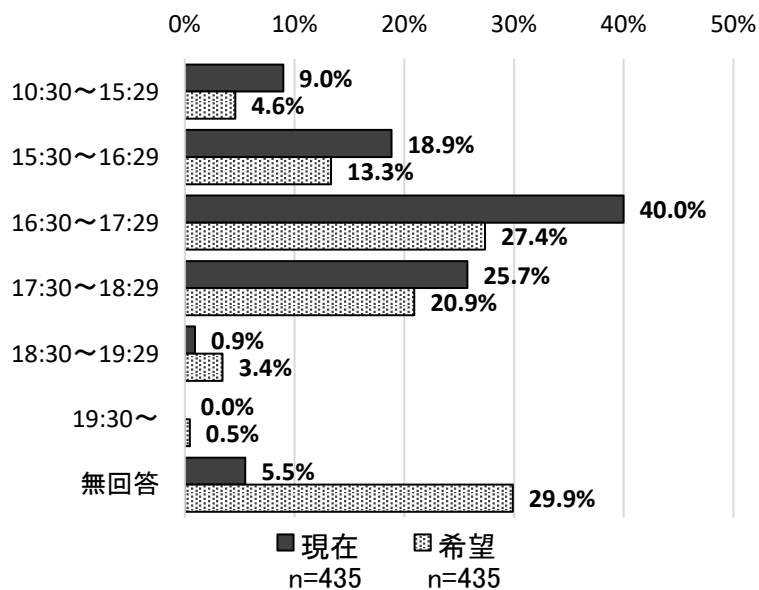
利用開始時間は、現在、希望ともに「7:30～8:29」の割合が最も高く、それぞれ43.9%、31.5%となっています。



■現在の利用終了時間と希望の利用終了時間（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

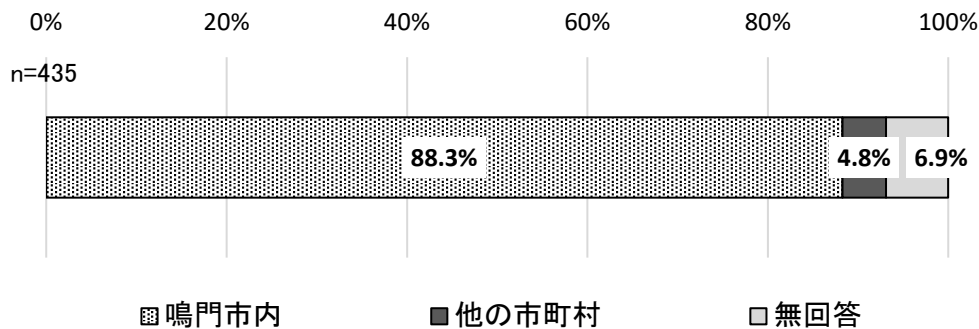
終了時間では、現在、希望ともに「16:30～17:29」の割合が最も高く、それぞれ40.0%、27.4%となっています。



■利用している場所（1つに○）

※「1. 利用している」と答えた方

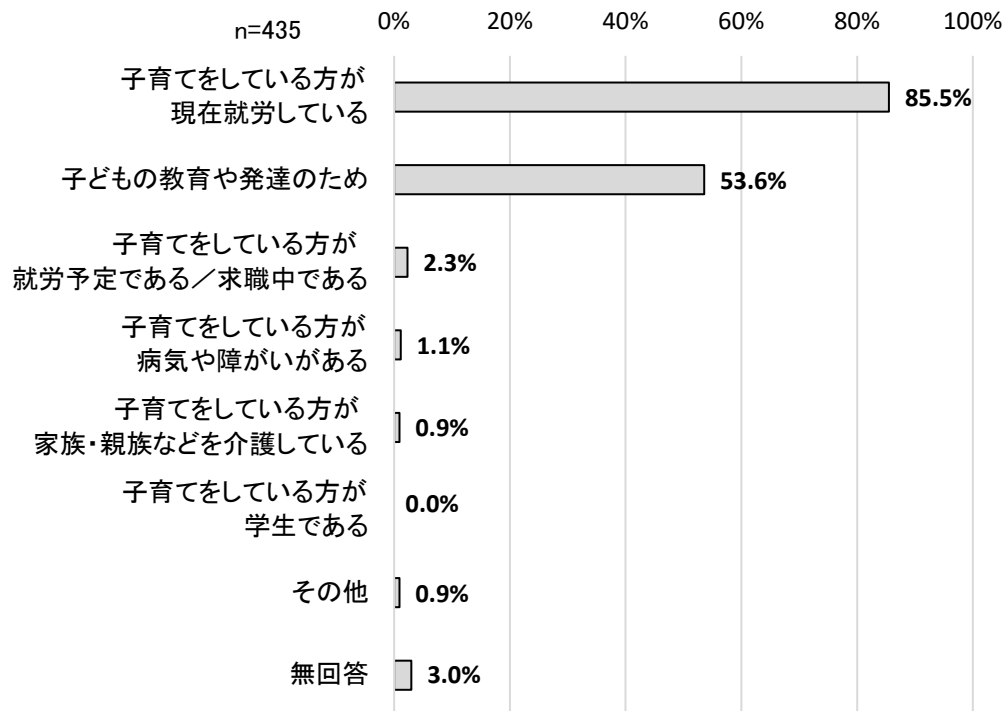
平日に利用している教育・保育事業の場所は、「鳴門市」の割合が88.3%とほとんどを占めています。



■利用している理由（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用している」と答えた方

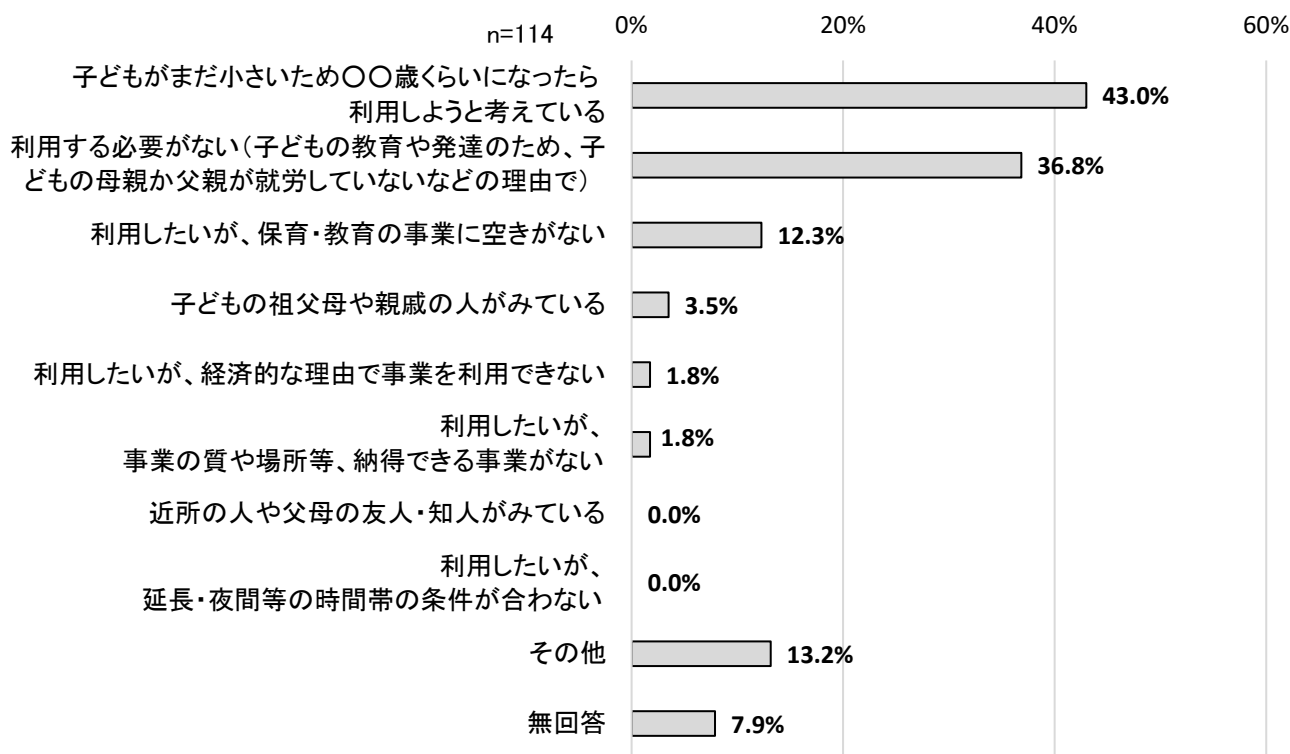
平日に教育・保育事業を利用している主な理由は、「子育てをしている方が現在就労している」の割合が85.5%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」53.6%となっています。



■利用していない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用していない」と答えた方

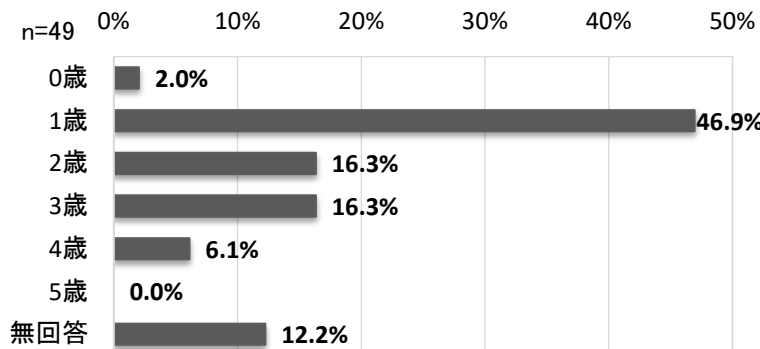
平日に教育・保育事業を利用していない主な理由は、「子どもがまだ小さいため〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が43.0%と最も高く、次いで「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）」36.8%となっています。



■利用しようとする子どもの年齢（数量回答）

※「8. 子どもがまだ小さいため〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている」と答えた方

子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする子どもの年齢については、「1歳」の割合が46.9%と最も高くなっています。

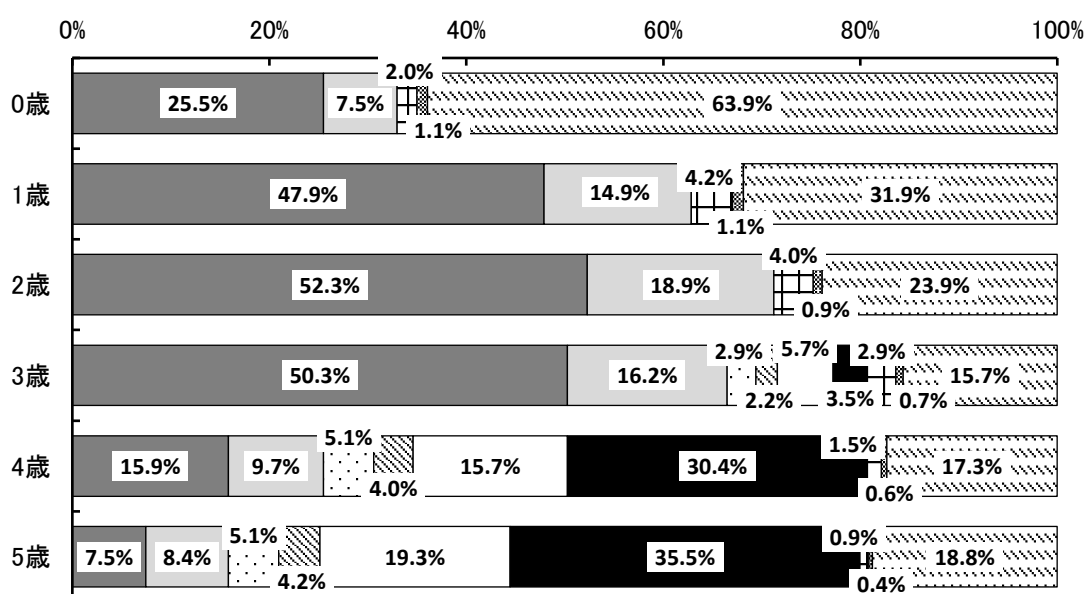


問18 あて名のお子さんの平日の教育・保育の定期的な事業利用についてお答えください。
過去・現在は利用していた事業、未来は利用したいと考える事業を選び、年齢ごとに1つに○をつけてください。

■利用したい教育・保育事業（あてはまるものすべてに○）

平日に利用した経験がある教育・保育事業や、平日に今後利用したいと考える教育・保育事業は、0歳～3歳では「認可保育所」の割合が最も高く、それぞれ25.5%、47.9%、52.3%、50.3%となっています。

4歳、5歳では「幼稚園(通常の利用時間と一時預かりの利用)」の割合が最も高く、それぞれ30.4%、35.5%となっています。

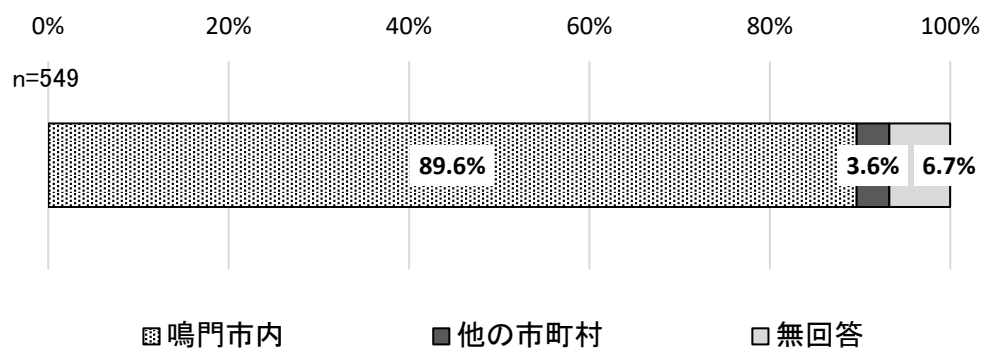


- 認可保育所
- 認定こども園(保育所機能分)
- 認定こども園(幼稚園機能分)(通常の利用時間の利用)
- ☒ 認定こども園(幼稚園機能分)(通常の利用時間と一時預かりの利用)(※一時預かりは定期的な利用のみ)
- 幼稚園(通常の利用時間の利用)
- 幼稚園(通常の利用時間と一時預かりの利用)(※一時預かりは定期的な利用のみ)
- その他の認可外の保育施設(企業主導型など)
- その他
- ☒ 無回答

※0歳～2歳では「認定こども園(幼稚園機能分)」と「幼稚園」に関する回答ができないように選択肢の制限を設けたため、回答の割合が表示されていません。

問18-① 教育・保育の事業を利用したい場所についておうかがいします。(1つに○)

教育・保育事業を利用したい場所は、「鳴門市内」の割合が89.6%とほとんどを占めています。



あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の 利用状況についておうかがいします

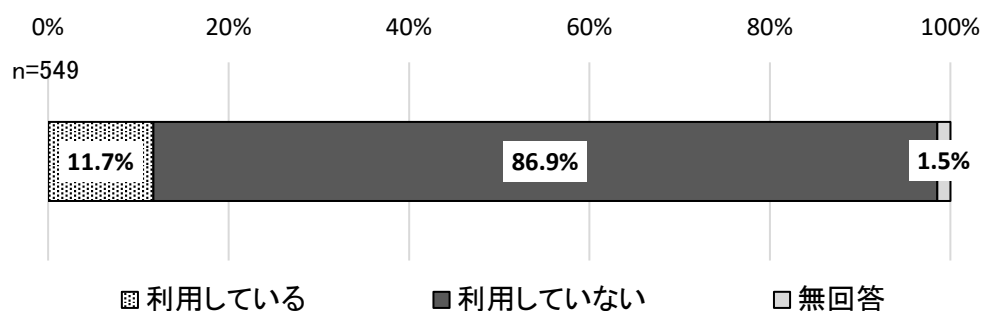
問19 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「地域子育て支援センター」や「にこにこ広場」などがあてはまります）を利用していますか。

（あてはまるものすべてに○）

また、おおよその利用回数（頻度）を枠内に数字でご記入ください。

■地域子育て支援拠点事業の利用の有無（1つに○）

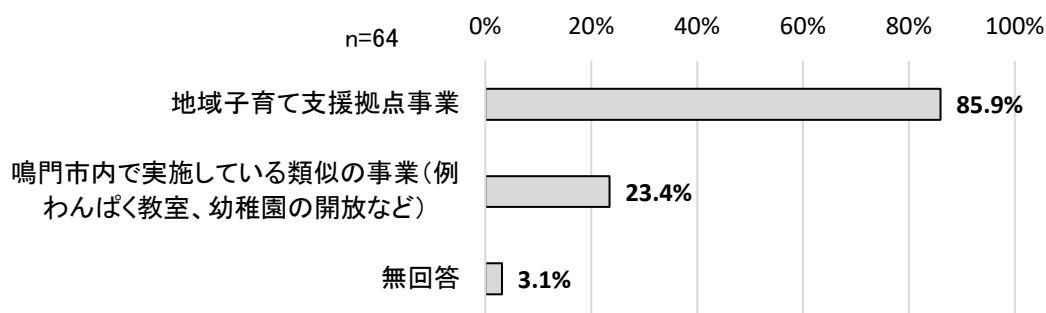
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」の割合が86.9%、次いで「利用している」11.7%となっており、8割以上の方は利用していない状況となっています。



■地域子育て支援拠点事業の利用場所（あてはまるものすべてに○）

※ 「1. 利用している」と答えた方

地域子育て支援拠点事業の利用場所は、「地域子育て支援拠点事業」の割合が85.9%、次いで「鳴門市内で実施している類似の事業（例 わんぱく教室、幼稚園の開放など）」23.4%となっています。



■地域子育て支援拠点事業の1週間当たり、1月当たりの利用回数（数量回答）

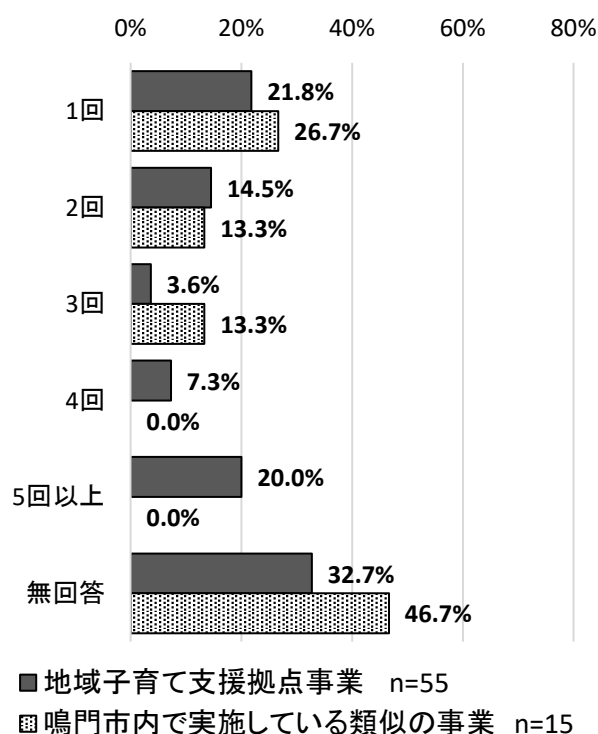
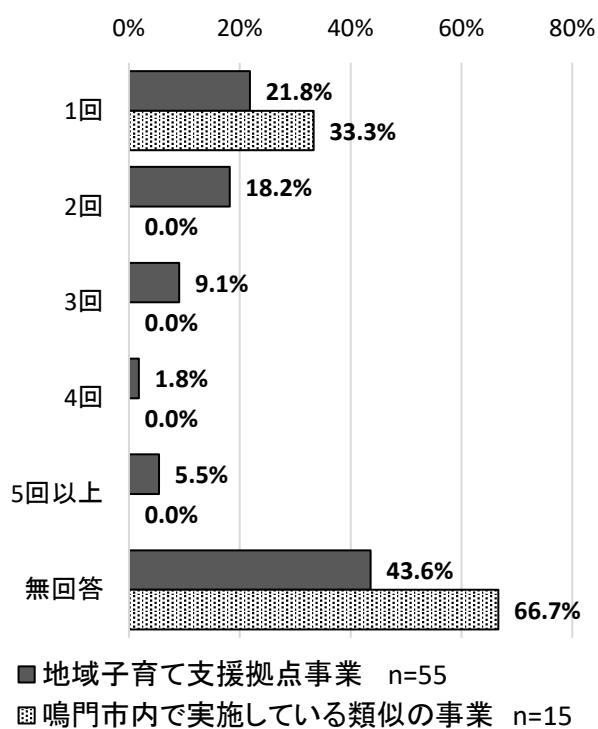
※「1. 利用している」と答えた方

地域子育て支援拠点事業の1週間当たりの利用回数は、「地域子育て支援事業」、「鳴門市で実施している類似の事業」ともに「1回」の割合が最も高くなっています。

1月当たりの利用回数は、「地域子育て支援事業」は、「1回」の割合が21.8%と最も高く、次いで「5回以上」20.0%となっています。「鳴門市で実施している類似の事業」は、「1回」の割合が26.7%と最も高くなっています。

●地域子育て支援拠点事業の1週間当たりの利用回数

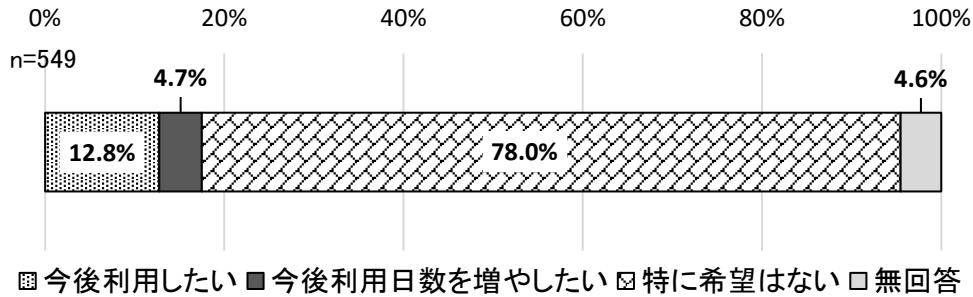
●地域子育て支援拠点事業の1月当たりの利用回数



問20 問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

■地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望の有無（1つに○）

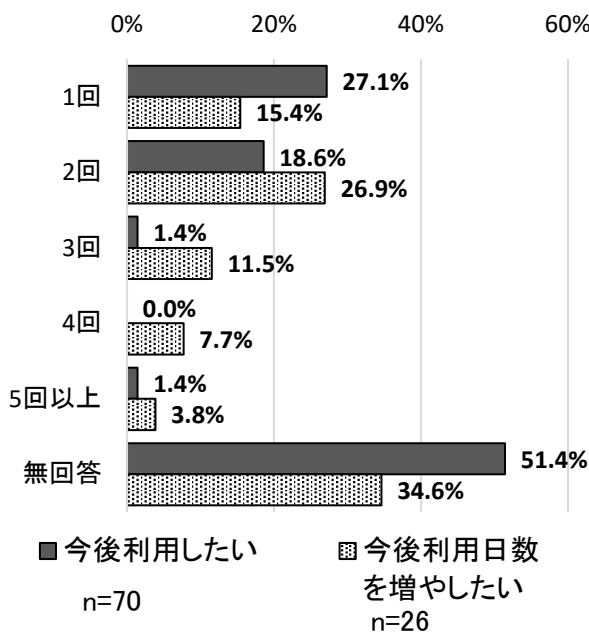
地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望の有無についてみると、「特に希望はない」の割合が78.0%と最も高くなっています。利用希望については、「今後利用したい」が12.8%、「今後利用日数を増やしたい」が4.7%となっています。



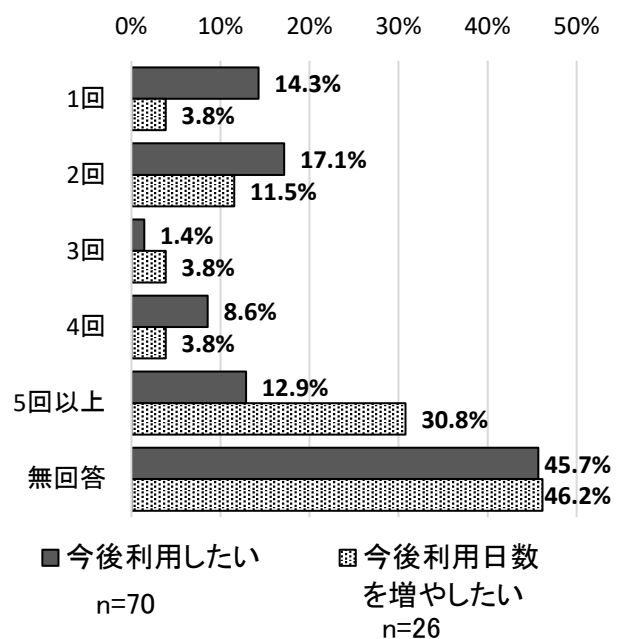
■地域子育て支援拠点事業の1週間当たり、1月当たりの利用希望回数（数量回答）

地域子育て支援拠点事業の1週間当たりの利用希望回数は、「今後利用したい」では、「1回」の割合が27.1%、「今後利用日数を増やしたい」では、「2回」の割合が26.9%とそれぞれ最も高くなっています。1月当たりの利用希望回数は、「今後利用したい」では、「2回」の割合が17.1%、「今後利用日数を増やしたい」では、「5回以上」の割合が30.8%とそれぞれ最も高くなっています。

●地域子育て支援拠点事業の1週間当たりの利用希望回数



●地域子育て支援拠点事業の1月当たりの利用希望回数

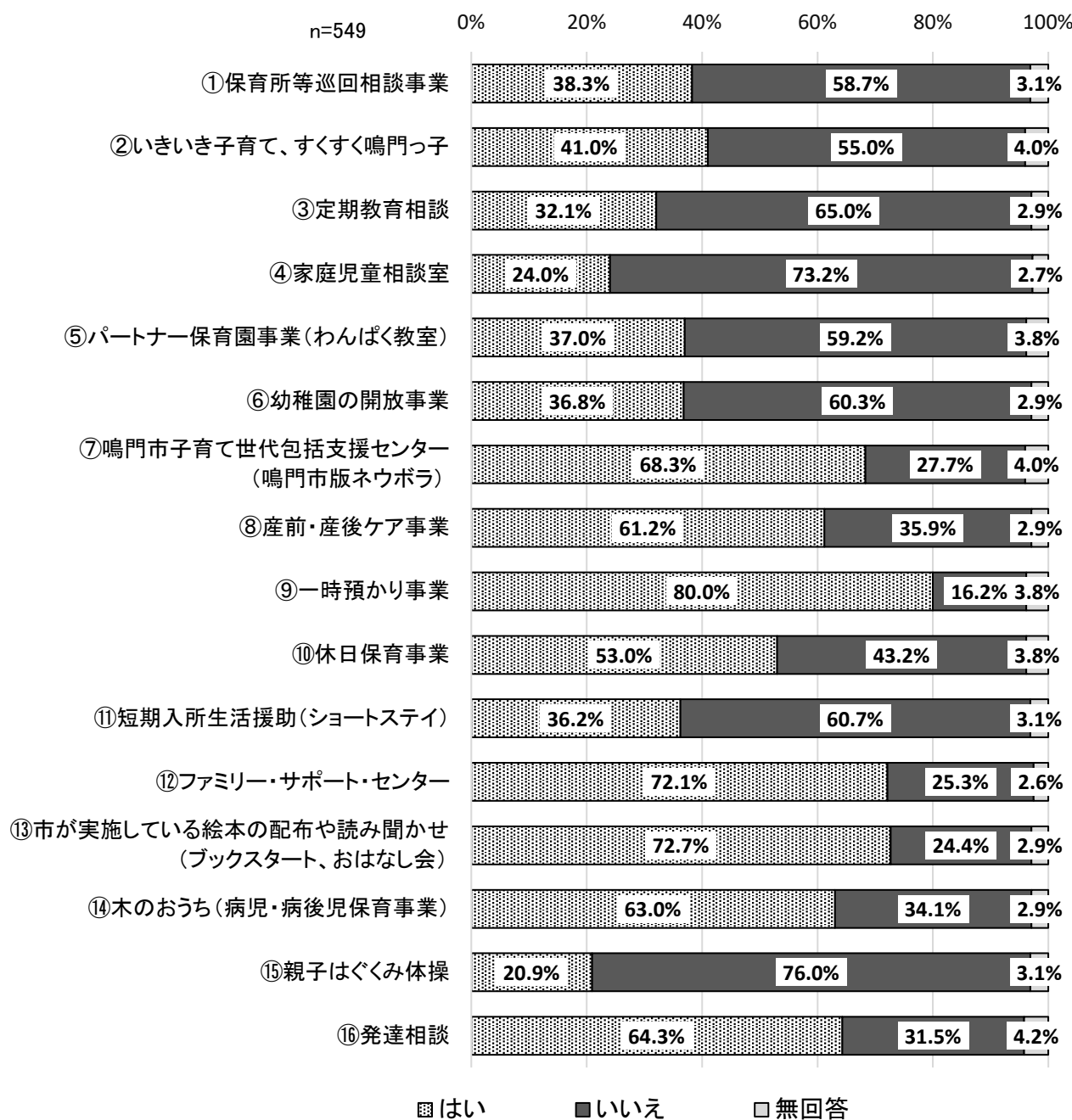


問2 1 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとにお答えください。

■A 事業の認知度

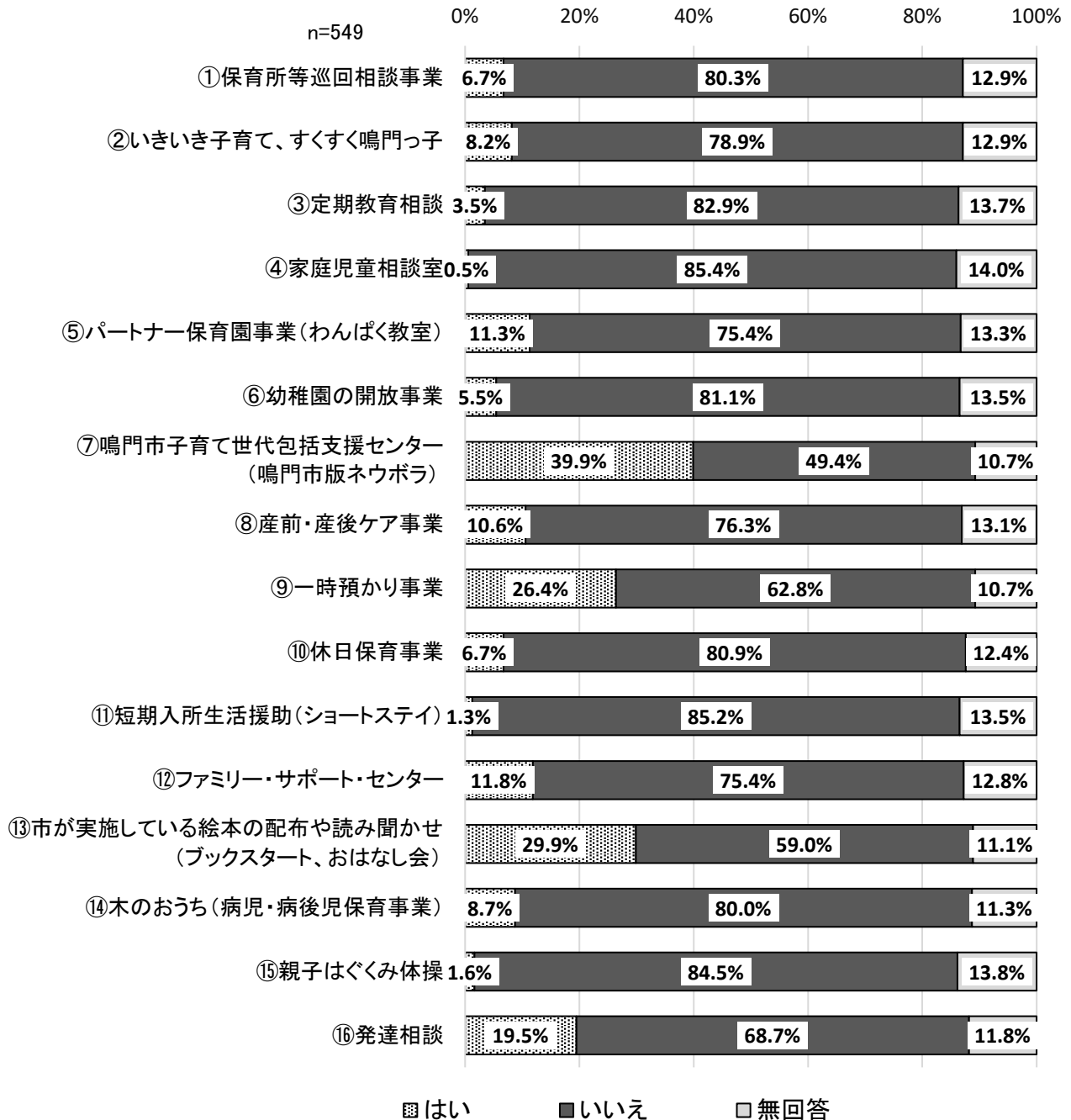
鳴門市で実施している子育て事業の認知度は、上位から「⑨一時預かり事業」80.0%、「⑬市が実施している絵本の配布や読み聞かせ(ブックスタート、おはなし会)」72.7%、「⑫ファミリー・サポート・センター」72.1%となっています。

一方で、非認知度では、「⑮親子はぐくみ体操」の割合が76.0%と最も高くなっています。



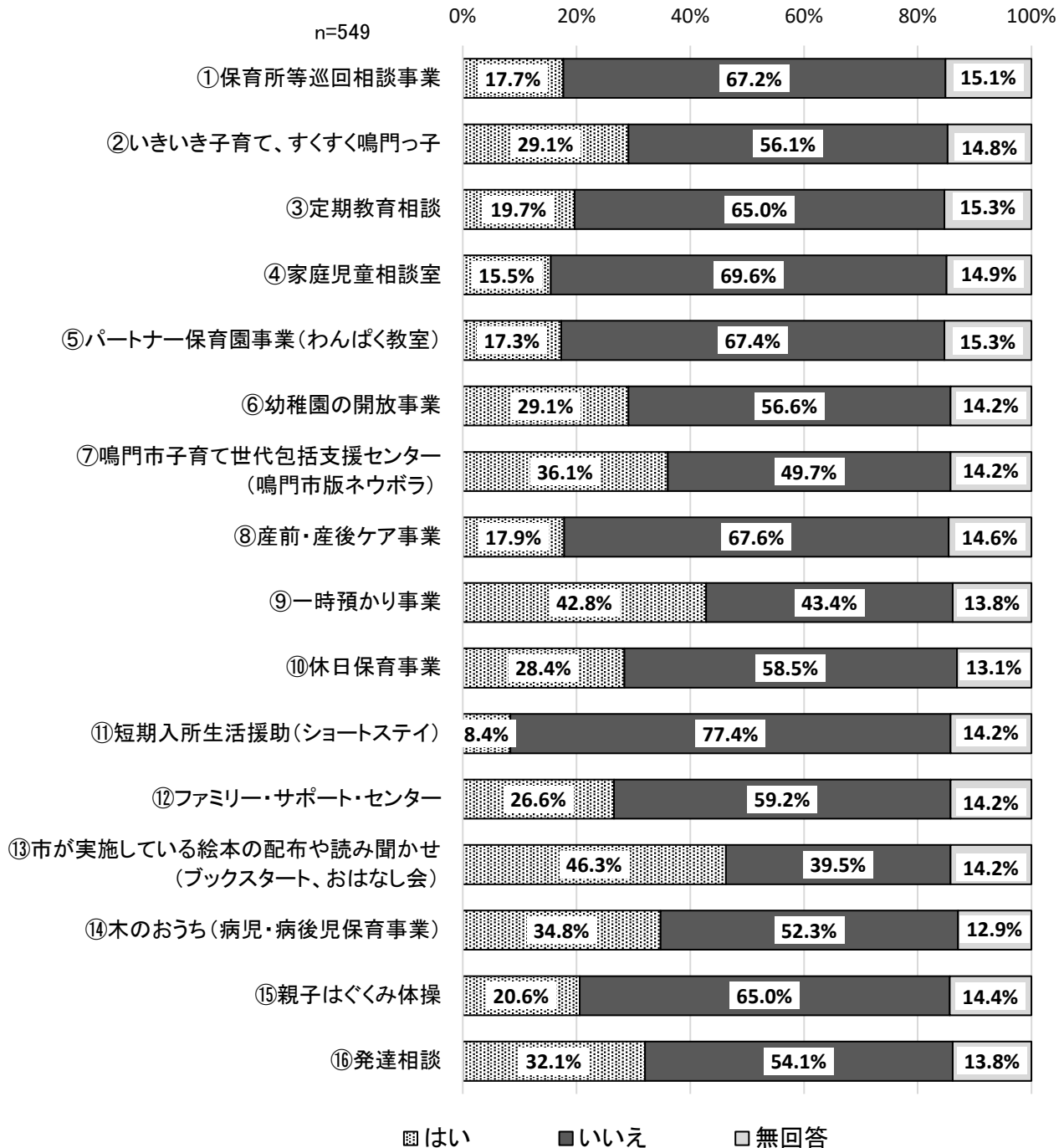
■B 事業の利用の有無

鳴門市で実施している子育て事業のこれまでの利用経験の有無は、上位から「⑦鳴門市子育て世代包括支援センター（鳴門市版ネウボラ）」39.9%、「⑭市が実施している絵本の配布や読み聞かせ（ブックスタート、おはなし会）」29.9%、「一時預かり事業」26.4%となっています。



■C 事業の今後の利用意向

鳴門市で実施している子育て事業の今後の利用希望は、上位から「⑭市が実施している絵本の配布や読み聞かせ（ブックスタート、おはなし会）」46.3%、「⑨一時預かり事業」42.8%、「⑦鳴門市子育て世代包括支援センター（鳴門市版ネウボラ）」36.1%となっています。



あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についておうかがいします

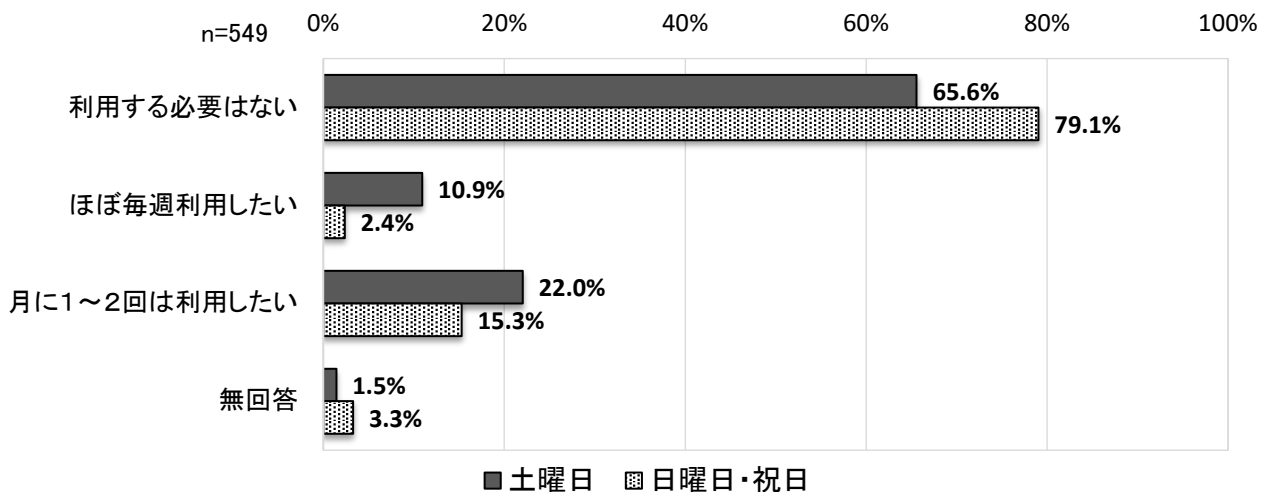
問22 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（1つに○）

土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」の割合が最も高く、それぞれ65.6%、79.1%となっています。

『利用希望がある方』（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計）の割合は土曜日で32.9%、日曜日・祝日で17.7%となっています。

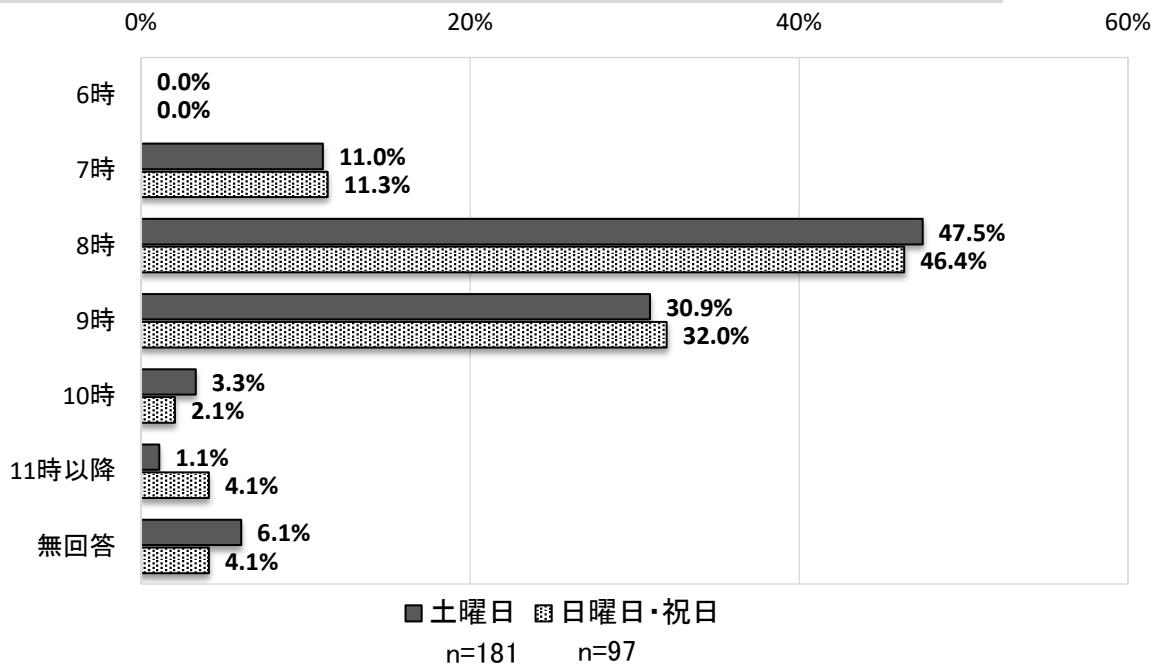
希望する利用時間帯については、開始時間は土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」の割合が最も高く、それぞれ47.5%、46.4%となっています。終了時間は、土曜日、日曜日・祝日ともに「17時」の割合が最も高く、それぞれ42.0%、51.5%となっています。

■利用の希望



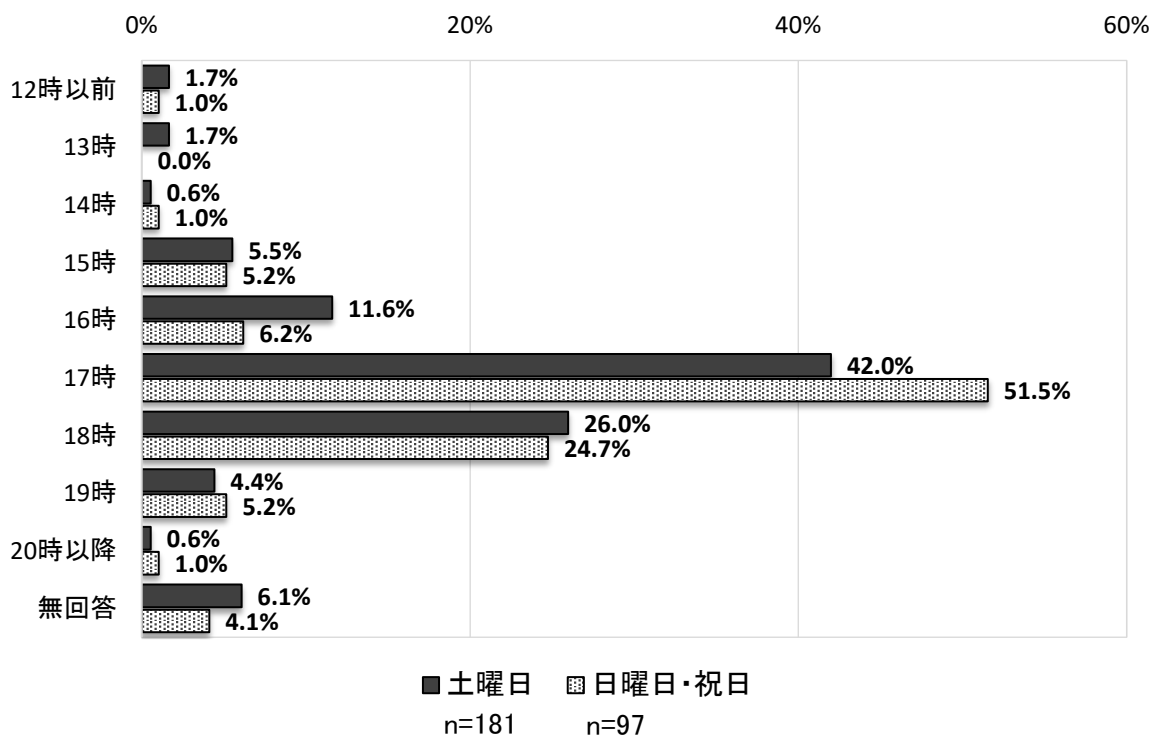
■ 希望する利用開始時間（数量回答）

※ 「2. ほぼ毎週利用したい」「3. 月に1～2回は利用したい」と答えた方



■ 希望する利用終了時間（数量回答）

※ 「2. ほぼ毎週利用したい」「3. 月に1～2回は利用したい」と答えた方

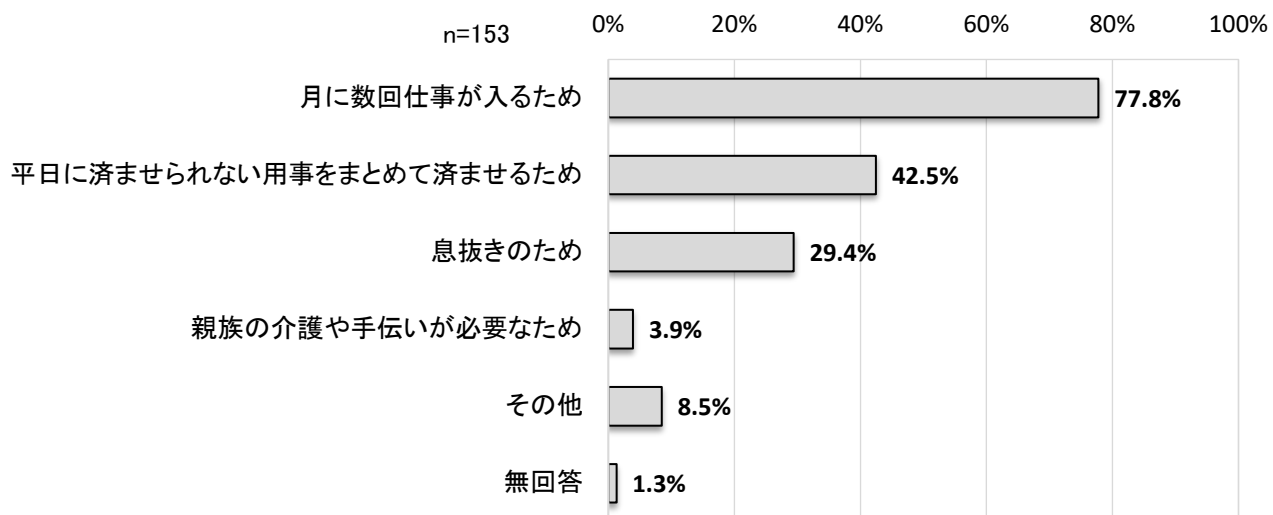


問22-① 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

※問22の(1)もしくは(2)で、「3月に1~2回は利用したい」と答えた方

毎週ではなくたまに利用したい方の理由は、上位から「月に数回仕事が入るため」が77.8%、「平日で済ませられない用事をまとめて済ませるため」42.5%、「息抜きのため」29.4%となっています。



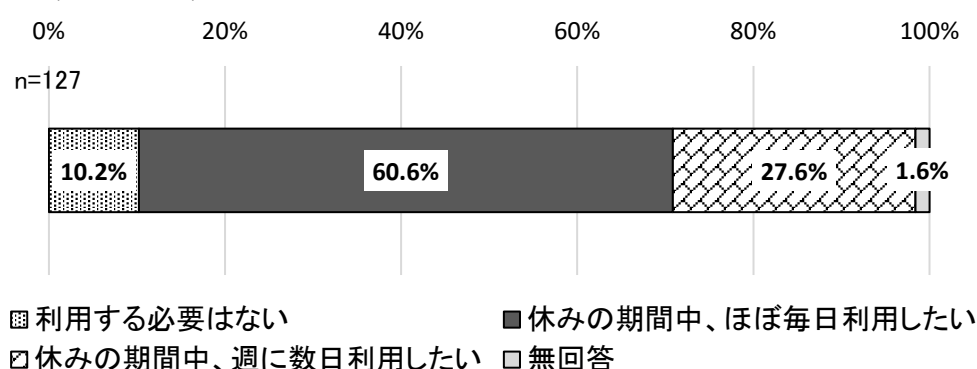
問23 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(1つに○)

※幼稚園を利用されている方

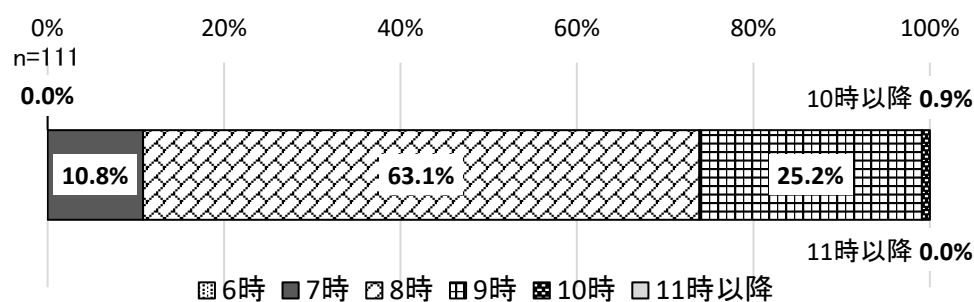
幼稚園を利用されている方の、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が60.6%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」27.6%となっています。

希望する利用時間帯は、開始時間が「8時」の割合が63.1%と最も高くなっています。終了時間は「17時」の割合が35.5%と最も高く、次いで「18時」30.9%となっています。

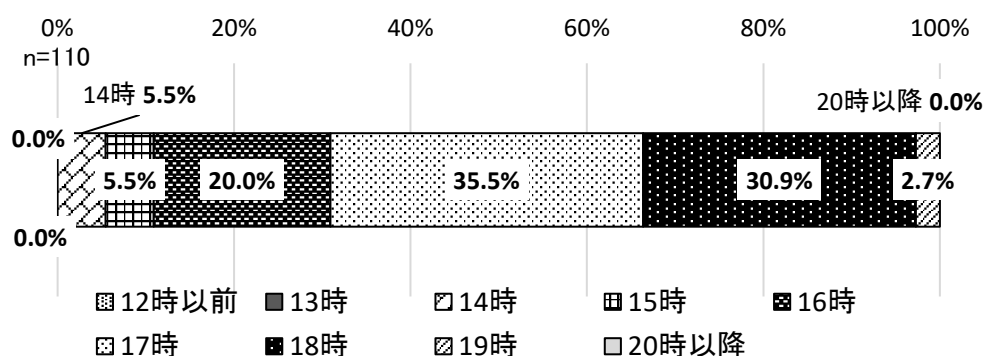
●利用の希望 (1つに○)



●希望する利用開始時間 (数量回答) ※無回答1件を除く



●希望する利用終了時間 (数量回答) ※無回答2件を除く

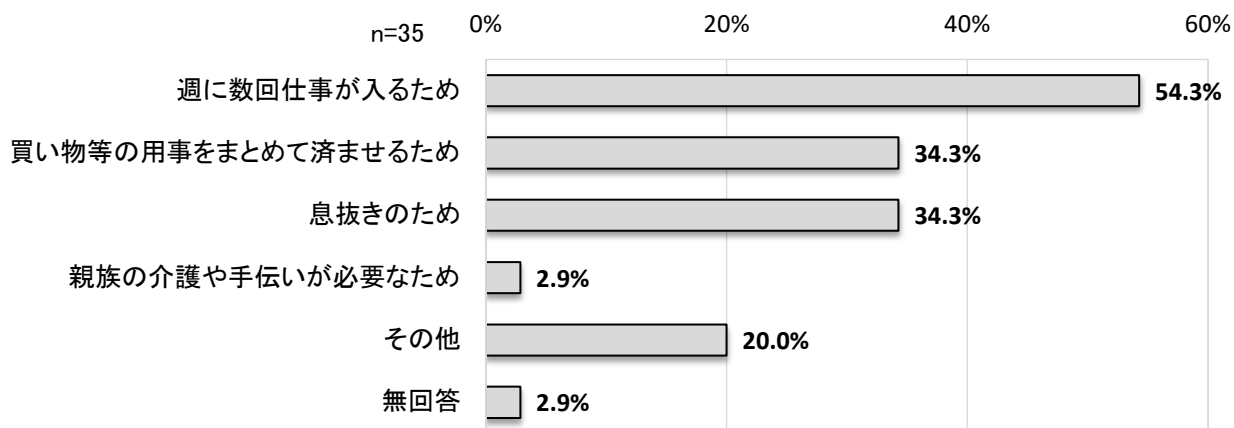


問23-① 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

※問23で、「3.休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた方

幼稚園を利用されている方の長期の休暇期間中の教育・保育事業をたまに利用したい理由は、上位から「週に数回仕事が入るため」54.3%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」、「息抜きのため」34.3%となっています。



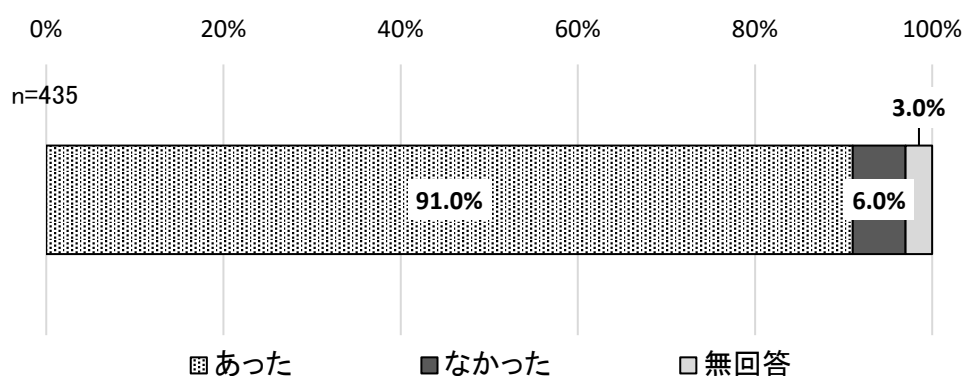
あて名のお子さんの病気の際の対応についておうかがいします
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問24 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。また、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。

※平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方（問17で「1. 利用している」と答えた方）

■通常の事業が利用できなかった経験の有無（1つに○）

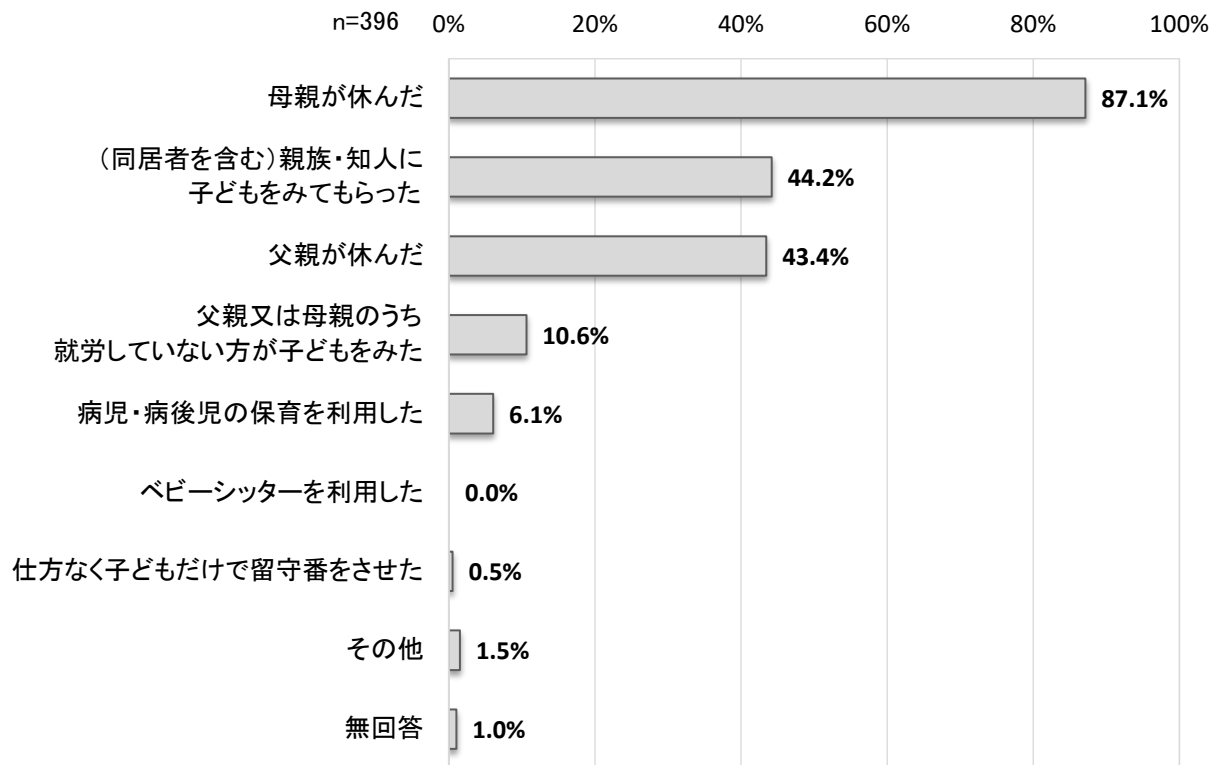
子どもが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験の有無については、「あった」の割合が91.0%とほとんどを占めています。



■この1年間の対処方法（あてはまるものすべてに○）

※「1. あった」と答えた方

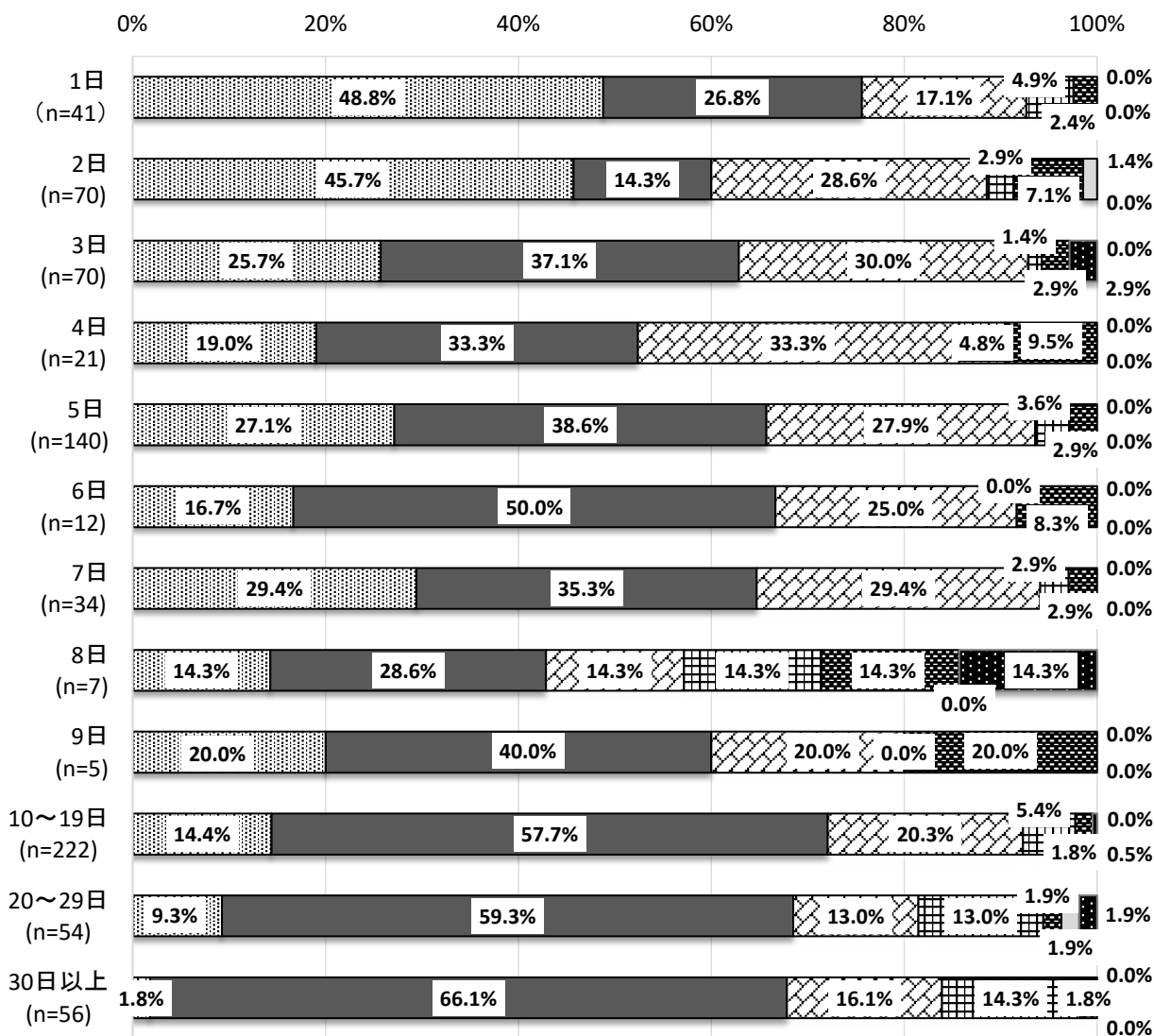
子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法についてみると、上位から「母親が休んだ」87.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」44.2%、「父親が休んだ」43.4%となっています。



■ 対処日数（数量回答）

※ 「1. あった」と答えた方

子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数については、「1日」や「2日」は「父親が休んだ」の割合がそれぞれ48.8%、45.7%と最も高くなっています。一方で、「3日」以降は、日数が増えるにつれて「母親が休んだ」の割合が最も高くなる傾向がみられます。



- 父親が休んだ
- 母親が休んだ
- ▨ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった
- ▩ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた
- ▧ 病児・病後児の保育を利用した
- 仕方なく子どもだけで留守番をさせた
- その他

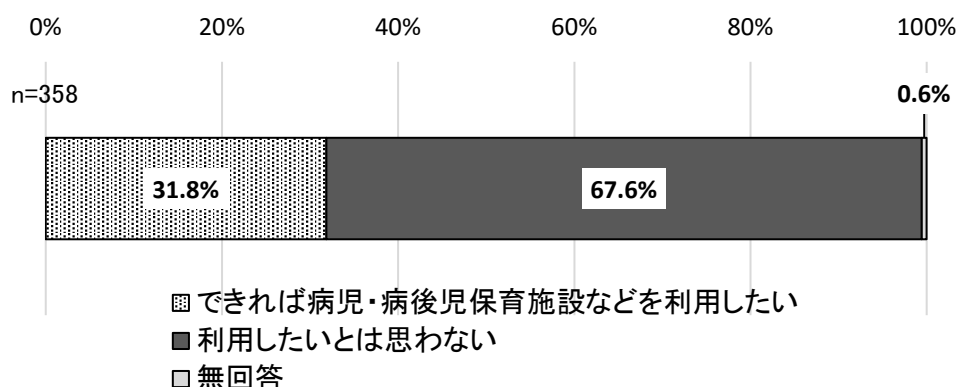
※ 「ベビーシッターを利用した」の回答はありませんでした。

問24-① その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。また、日数についても枠内に数字でご記入ください。

※問24で「1.父親が休んだ」「2.母親が休んだ」と答えた方

■病気の際の利用の意向（1つに○）

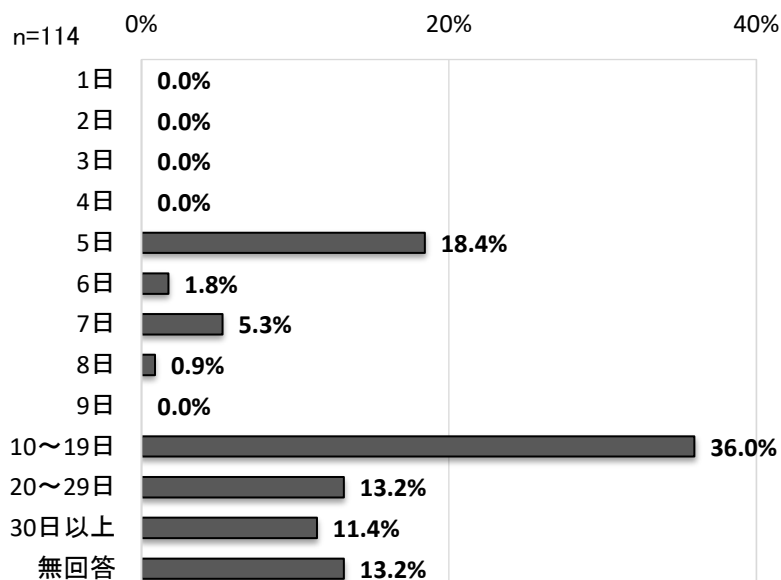
病児・病後児のための保育施設等の利用意向について、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」の割合は31.8%、「利用したいとは思わない」の割合は67.6%となっています。



■利用希望日数（数量回答）

※「1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方

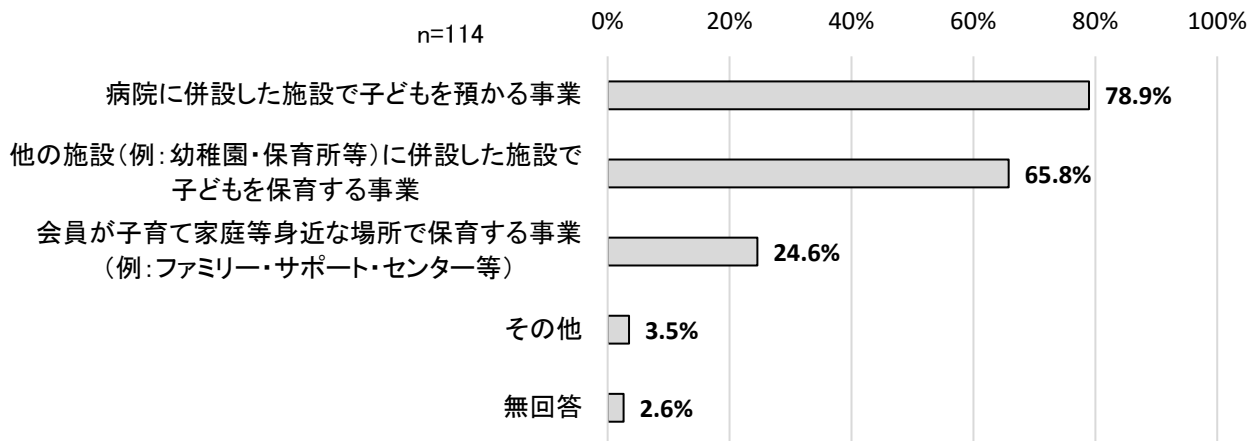
できれば病児・病後児保育施設などを利用したい日数については、「10～19日」の割合が36.0%と最も高く、次いで「5日」18.4%となっています。



■利用を希望する事業形態（あてはまるものすべてに○）

※「1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方

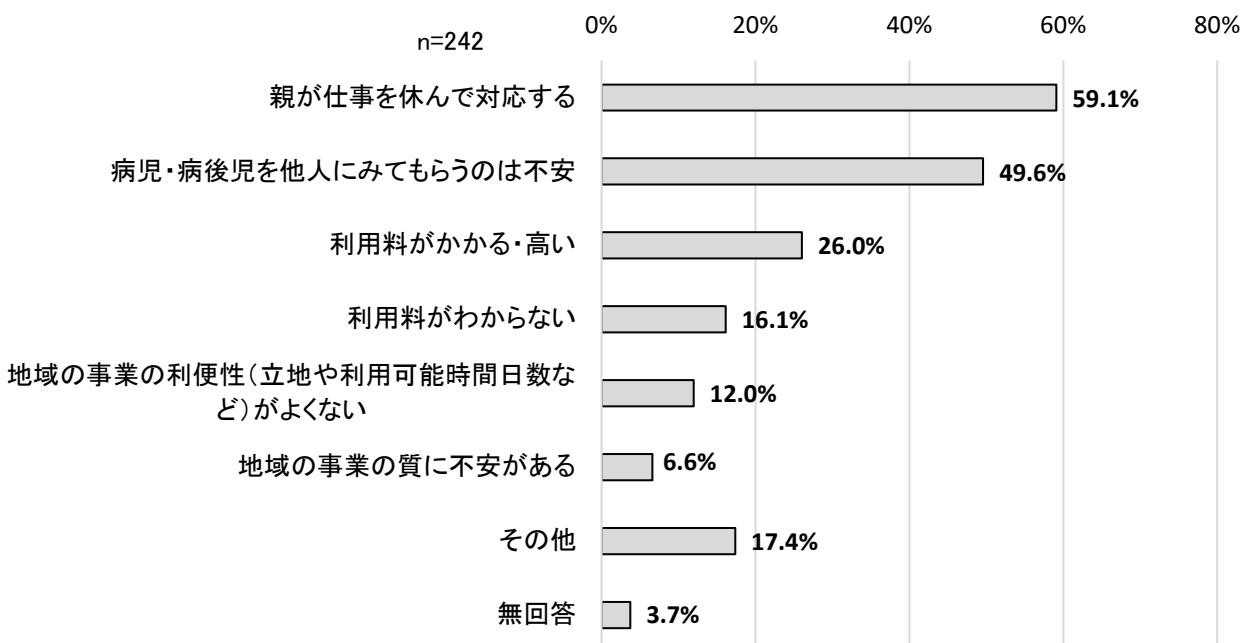
利用を希望する事業形態については、「病院に併設した施設で子どもを預かる事業」の割合が78.9%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園、保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」65.8%となっています。



■利用を希望しない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用したいとは思わない」と答えた方

利用を希望しない理由については、上位から「親が仕事を休んで対応する」59.1%、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」49.6%、「利用料がかかる・高い」26.0%となっています。

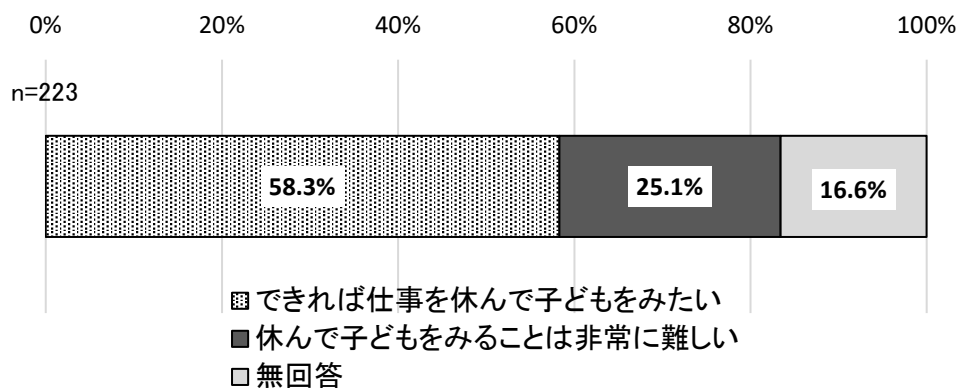


問24-② その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んでお子さんをみたいと思われましたか。また、「3」から「8」の日数のうち仕事を休んでお子さんをみたかった日数についても枠内に数字でご記入ください。

※問24で「3」から「8」のいずれかに回答した方

■病気の際の休みの意向（1つに○）

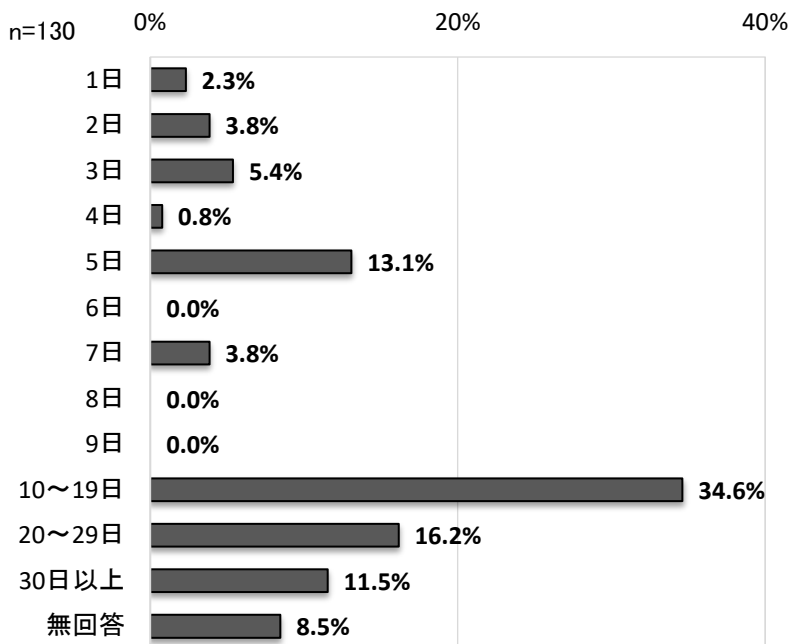
病気の際の意向については、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」の割合が58.3%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」の割合が25.1%となっています。



■休みの希望日数（数量回答）

※「1. できれば仕事を休んで子どもをみたい」と答えた方

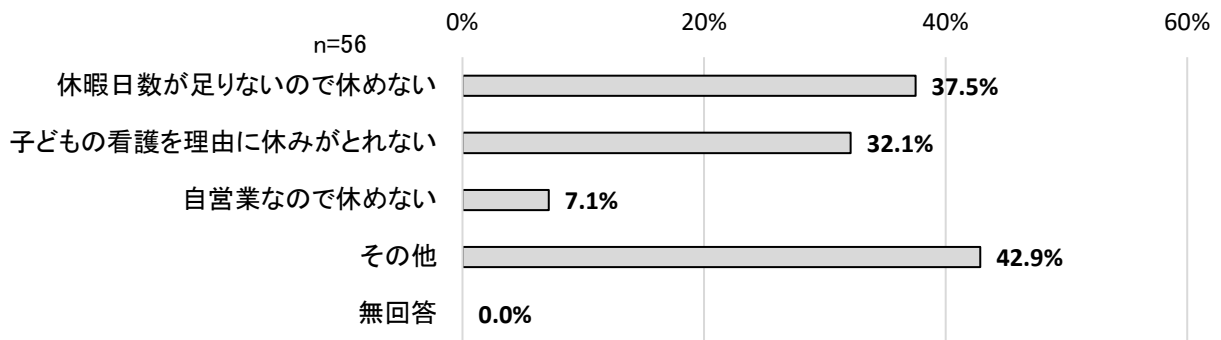
休みの希望日数は、「10～19日」の割合が34.6%と最も高くなっています。



■休むことが非常に難しい理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」と答えた方

休むことが難しい理由では、上位から「その他」42.9%、「休暇日数が足りないので休めない」37.5%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」32.1%となっています。

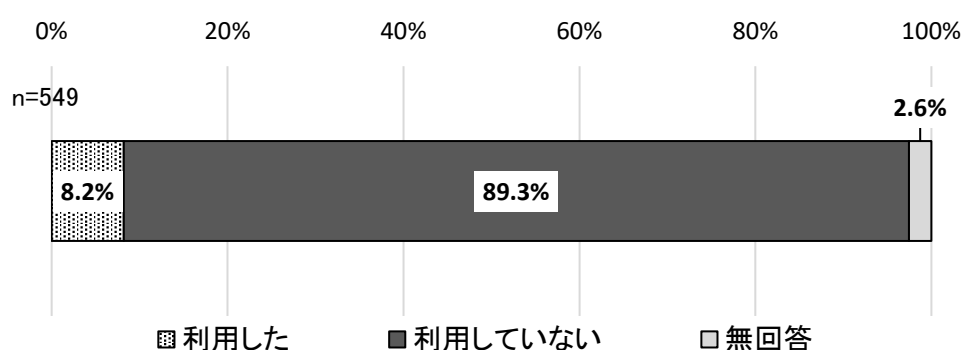


**あて名のお子さんの不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についておうかがいします**

問25 あて名のお子さんについて、日中の保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）をお答えください。

■利用の有無（1つに○）

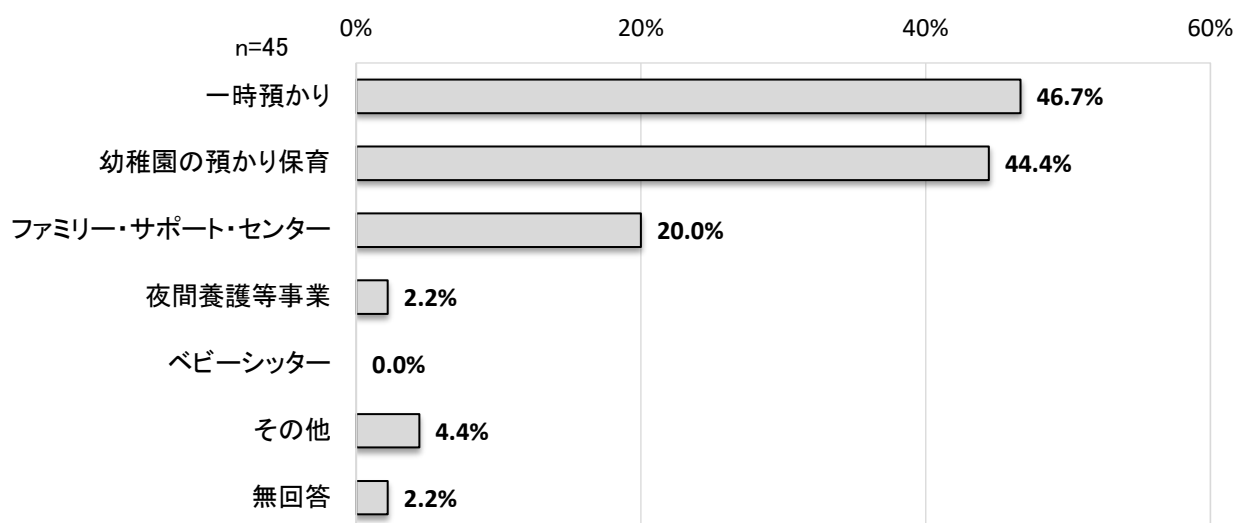
私用や不特定の就労などの理由で、不定期的に利用する事業の有無については、「利用していない」の割合が89.3%とほとんどを占めています。



■利用している事業（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用した」と答えた方

利用している事業については、上位から「一時預かり」46.7%、「幼稚園の預かり保育」44.4%、「ファミリー・サポート・センター」20.0%となっています。

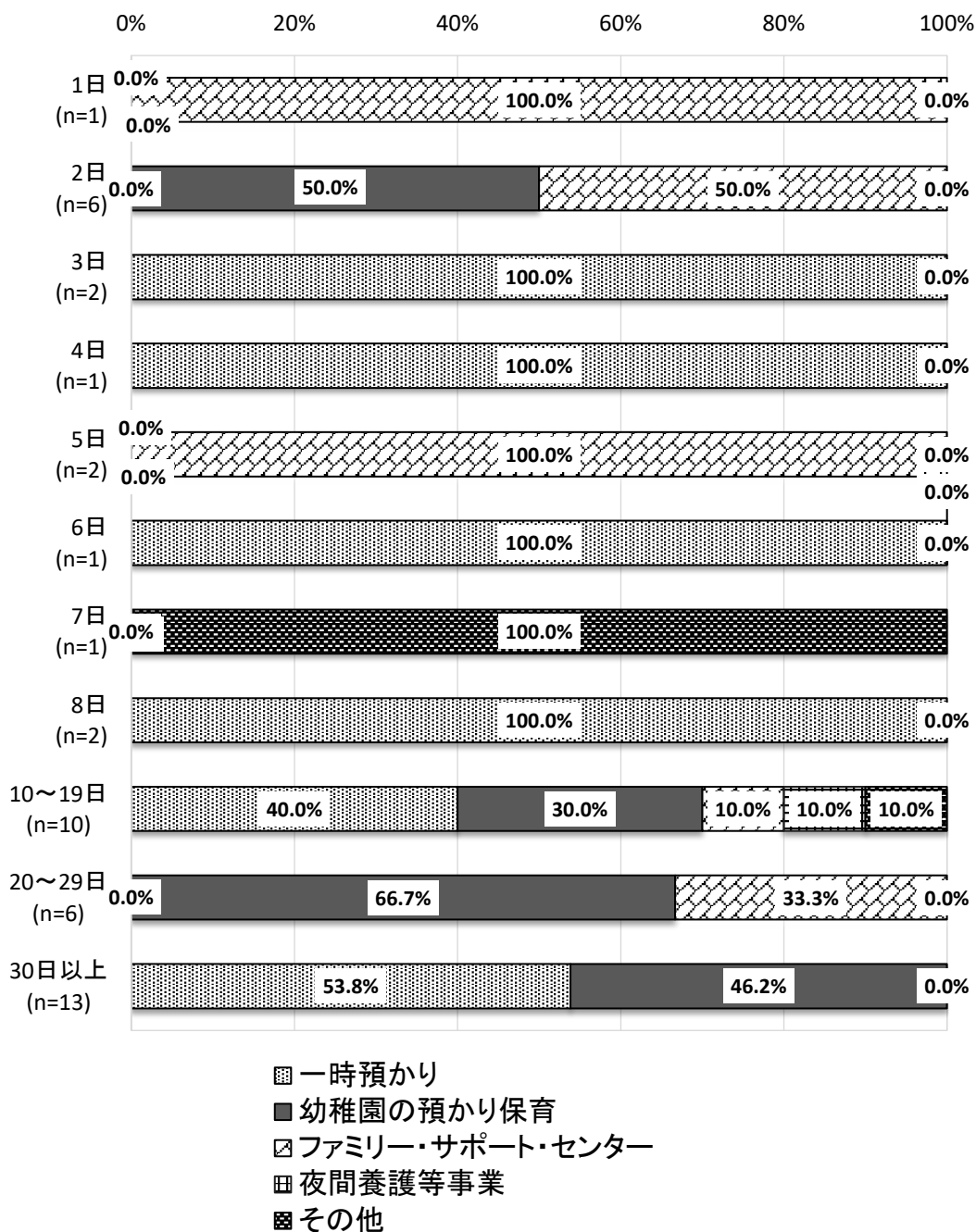


■年間利用延べ日数（数量回答）

※「1. 利用した」と答えた方

利用している事業の1年間の利用日数は、「一時預かり」は「3日」、「4日」から「30日以上」まで幅広い日数で利用されています。「幼稚園の預かり保育」では「2日」の利用もみられますが、「10～19日」、「20～29日」、「30日以上」と比較的多い日数での利用もされています。

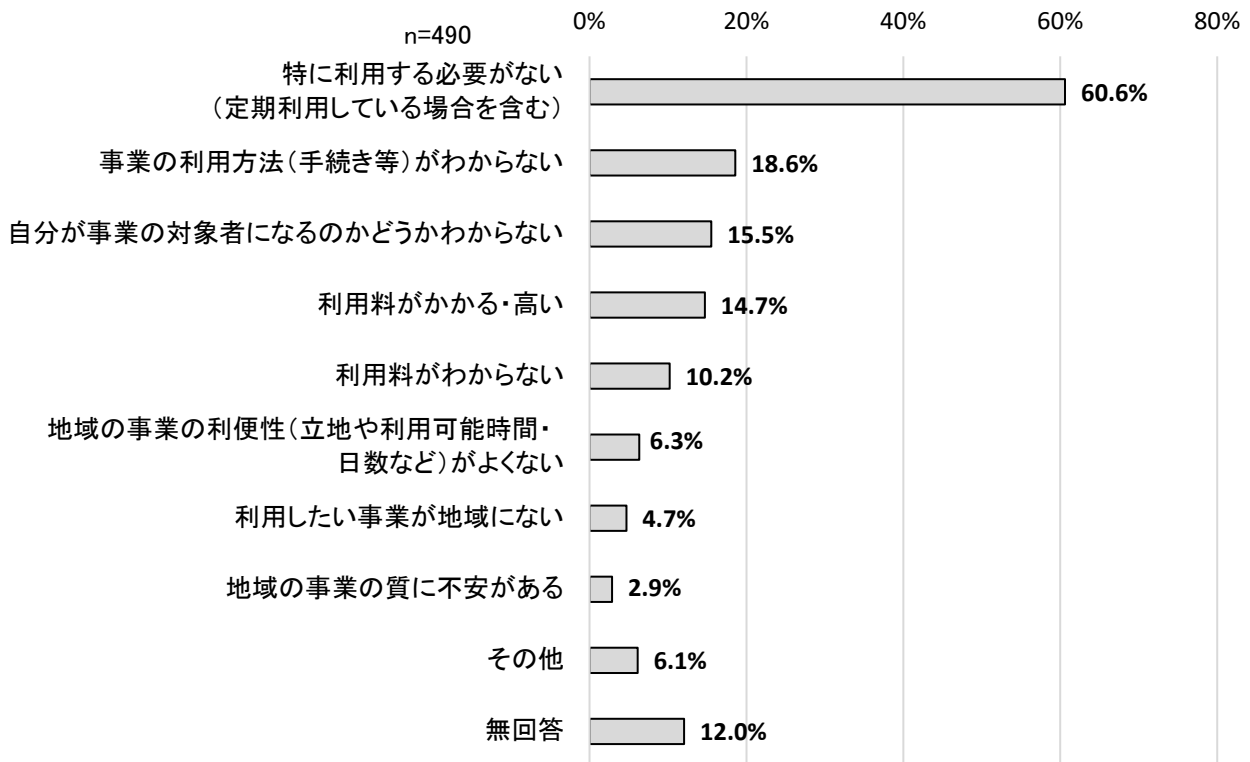
※事業では「ベビーシッター」、利用日数では「9日」と回答した方はいませんでした。



■利用していない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用していない」と答えた方

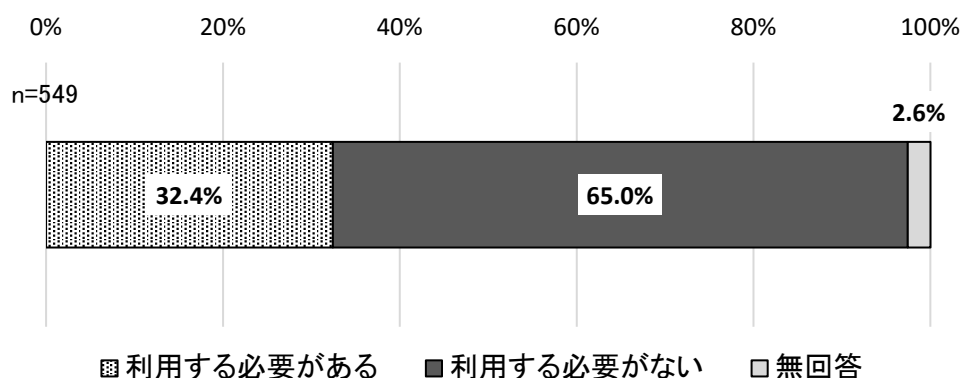
利用していない理由では、「特に利用する必要がない」の割合が60.6%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」18.6%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」15.5%となっています。



問26 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。
ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）をお答えください。

■利用の有無（1つに○）

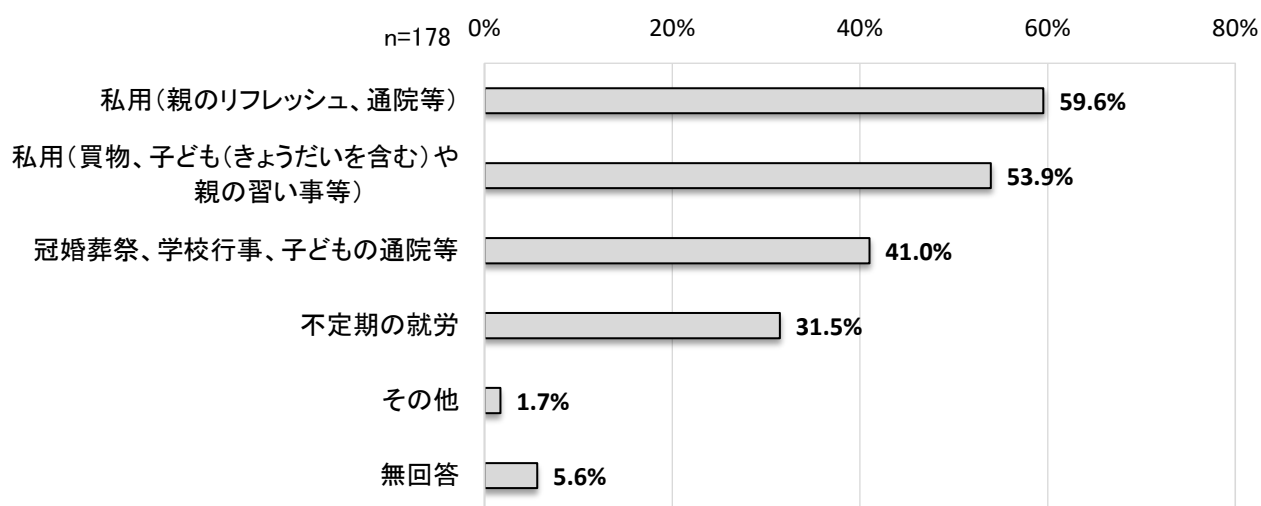
利用の有無では、「利用する必要はない」の割合が65.0%、「利用する必要がある」の割合が32.4%となっています



■希望する利用目的（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用する必要がある」と答えた方

利用したい目的は、上位から「私用(親のリフレッシュ、通院等)」59.6%、「私用(買物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)」53.9%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもの通院等」41.0%となっています。

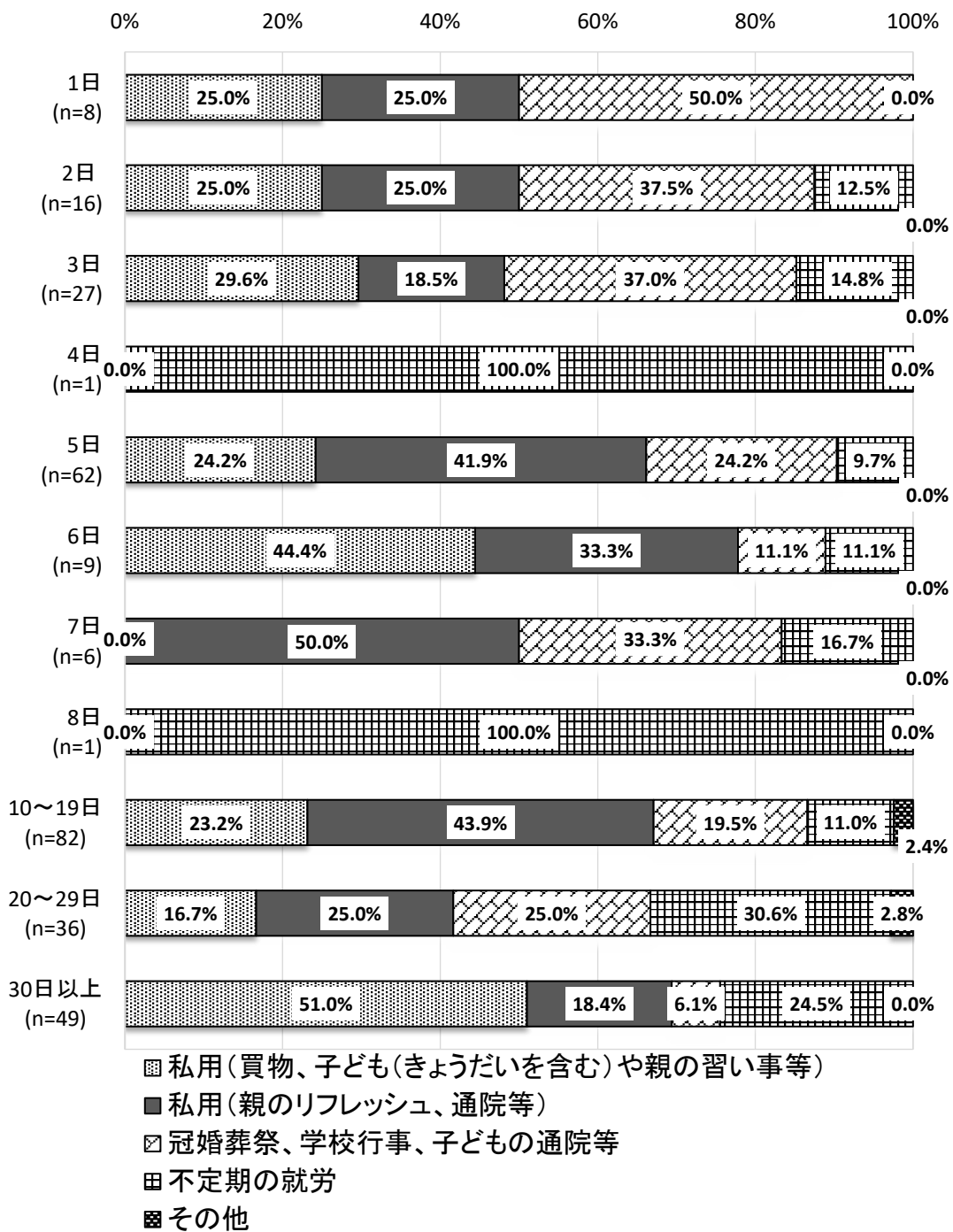


■年間利用延べ日数（数量回答）

※「1. 利用する必要がある」と答えた方

利用したい年間延べ日数は、「10～19日」が82件と最も多くなっています。「私用（買物、子ども（きょうだいを含む）親の習い事等）」と「私用（親のリフレッシュ、通院等）」は幅広い日数で利用を希望されており、特に「30日以上」では、2つ合わせて69.4%と、約7割が私用を理由とした事業の利用を希望する傾向がみられます。

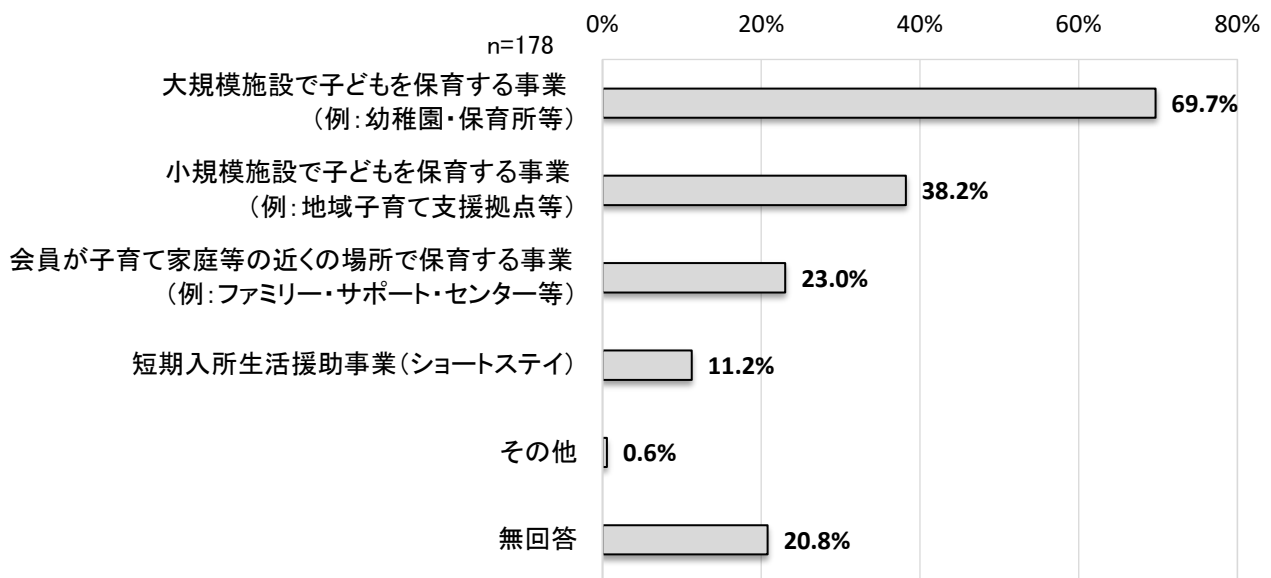
また、「冠婚葬祭、学校行事、子どもの通院等」の割合は、「1日」50.0%、「2日」37.5%、「3日」37.0%と、それぞれの日数において最も高くなっています。



■利用を希望する事業形態（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用する必要がある」と答えた方

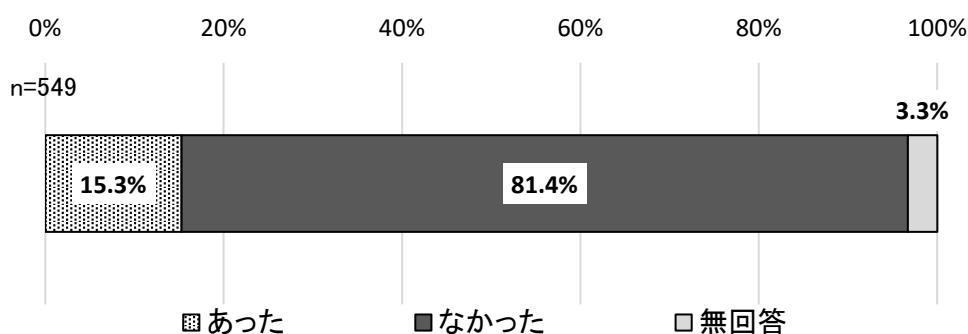
希望する事業形態は、上位から「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」69.7%、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」38.2%、「会員が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」23.0%となっています。



問27 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけて家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）
また、あった場合は、この1年間の対処方法は何か。それぞれの日数をお答えください。

■ 必要性の有無（1つに○）

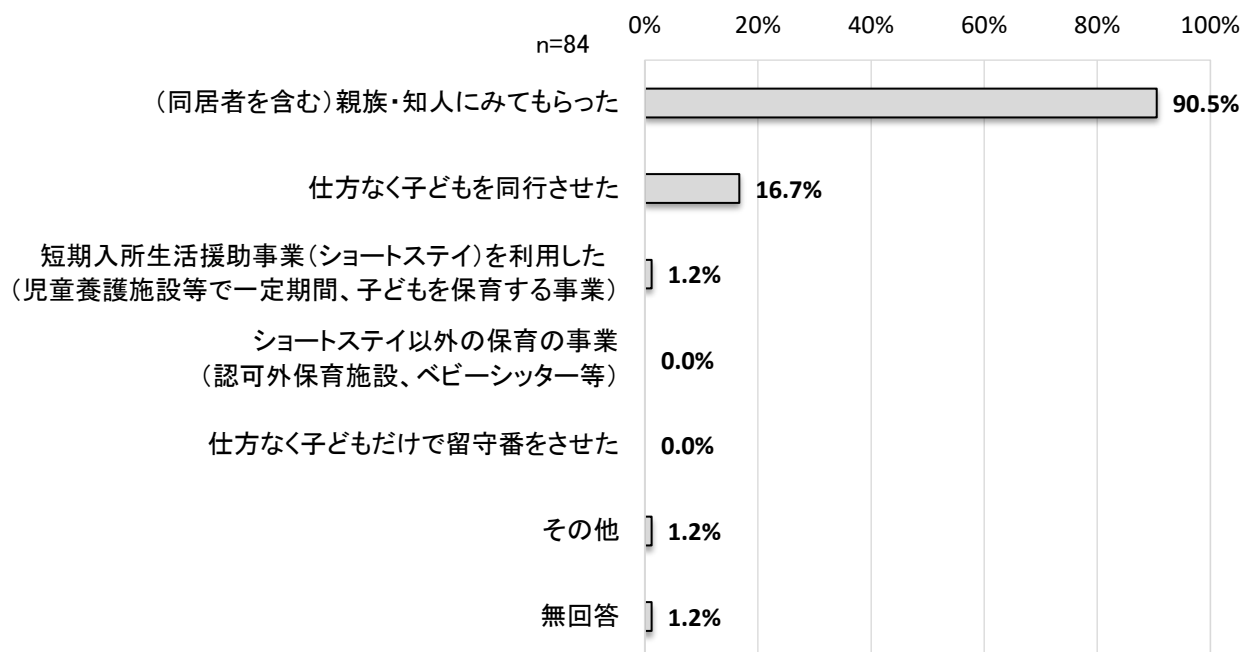
泊りがけて子どもをみてもらわなければならない経験の有無については、「あった」の割合が15.3%、「なかった」の割合が81.4%となっています。



■ この1年間の対処方法（あてはまるものすべてに○）

※ 「1. あった」と答えた方

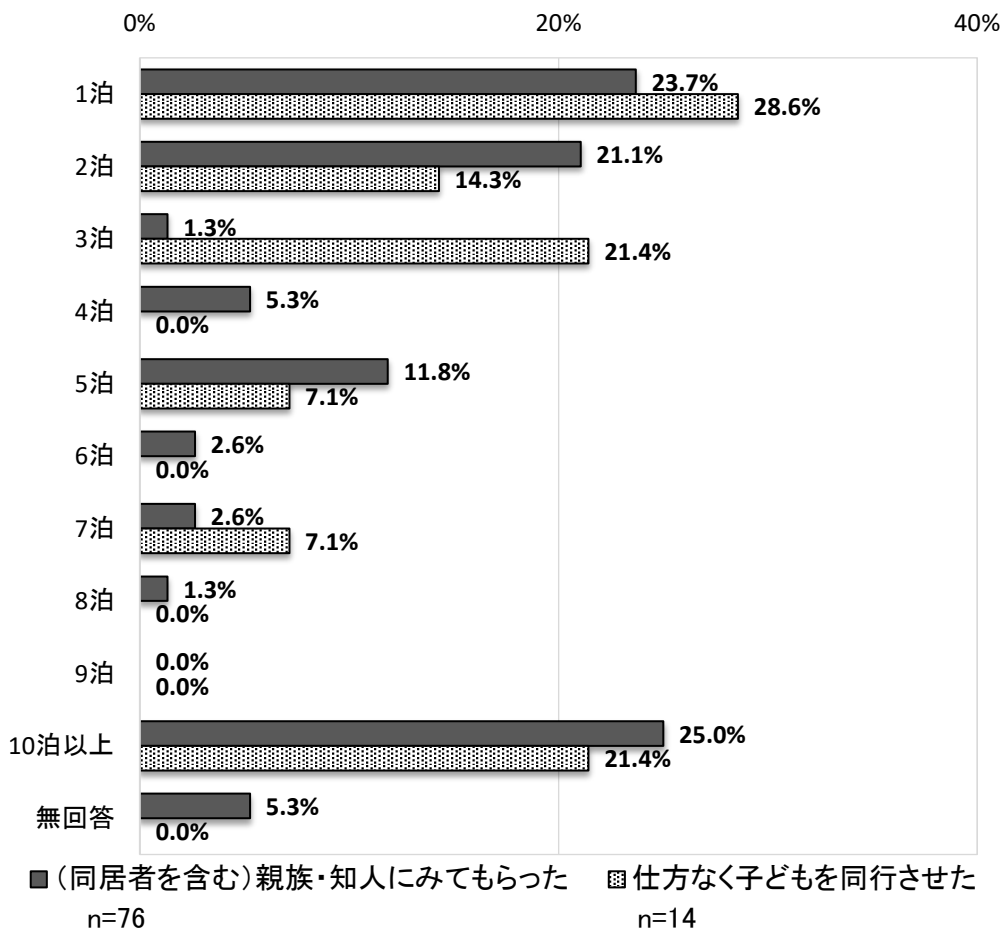
対処方法には、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が90.5%とほとんどを占めており、次いで「仕方なく子どもを同行させた」16.7%となっています。



■年間延べ日数（数量回答）

※「1. あった」と答えた方

預けた泊数は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」では「10泊以上」の割合が25.0%と最も高く、「仕方なく子どもを同行させた」では「1泊」の割合が28.6%と最も高くなっています。

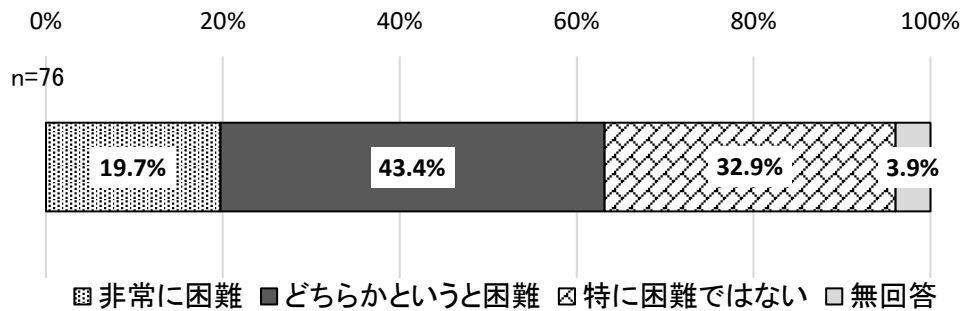


※「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）」と「その他」では、「10泊以上」がそれぞれ1件となっています。

問27-① その場合、どの程度困難でしたか。(1つに○)

※問27で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」場合の困難の程度については、『困難を感じた』(「非常に困難」と「どちらかという困難」の合計)が63.1%と6割を超えています。また「特に困難ではない」の割合は32.9%となっています。



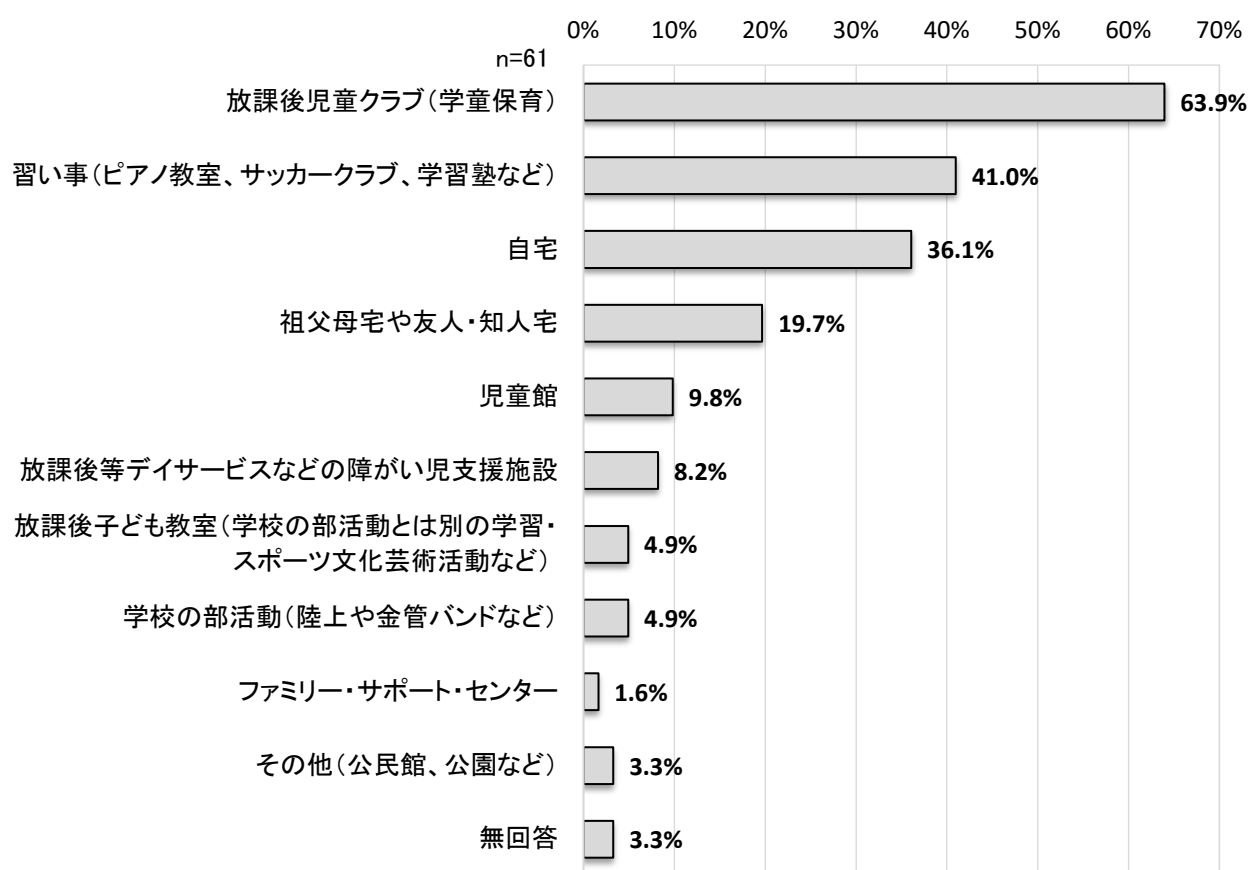
**あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についておうかがいします**

問28 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
また、それぞれ希望する週当たり日数をお答えください。
「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も枠内に数字でご記入ください。

※あて名のお子さんが5歳以上の方

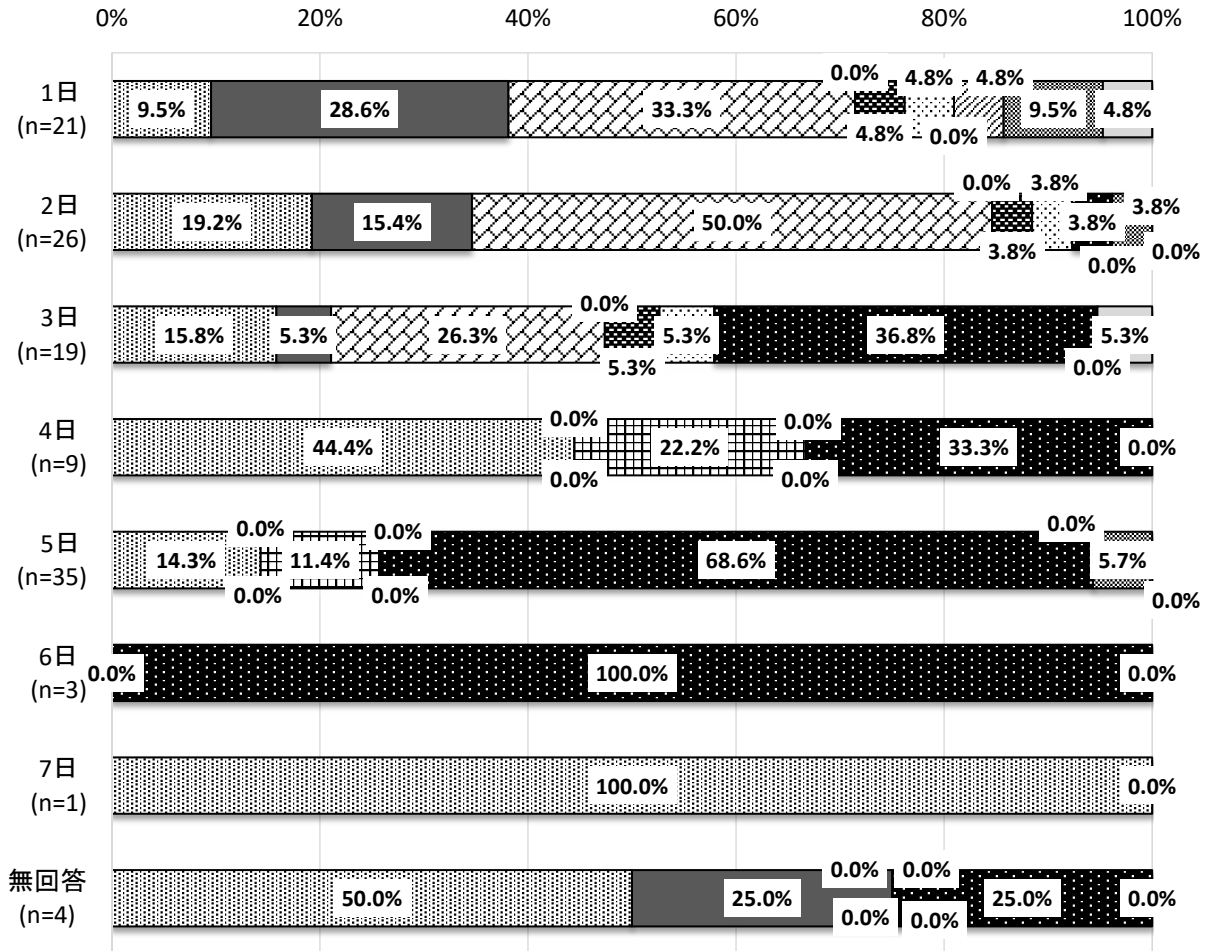
■放課後過ごさせたい場所（あてはまるものすべてに○）

小学校低学年のうちで、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所は、上位から「放課後児童クラブ（学童保育）」63.9%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」41.0%、「自宅」36.1%となっています。



■放課後過ごさせたい場所とそれぞれの週当たりの希望日数（数量回答）

週当たりの希望日数は、「自宅」以外の場所でみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」では、週当たりで3日以上の利用を希望する方が多い傾向がみられます。また、「祖父母宅や友人・知人宅」と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では、週当たりで1日～3日の利用を希望している傾向がみられます。

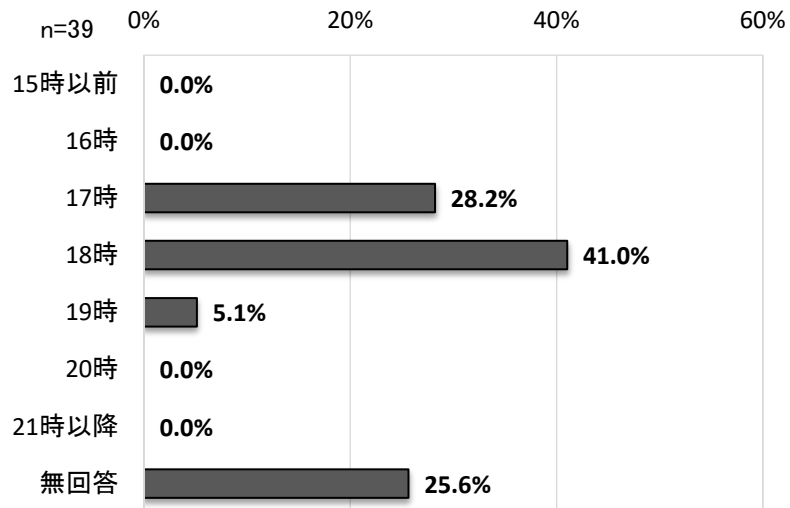


- 自宅
- 祖父母宅や友人・知人宅
- ☒ 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)
- ▨ 児童館
- 放課後子ども教室(学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など)
- ▨ 学校の部活動(陸上や金管バンドなど)
- 放課後児童クラブ(学童保育)
- ▨ ファミリー・サポート・センター
- 放課後等デイサービスなど障がい児支援施設
- その他(公民館、公園など)

■放課後児童クラブの希望する下校時からの利用時間（数量回答）

※「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」と答えた方

放課後児童クラブの希望する下校時からの利用時間は、「18時」の割合が41.0%と最も高く、次いで「17時」28.2%となっています。



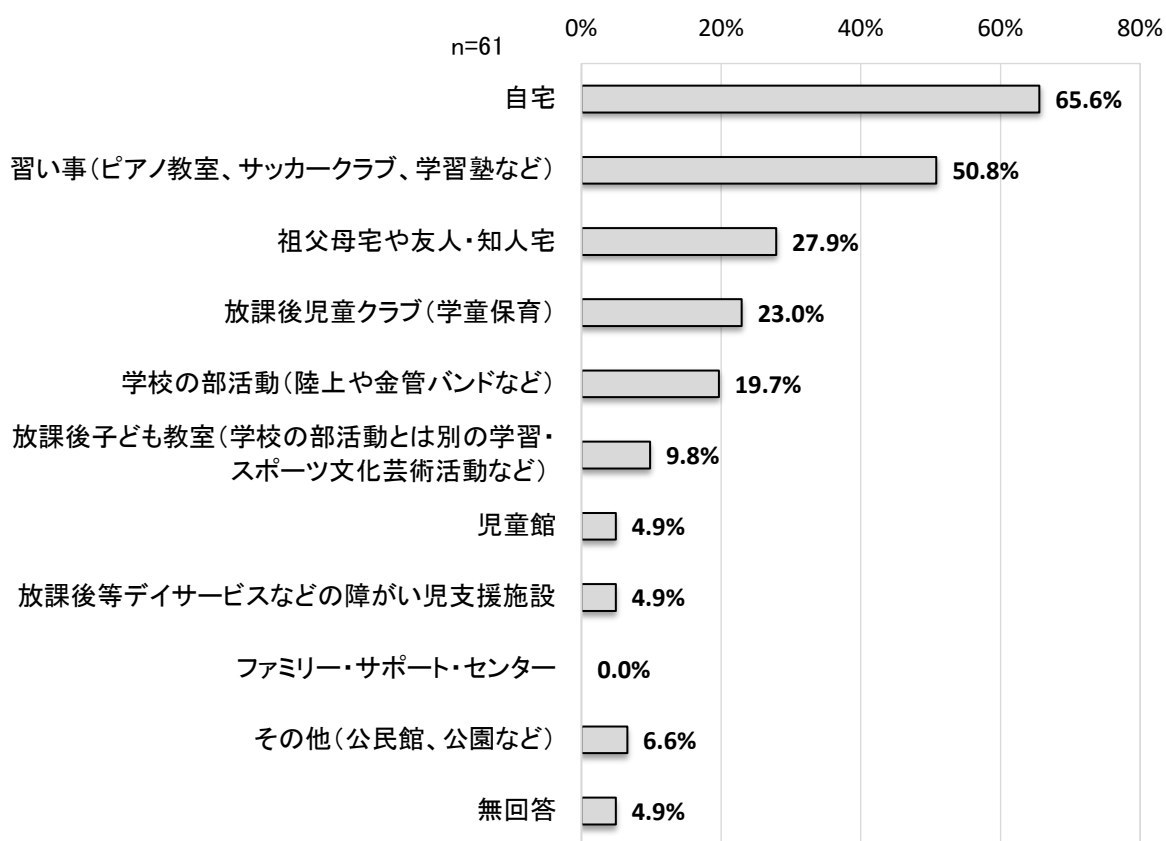
問29 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
また、それぞれ希望する週当たり日数をお答えください。
「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も枠内に数字でご記入ください。

※あて名のお子さんが5歳以上の方

■放課後過ごさせたい場所（あてはまるものすべてに○）

小学校高学年になったら、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所については、上位から「自宅」65.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」50.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」27.9%となっています。

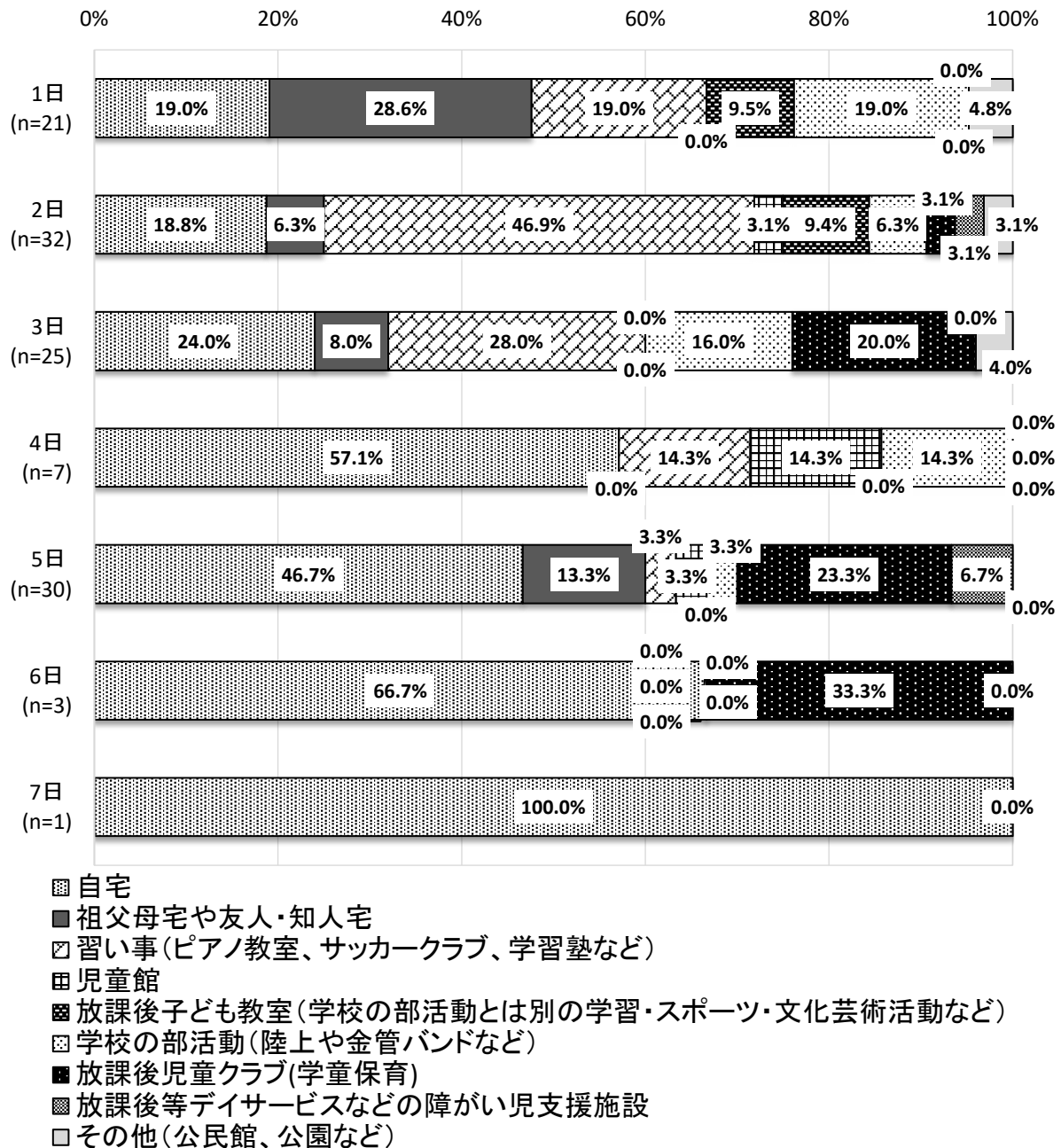
問28と比較すると、低学年は「放課後児童クラブ（学童保育）」、高学年は「自宅」で過ごさせたいという傾向がみられます。



■放課後過ごさせたい場所とそれぞれの週当たりの希望日数（数量回答）

週当たりの希望日数は、「自宅」以外の場所でみると、低学年と同様に「祖父母宅や友人・知人宅」と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では、週当たりで1日～3日の利用を希望している傾向がみられます。

また、「学校の部活動（陸上や金管バンドなど）」では、「1日」19.0%、「2日」6.3%、「3日」16.0%となっており、低学年に比べて、放課後を過ごさせたい場所として利用を希望する割合が増加している傾向がみられます。

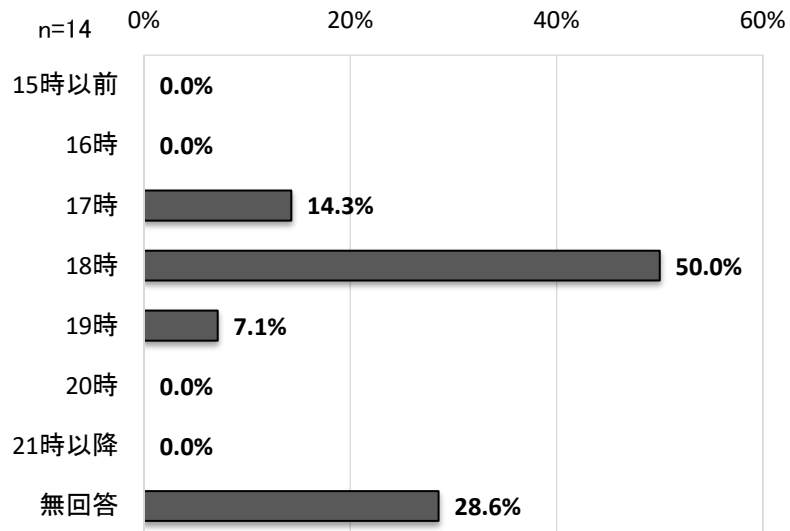


※「ファミリー・サポート・センター」の回答はありませんでした。

■放課後児童クラブの希望する下校時からの利用時間（数量回答）

※「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」と答えた方

放課後児童クラブの希望する下校時からの利用時間は、「18時」の割合が50.0%と最も高く、次いで「17時」14.3%となっています。



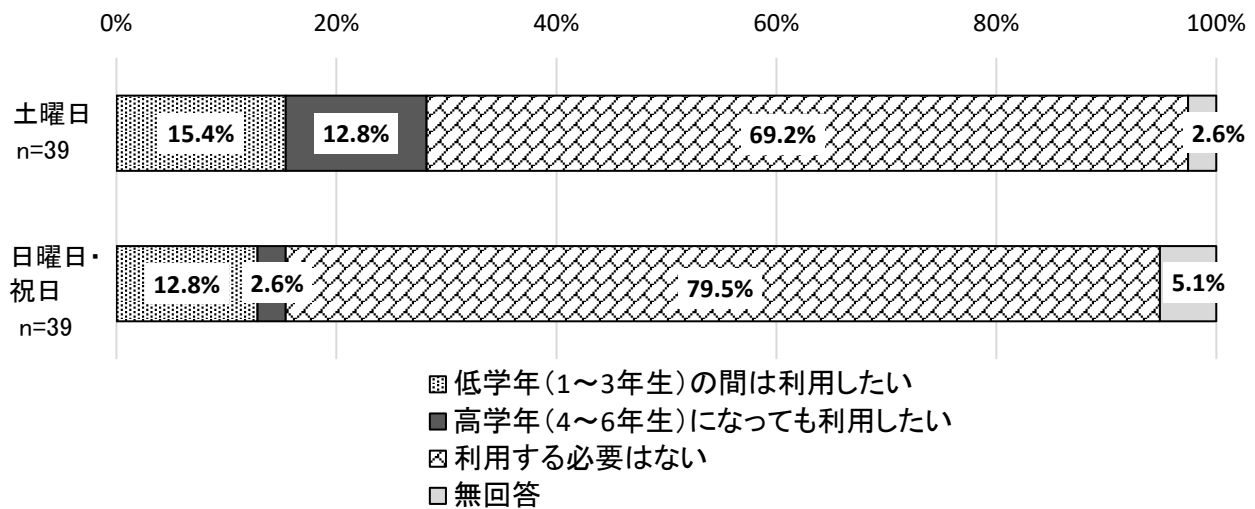
問30 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

※問28または問29で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」と答えた方

放課後児童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望は、土曜日と日曜日・祝日ともに「利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。低学年または高学年で利用希望のある方は「土曜日」28.2%、「日曜日・祝日」15.4%となっています。

利用する時間帯は、開始が「8時」、終了が「17時」の割合が高くなっています。

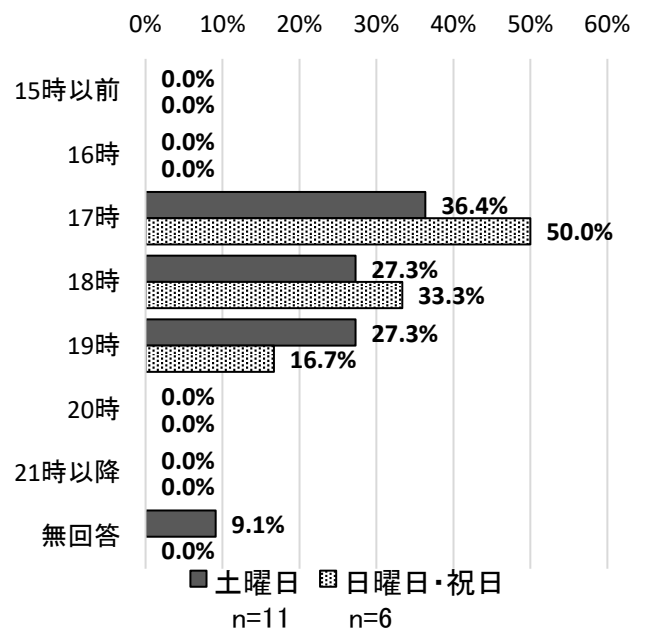
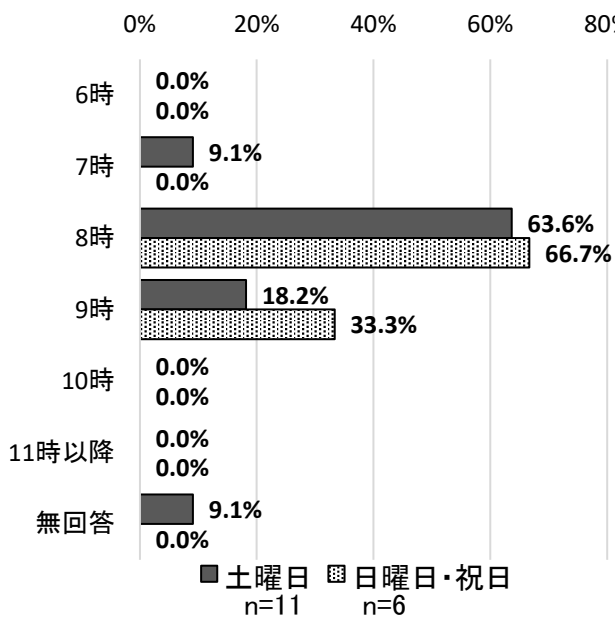
●土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望（1つに○）



※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方（数量回答）

●希望する利用時間帯-利用開始時間

●希望する利用時間帯-利用終了時間

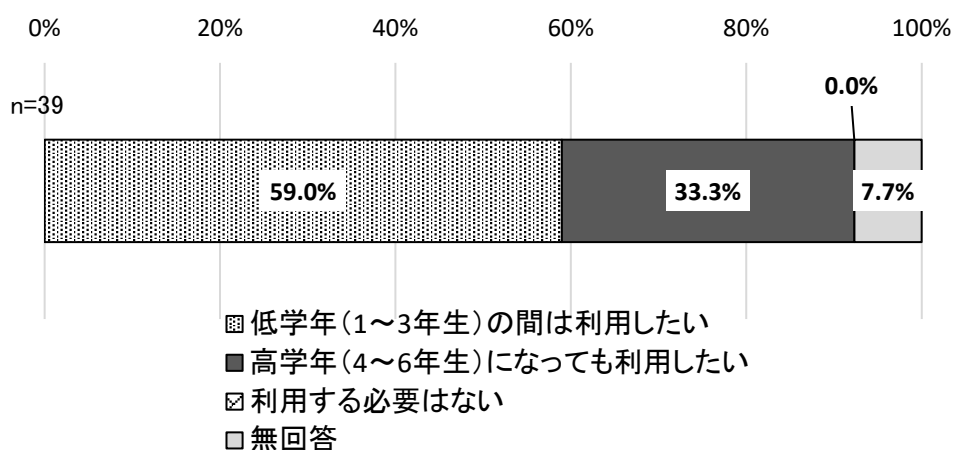


問3 | あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」59.0%、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」33.3%となっており、これらを合わせた、利用希望のある方は92.3%と9割を超えています。

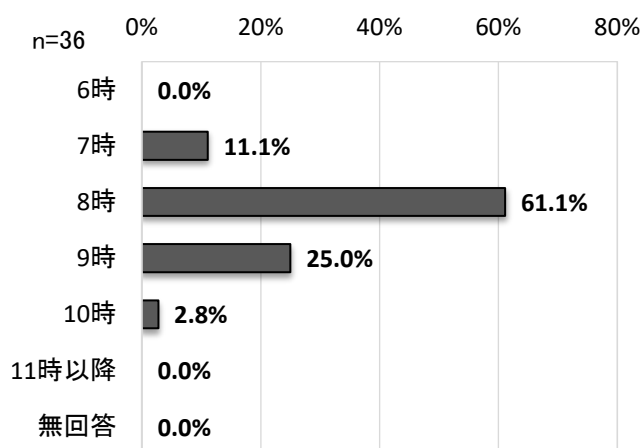
利用する時間帯は、開始が「8時」で61.1%、終了が「18時」で47.2%とそれぞれ割合が最も高くなっています。

●長期休暇中の放課後クラブ（学童保育）の利用希望（1つに○）

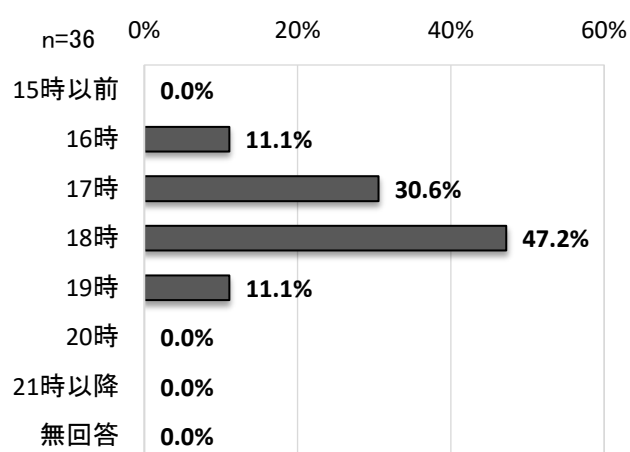


※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方（数量回答）

●希望する利用時間帯-利用開始時間



●希望する利用時間帯-利用終了時間

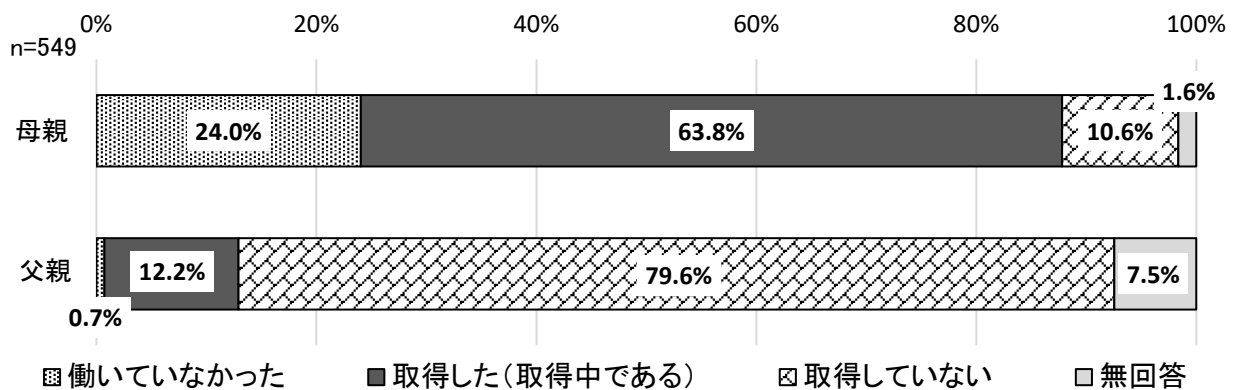


すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の
両立支援制度についておうかがいします

問3 2 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

■ 育児休業の取得状況（1つに○）

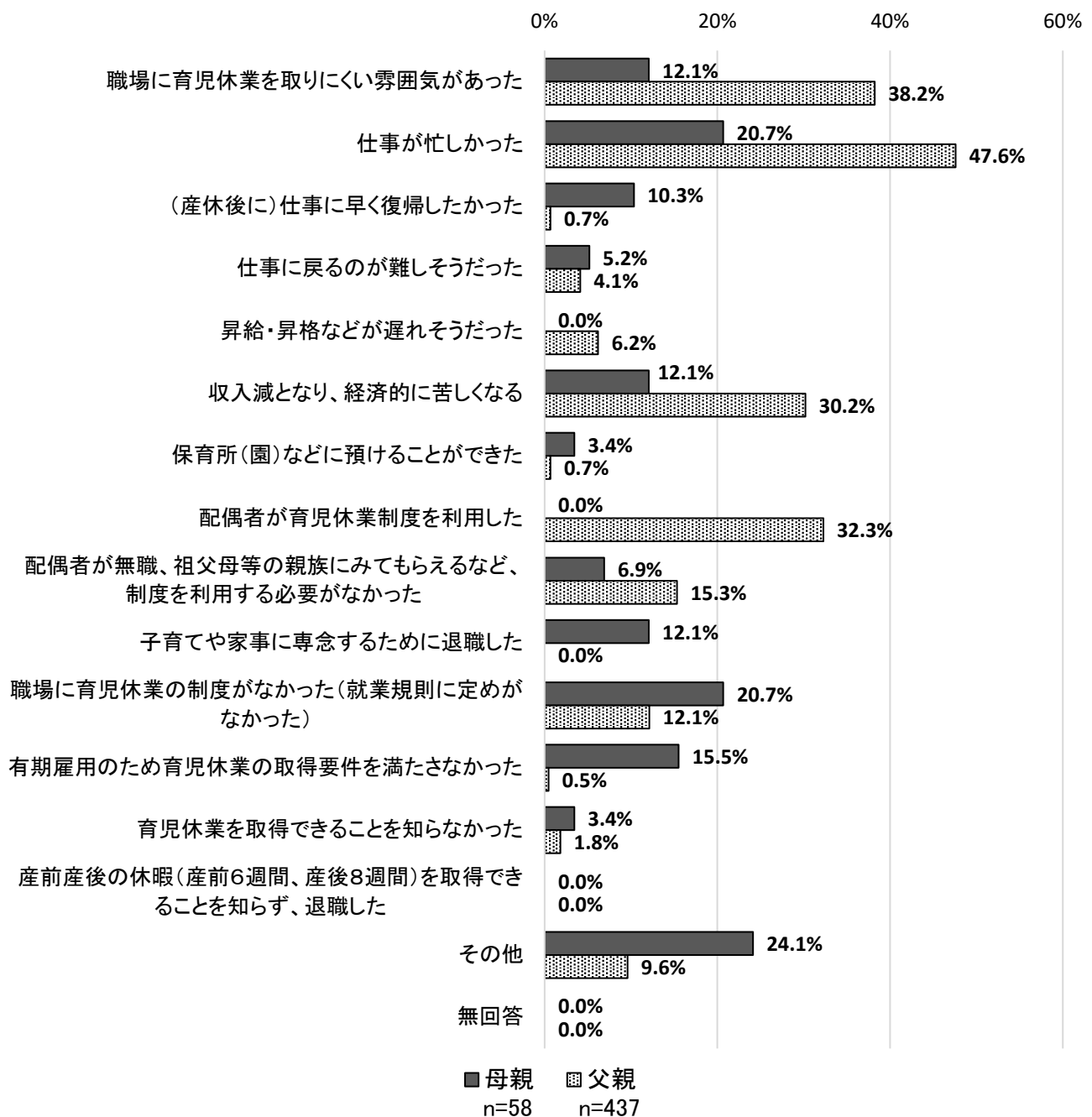
子どもが生まれた時の保護者の育児休業の取得状況は、母親は「取得した（取得中である）」の割合が63.8%と6割が育児休業を取得しています。また、「取得していない」は10.6%となっています。父親は、「取得していない」の割合が79.6%と約8割を占めており、「取得した（取得中である）」は12.2%となっています。



■取得していない理由（あてはまるものすべてに○）

※「3. 取得していない」と答えた方

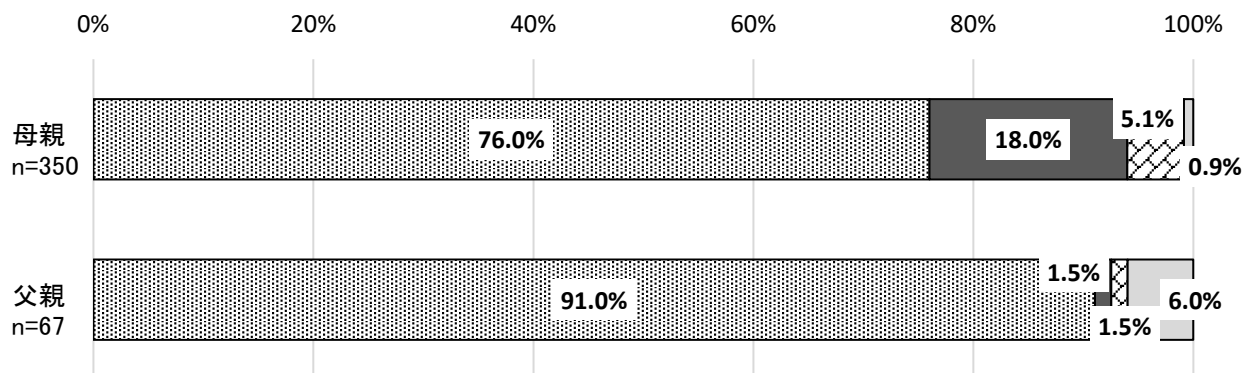
子どもが生まれた時に保護者が育児休業を取得していない理由は、母親は「その他」の割合が24.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」と「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」20.7%、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」15.5%となっています。父親は、「仕事が忙しかった」の割合が47.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」38.2%、「配偶者が育児休業制度を利用した」32.3%となっています。



問32-① 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)

※問32で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

育児休業取得後、職場に復帰したかは、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が最も高く、それぞれ76.0%、91.0%となっています。



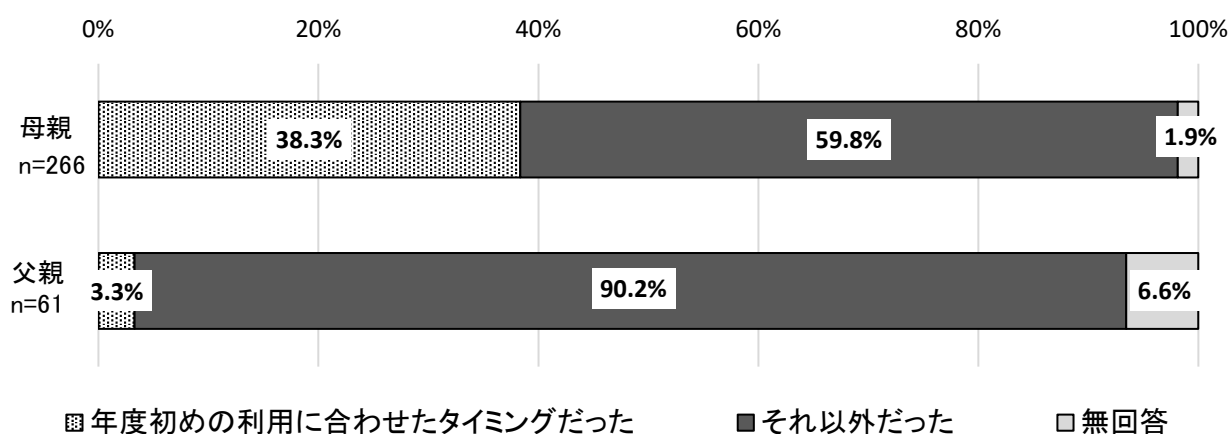
■ 育児休業取得後、職場に復帰した ■ 現在も育児休業中である □ 育児休業中に離職した □ 無回答

問3 2 - ② 育児休業から職場復帰したのは、年度初めの保育所利用に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)

※問3 2 - ①で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

育児休業から職場復帰したのが、年度初めの保育所利用に合わせたタイミングかどうかについては、母親・父親ともに「それ以外だった」の割合が最も高く、それぞれ59.8%、90.2%となっています。

「年度初めの保育所利用に合わせたタイミングだった」の割合は母親で38.3%、父親で3.3%となっています。

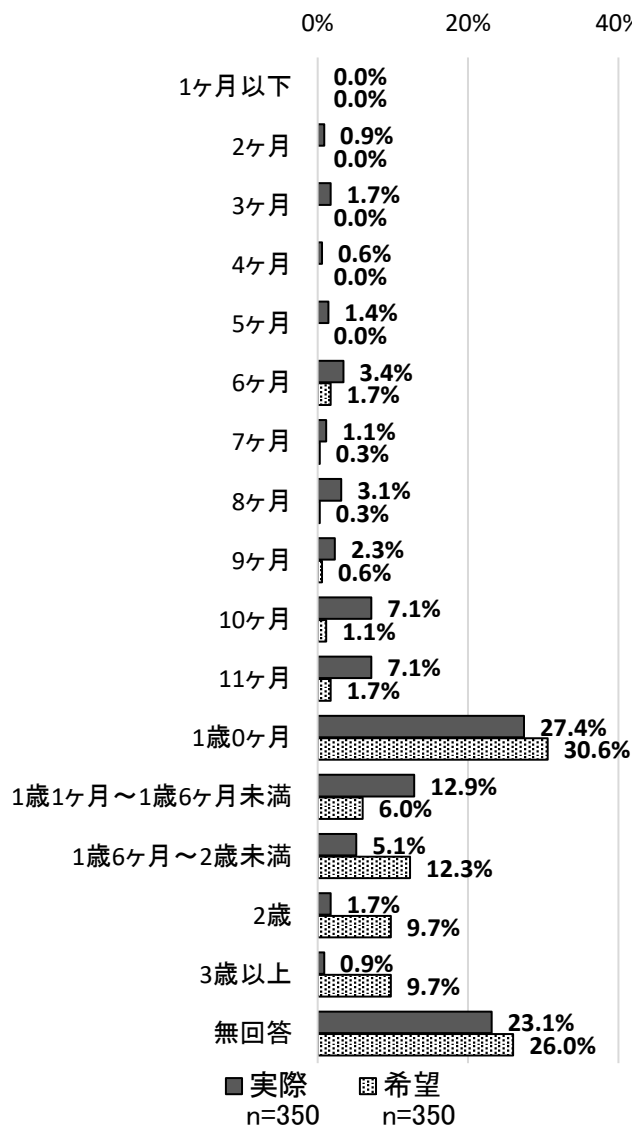


問32-③ 育児休業からは「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(数量回答)

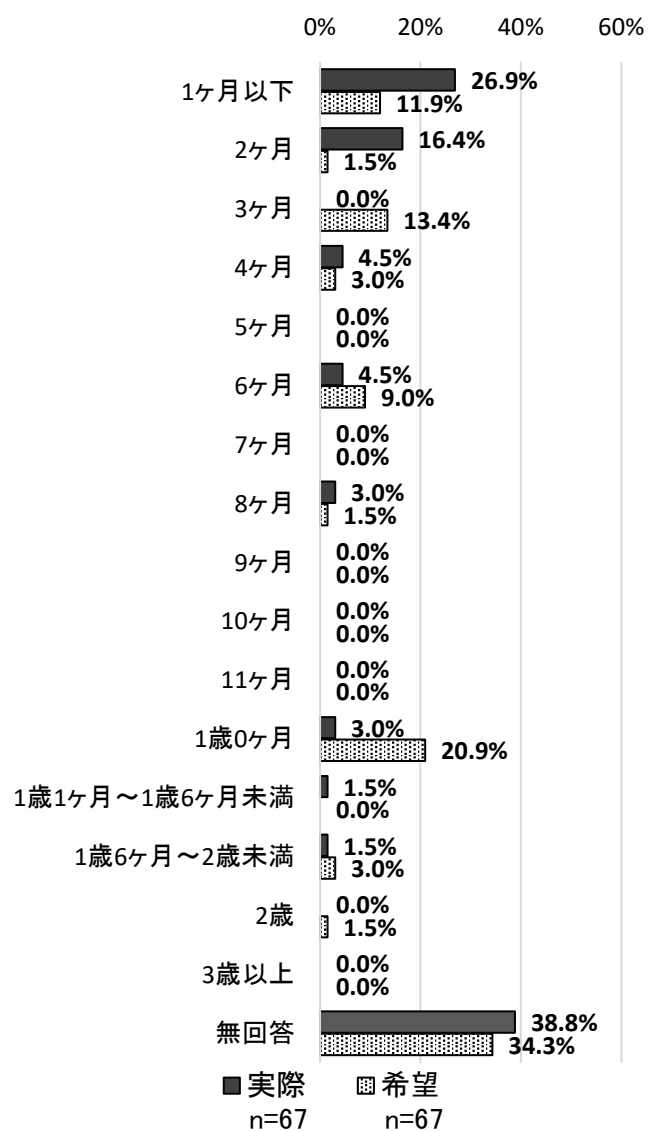
※問32で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

実際に子どもが何歳何か月の時に復帰したかと、何歳何か月まで取りたかったかという希望は、母親では、「実際」と「希望」とともに「1歳0ヶ月」の最も割合が高く、それぞれ27.4%、30.6%となっています。父親は、「実際」では「1ヶ月以下」、「希望」では「1歳0ヶ月」の割合が最も高くなっており、「実際」と「希望」の期間に差がみられています。

●母親



●父親

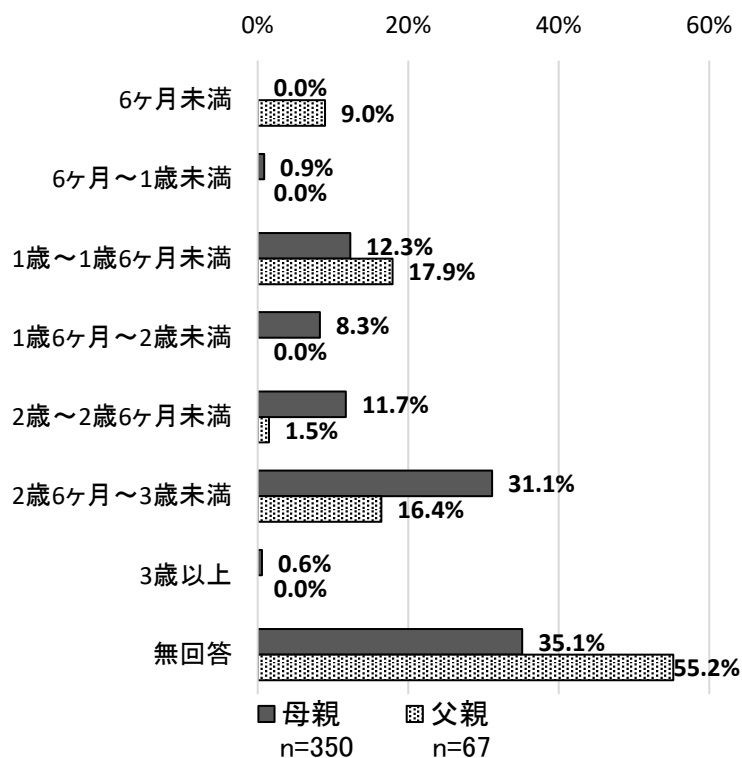


問32-④ お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(数量回答)

※問32で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、何歳何か月まで取りたいかについては、母親で「2歳6ヶ月～3歳」が31.1%、父親で「1歳～1歳6ヶ月未満」が17.9%でそれぞれ最も高くなっています。



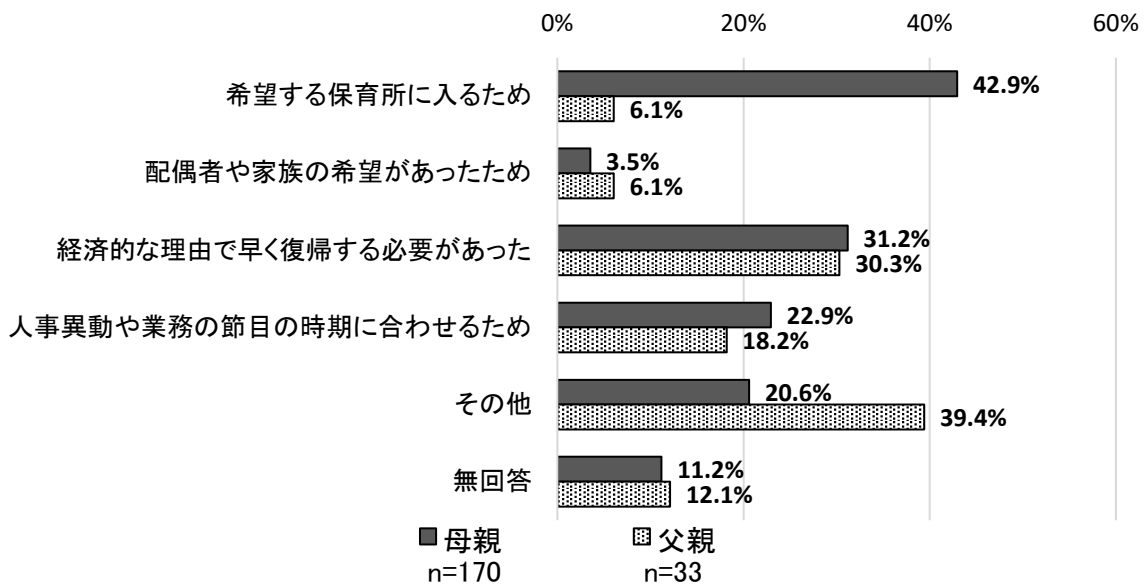
問32-⑤ 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。

※問32-③で実際の復帰と希望が異なる方

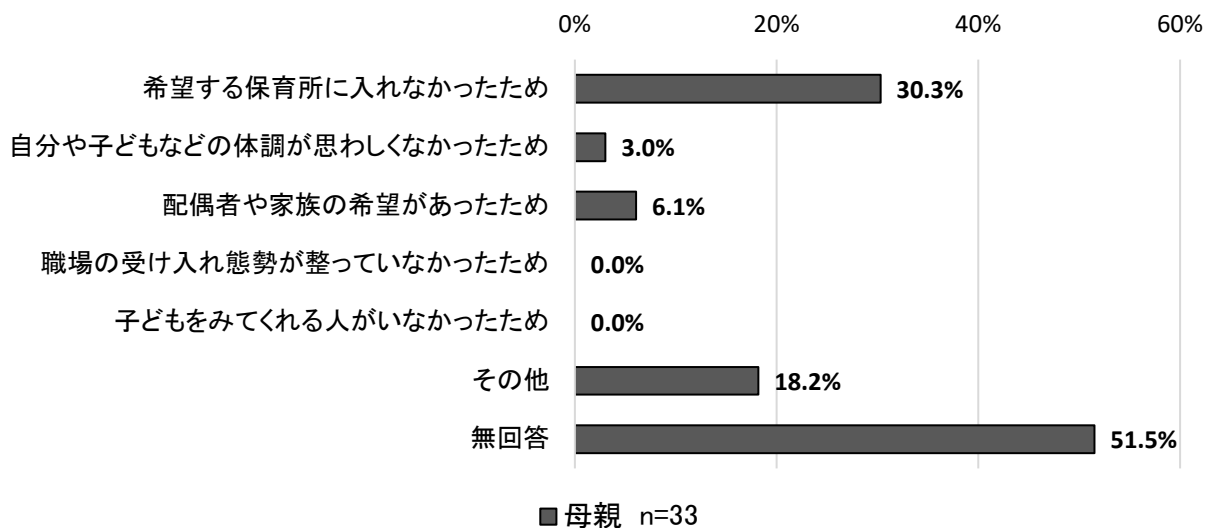
希望より早く復帰した方は、母親では「希望する保育所に入るため」の割合が42.9%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」31.2%となっています。父親では「その他」の割合が39.4%と最も高くなっています。

希望より遅く復帰した方は、母親では「希望する保育所に入れなかったため」の割合が30.3%と最も高くなっています。

(1) 「希望」より早く復帰した方（あてはまるものすべてに○）



(2) 「希望」より遅く復帰した方（あてはまるものすべてに○）



※父親は7件ありましたが、回答された方はいませんでした。

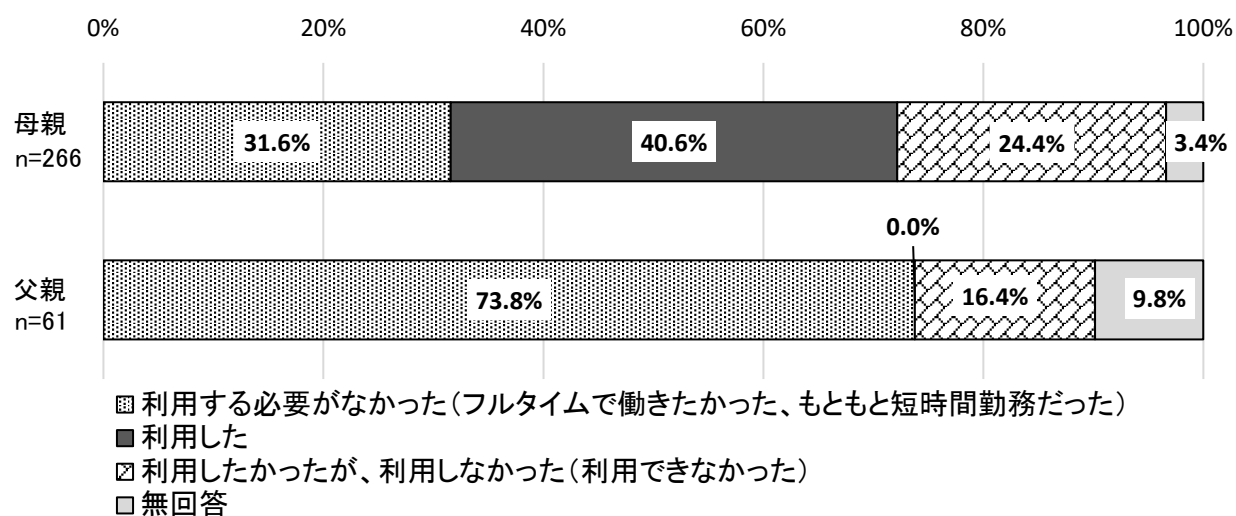
問32-⑥ 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(1つに○)

※問32-①で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

母親では、上位から「利用した」40.6%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」31.6%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」24.4%となっています。

父親では、上位から「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」73.8%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」16.4%となっており、「利用した」と回答された方はいませんでした。



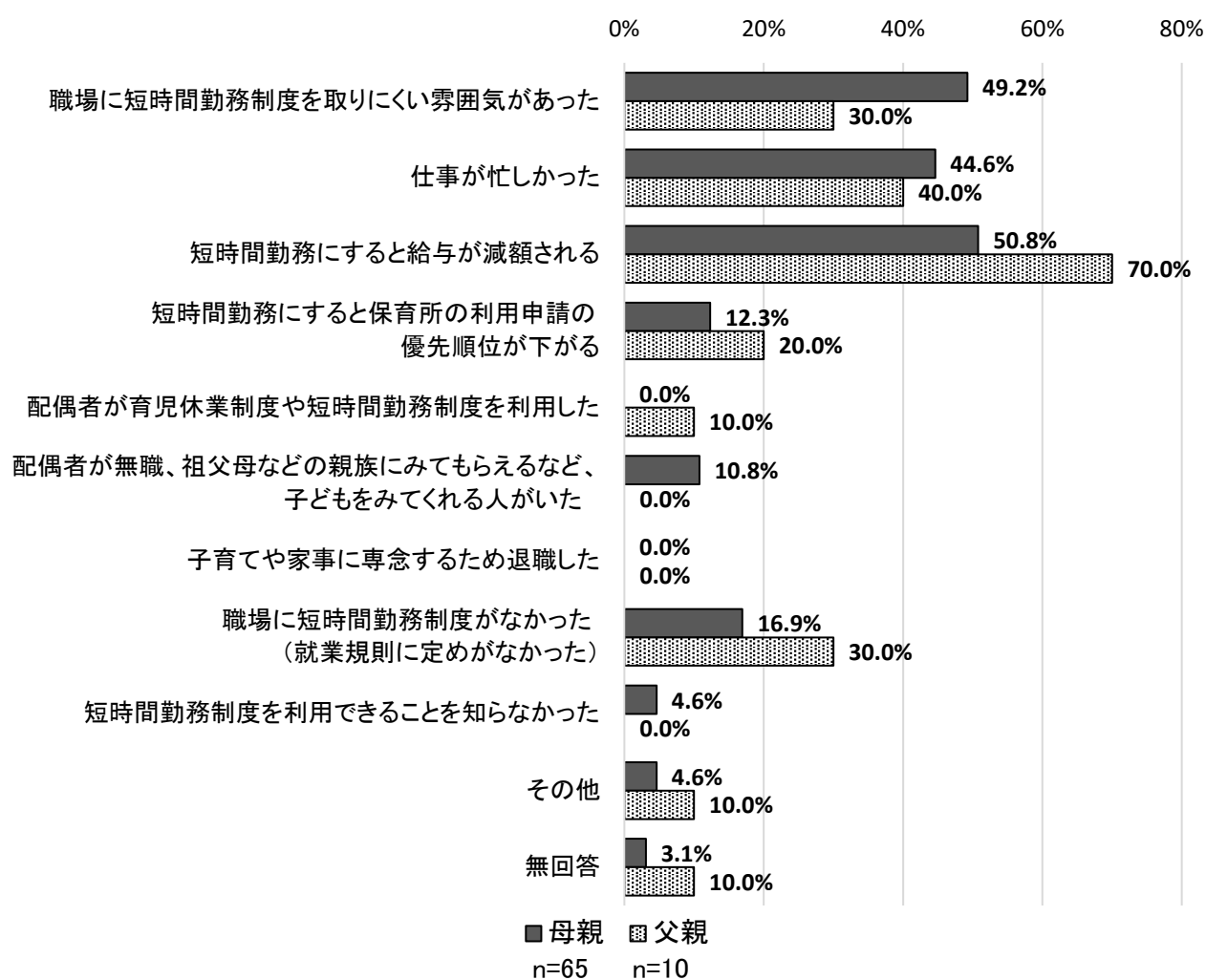
問32-⑦ 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

※問32-⑥で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と答えた方

母親では、上位から「短時間勤務にすると給与が減額される」50.8%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」49.2%、「仕事が忙しかった」44.6%となっています。

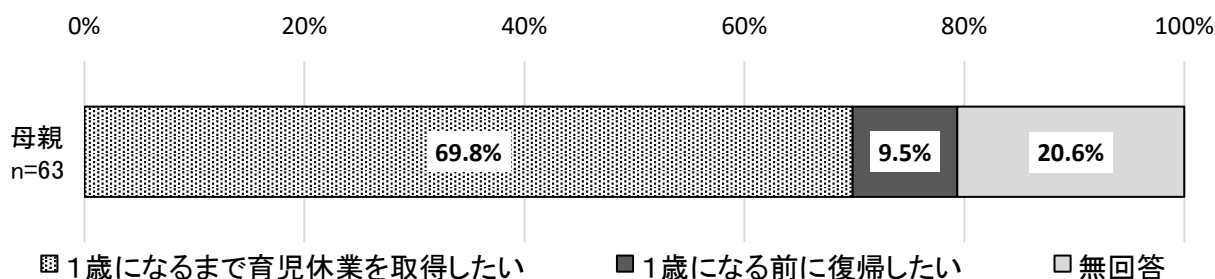
父親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が70.0%と最も高くなっています。



問32-⑧ あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。 (1つに○)

※問32-①で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方

母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が69.8%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が9.5%となっています。

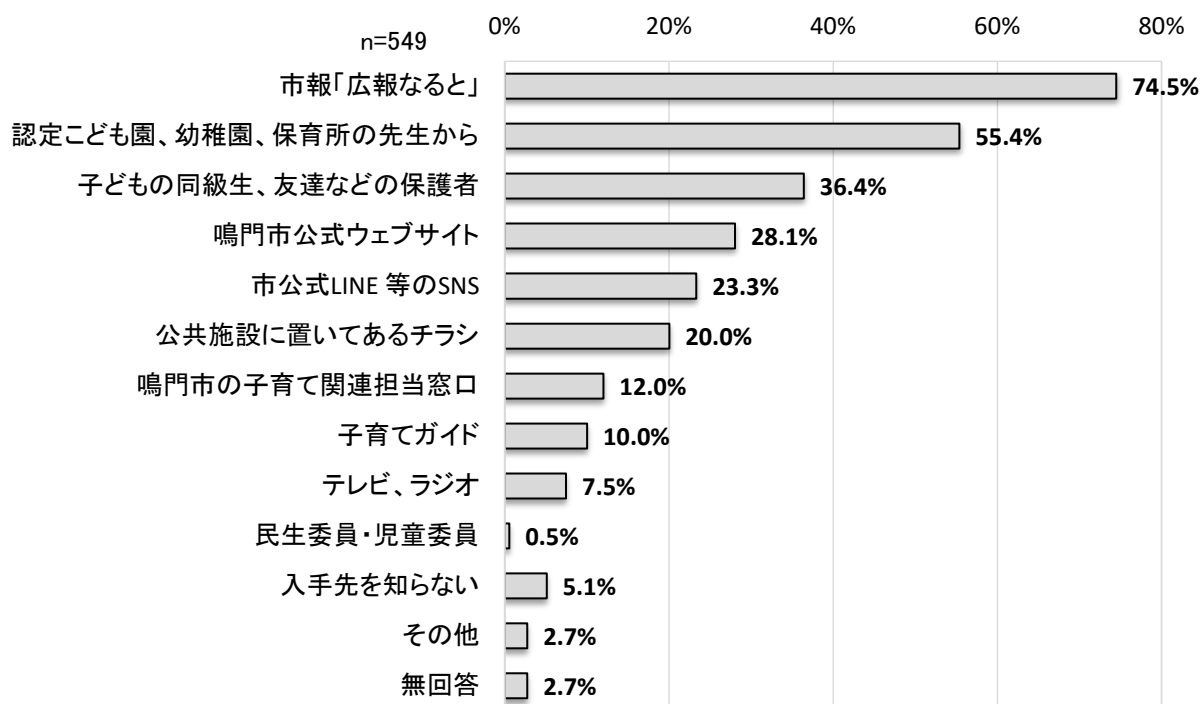


※父親の回答はありませんでした。

問33 あなたは、鳴門市の子育てに関する情報はどこから入手していますか。

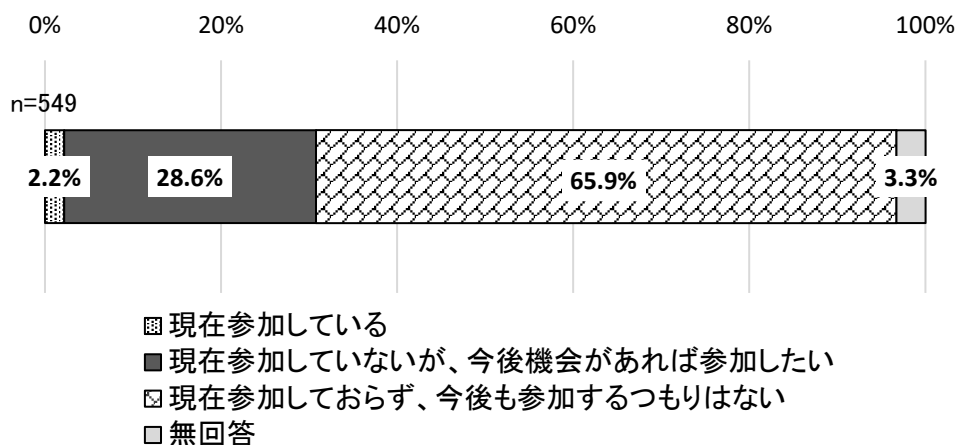
(あてはまるものすべてに○)

鳴門市の子育てに関する情報の入手先については、「市報『広報なると』」の割合が74.5%と最も高く、次いで「認定こども園、幼稚園、保育所の先生から」55.4%、「子どもの同級生、友達などの保護者」36.4%となっています。



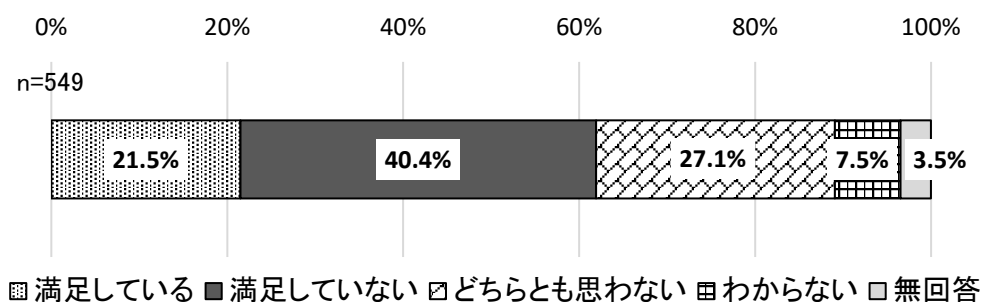
問34 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。(1つに○)

子育てサークルなどの自主的な活動への参加については、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が65.9%と最も高く、次いで「現在参加していないが、今後機会があれば参加したい」28.6%となっています。「現在参加している」は2.2%と低くなっています。



問35 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(1つに○)

子どもの遊び場については、「満足していない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「どちらとも思わない」27.1%となっています。「満足していない」40.4%に対して、「満足している」21.5%となっていることから、子どもの遊び場に関しての満足度が低い傾向がみられます。



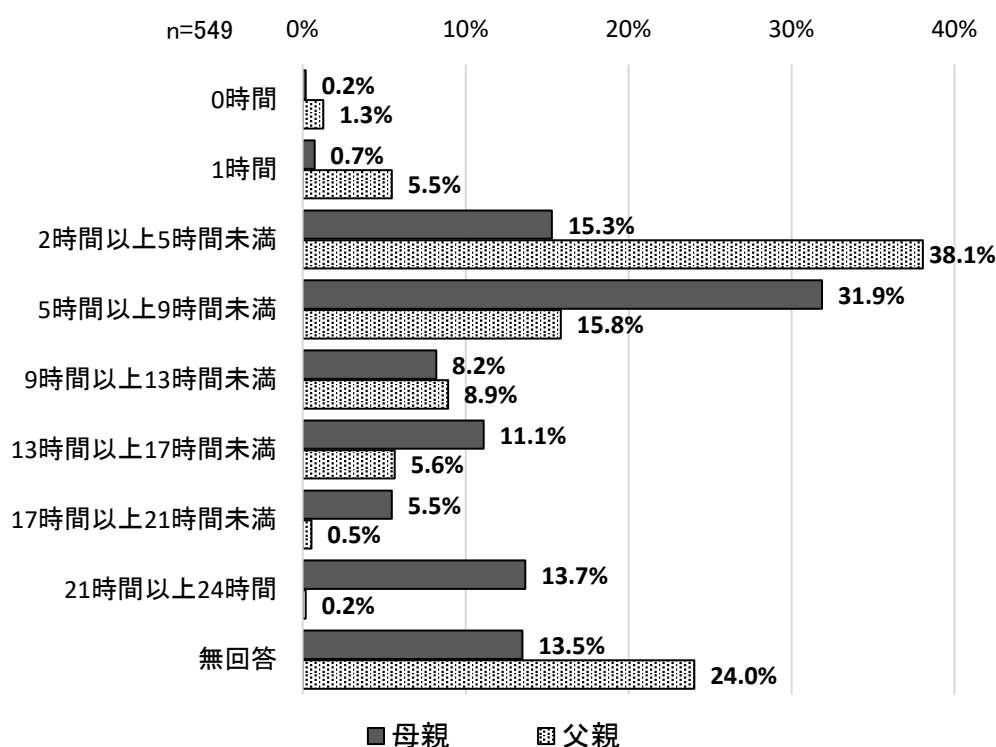
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について おうかがいします

問36 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。（1週間の平均的な時間をお答えください。数字は一桁に一字）また、その時間は十分だと思いますか。

■子どもと一緒に過ごす時間（数量回答）

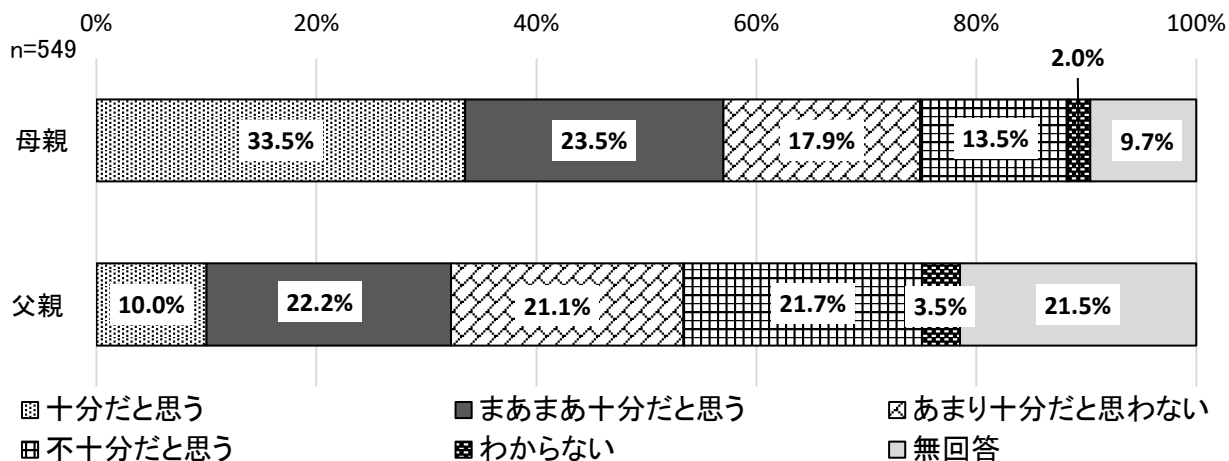
子どもと一緒に過ごす時間は、母親では「5時間以上9時間未満」の割合が31.9%と最も高く、次いで「2時間以上5時間未満」15.3%となっています。

父親では「2時間以上5時間未満」の割合が38.1%と最も高く、次いで「5時間以上9時間未満」15.8%となっています。



■ その時間は十分だと思いますか（1つに○）

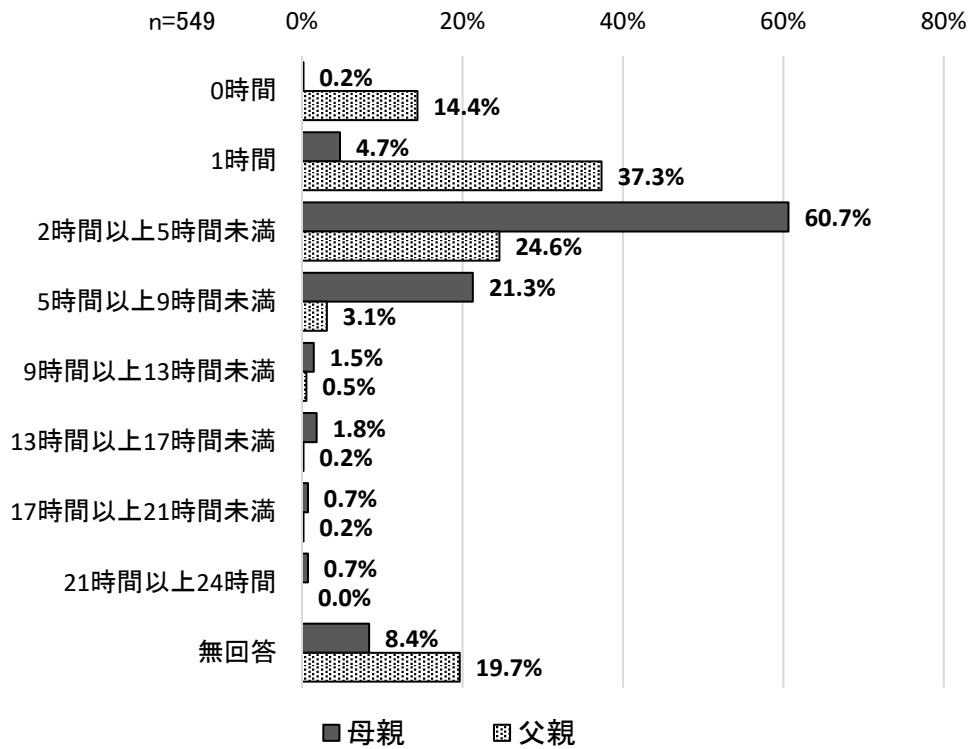
その時間を十分と思うかについては、母親では『十分』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計、以下同様）の割合が57.0%となっています。一方、父親では『十分』の割合が32.2%となっており、母親と比べて、子どもと過ごす時間が十分だと思っていない方が多くなっています。



問37 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。枠内に数字でご記入ください。

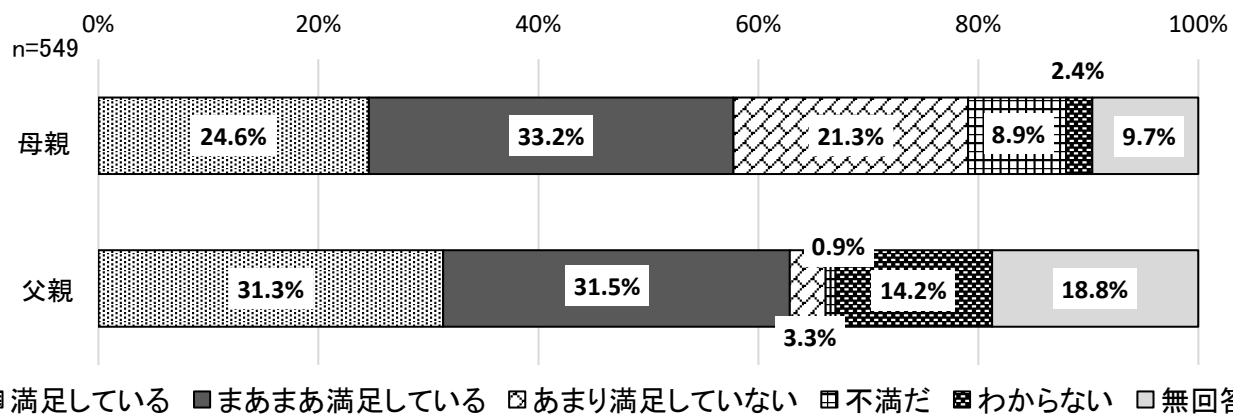
(1週間の平均的な時間をお答えください。数字は一枠に一字)

1日当たりの家事の時間は、母親が「2時間以上5時間未満」の割合が60.7%と最も高く、次いで「5時間以上9時間未満」21.3%となっています。父親では「1時間」の割合が37.3%と最も高く、次いで「2時間以上5時間未満」24.6%となっています。



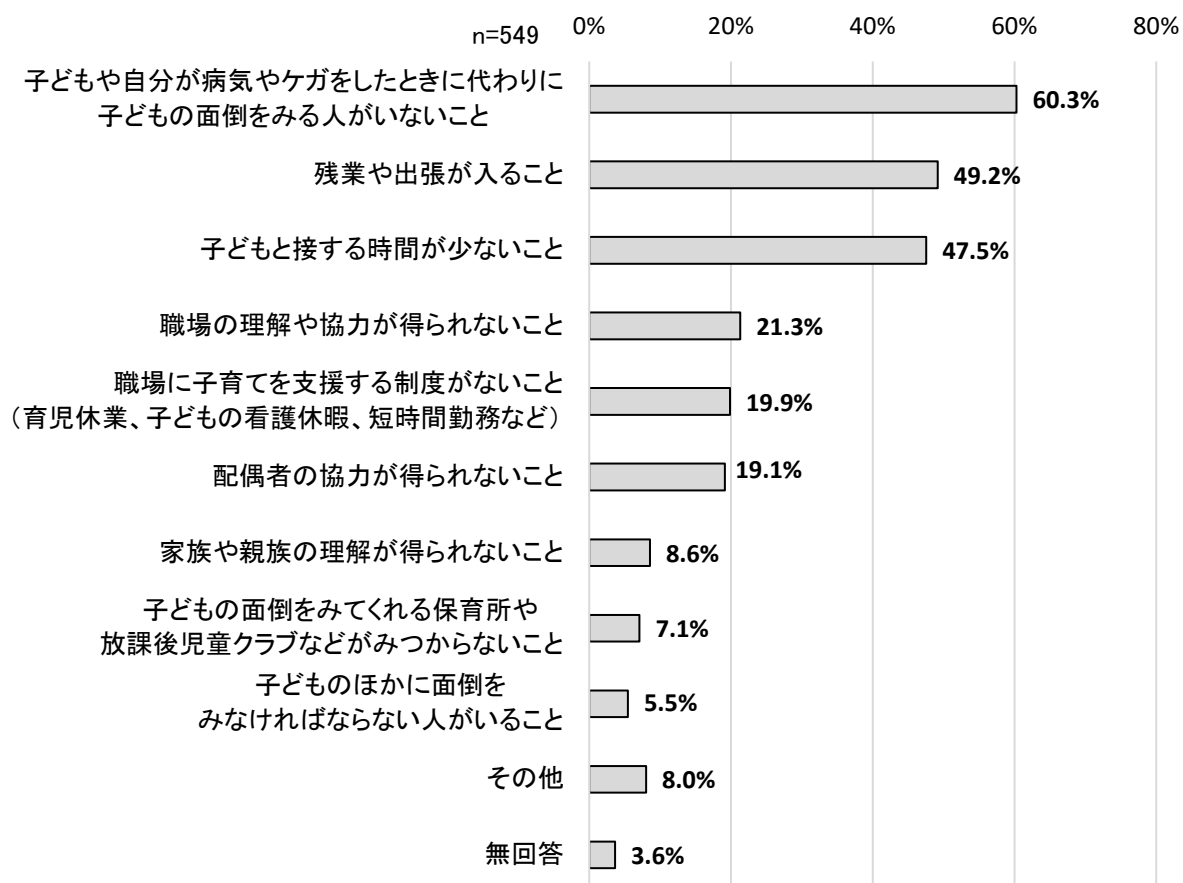
問38 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。(1つに○)

配偶者との家事、育児分担の満足度は、『満足』(「満足している」と「まあまあ満足している」の合計)の割合が母親では57.8%、父親では62.8%と、母親・父親ともに半数以上が満足しています。



問39 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。
 現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは、上位から「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」60.3%、「残業や出張が入ること」49.2%、「子どもと接する時間が少ないこと」47.5%となっています。

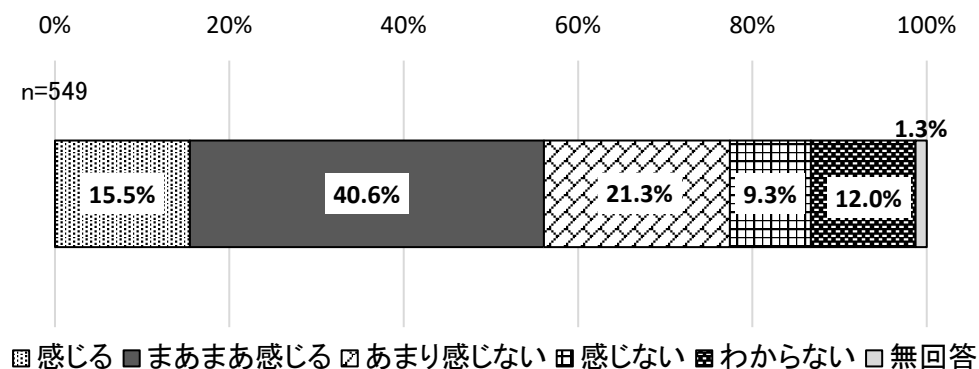


問40 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。

現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。

(1つに○)

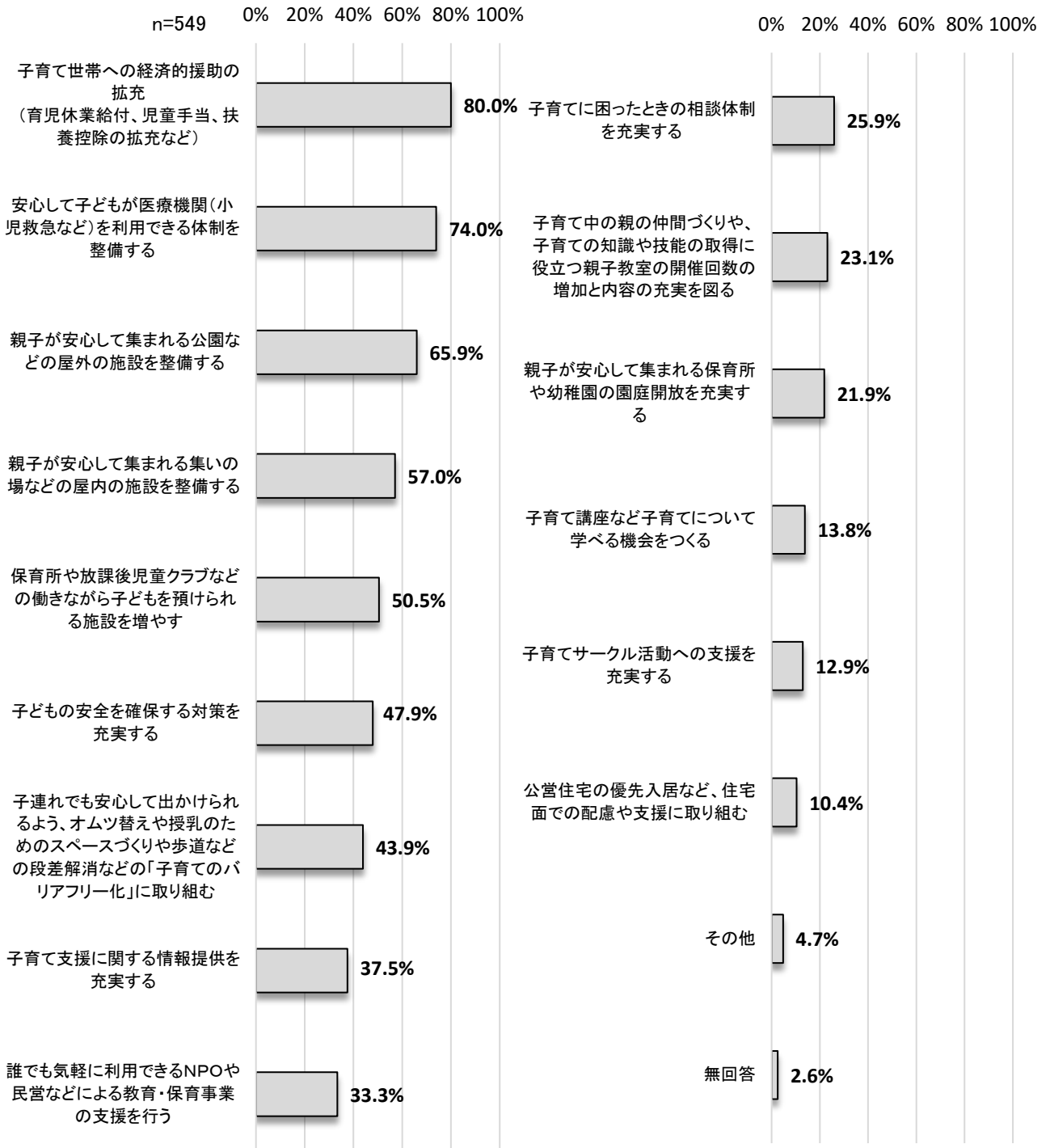
仕事と生活の調和が図られていると感じているかは、『感じる』(「感じる」と「まあまあ感じる」の合計)の割合は56.1%となっており、半数以上の方は仕事と生活の調和が図られていると感じています。一方で、『感じない』(「あまり感じない」と「感じない」の合計)の割合は30.6%となっています。



行政への要望についておうかがいします

問4 | 行政に対して、子育て支援の現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。
(あてはまるものすべてに○)

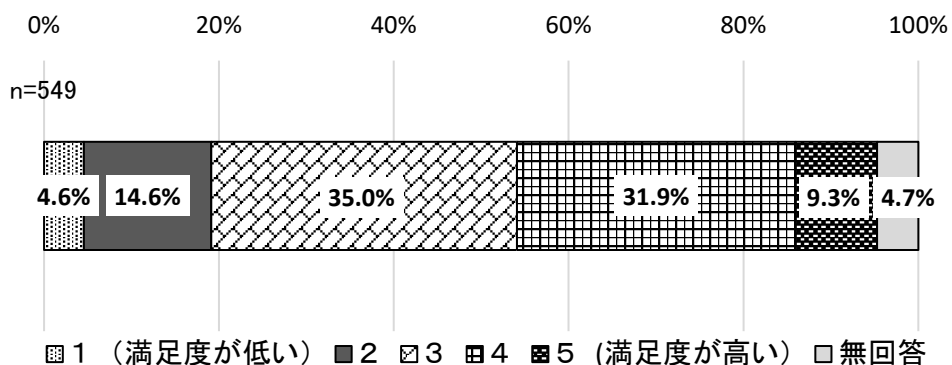
行政への要望は、上位から「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など）」80.0%、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」74.0%、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」65.9%となっています。



問4 2 鳴門市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

(1つに○)

鳴門市における子育ての環境や支援への満足度は、「満足度3」の割合が35.0%と最も高くなっています。また、『満足度が高い』（「満足度4」と「満足度5」の合計）の割合は41.2%、『満足度が低い』（「満足度1」と「満足度2」の合計）の割合は19.2%となっており、鳴門市における子育ての環境や支援について、比較的満足度が高い傾向がみられます。

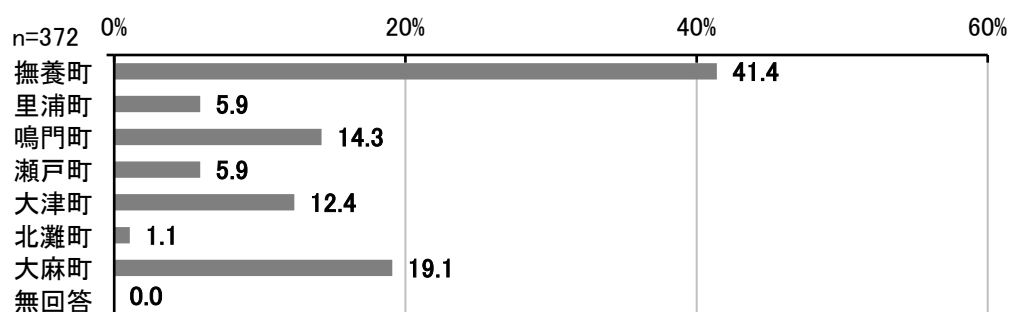


Ⅲ 調査結果（小学生児童）

あて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします

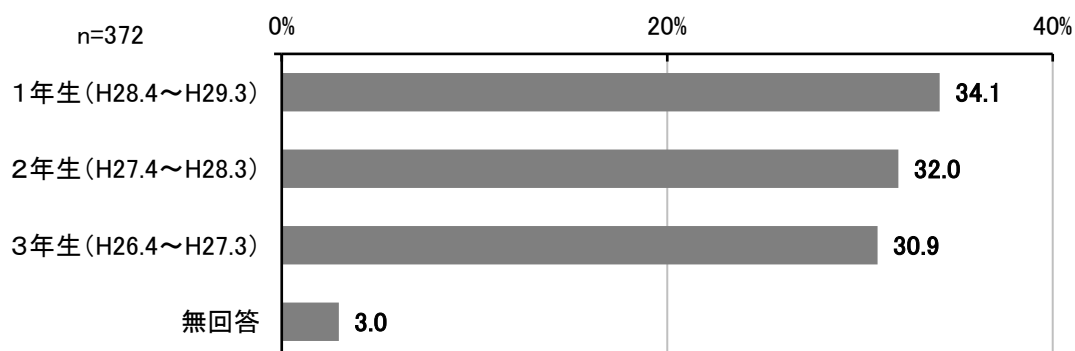
問1 お住いの地区はどこですか。(1つに〇)

地区別に世帯の居住状況を見ると、上位から「撫養町」41.4%、「大麻町」19.1%、「鳴門町」14.3%となっています。



問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

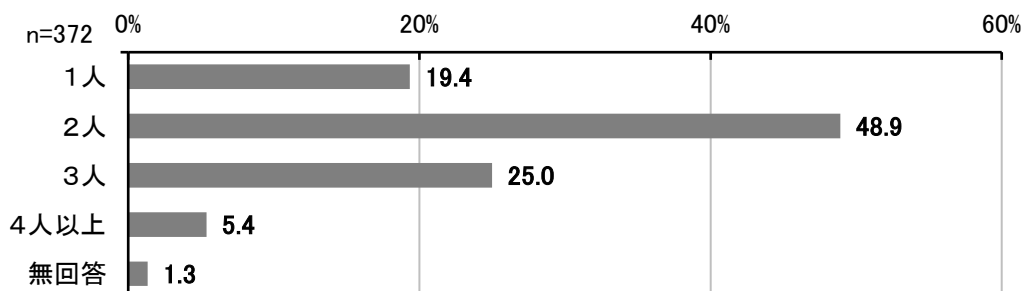
対象の子どもの年齢は、上位から「1年生(H28.4~H29.3)」34.1%、「2年生(H27.4~H28.3)」32.0%、「3年生(H26.4~H27.3)」30.9%となっています



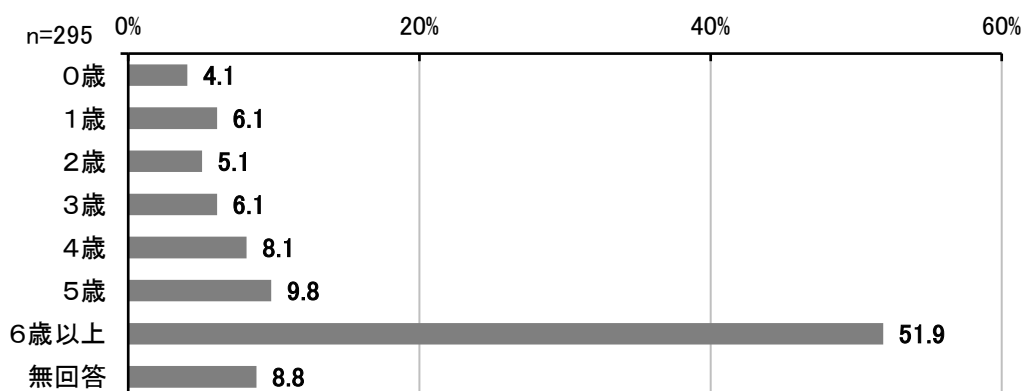
問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を枠内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年少のお子様の生年月月をご記入ください。

子どもの人数は、上位から「2人」48.9%、「3人」25.0%、「1人」19.4%となっています。子どもが2人以上いる場合の末子の年齢は、上位から「6歳以上」51.9%、「5歳」9.8%、「4歳」8.1%となっています。

●全きょうだい数

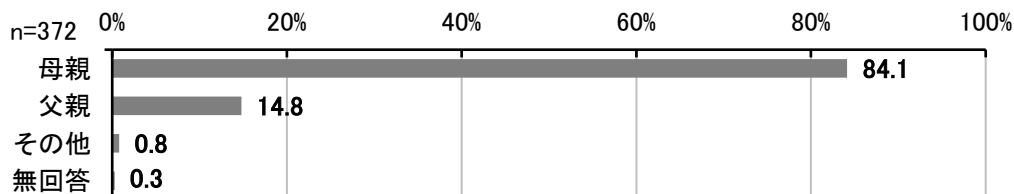


●子どもが二人以上の場合末子の年齢（令和5年12月時点）



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。(1つに○)

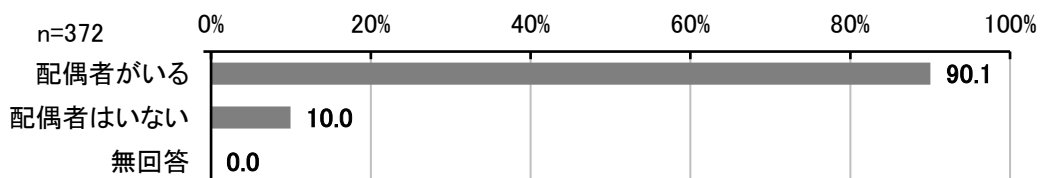
回答者は、「母親」が84.1%でほとんどを占めています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

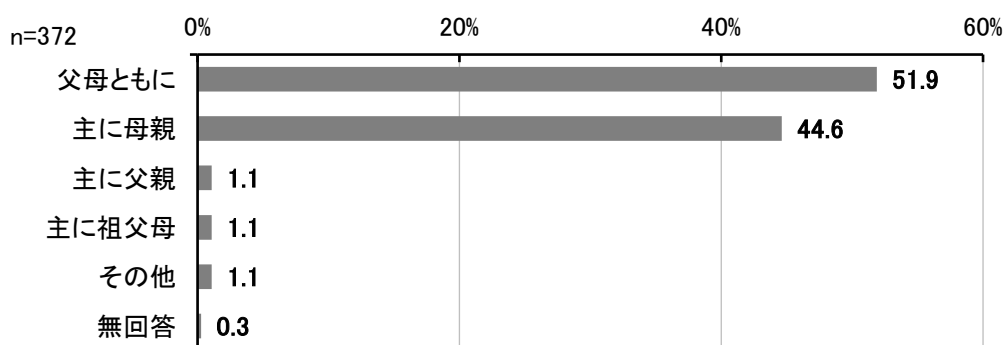
(1つに○)

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が90.1%でほとんどを占めています。



問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。(1つに○)

子育てを主に行っている方は、「父母ともに」の割合が51.9%と最も高く、次いで「主に母親」44.6%となっています。



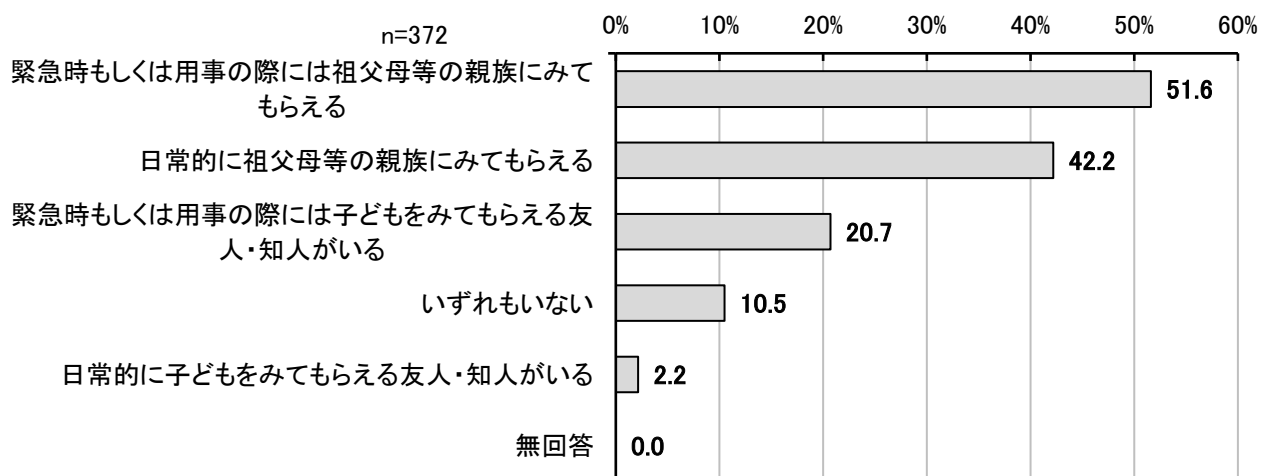
あて名のお子さんをめぐる環境についておうかがいします

問7 日頃、受け取られたお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。

■みてもらえる人の有無（あてはまるものすべてに○）

日頃、子どもを見てもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が51.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」42.2%となっています。

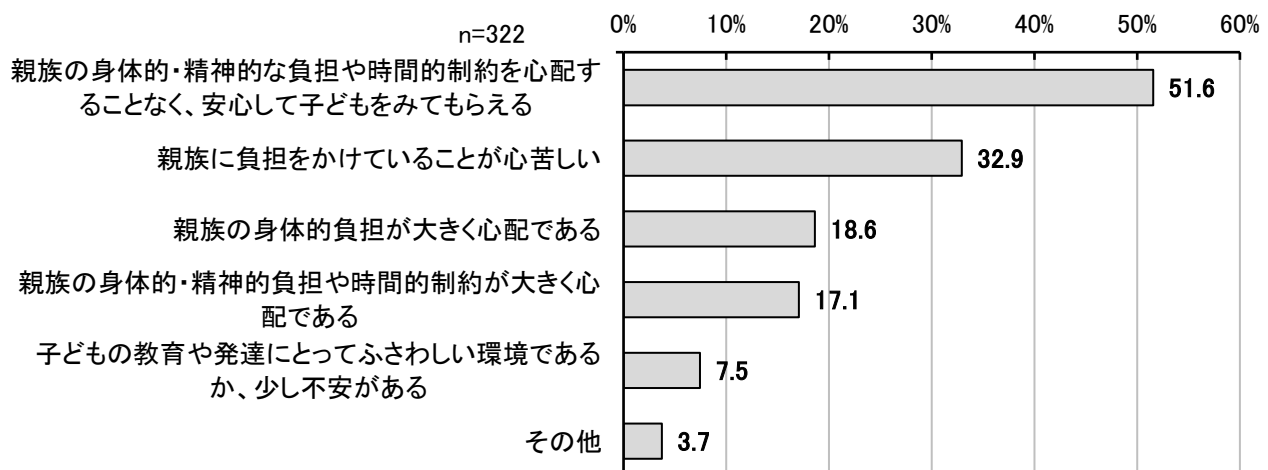
また、「いずれもない」は10.5%となっています。



■祖父母等にみてもらっている状況（あてはまるものすべてに○）

※「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた方

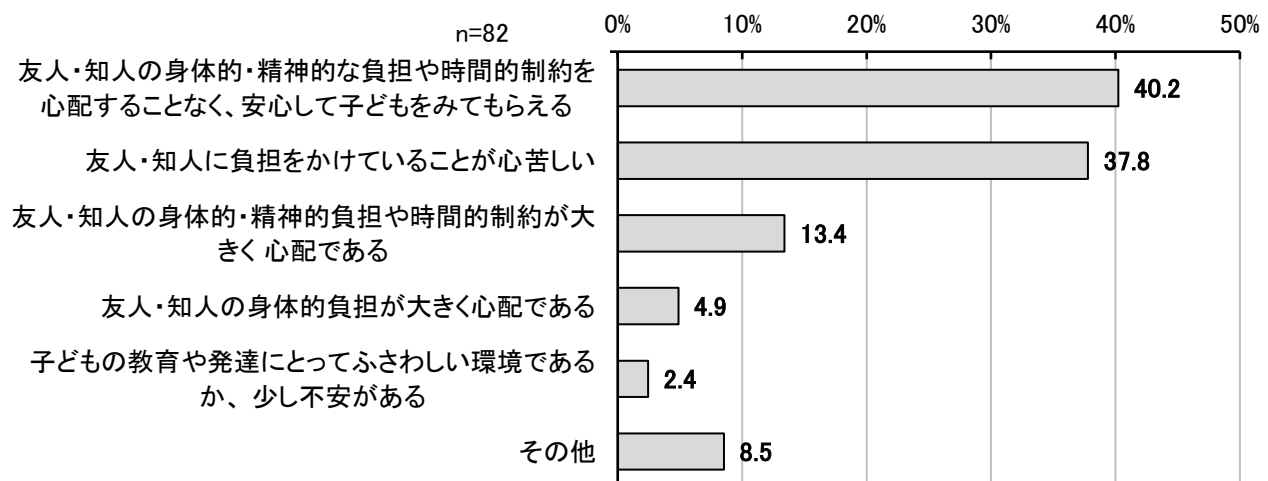
祖父母などの親族にみてもらっている状況は、上位から「親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」51.6%、「親族に負担をかけていることが心苦しい」32.9%、「親族の身体的負担が大きく心配である」18.6%となっています。



■友人・知人にみてもらっている状況（あてはまるものすべてに○）

※「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と答えた方

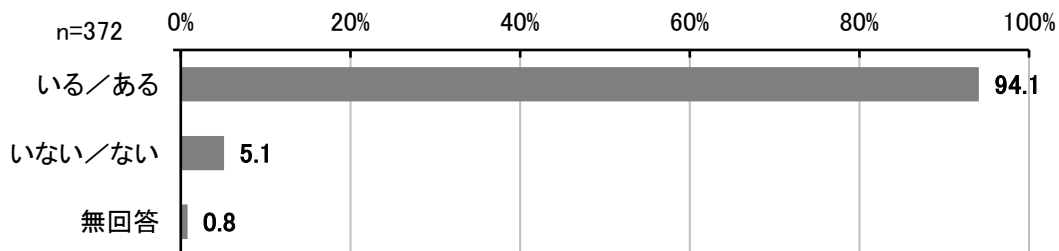
友人・知人にみてもらっている状況は、上位から「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」40.2%、「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」37.8%、「友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」13.4%となっています。



問8 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

■相談先の有無（1つに○）

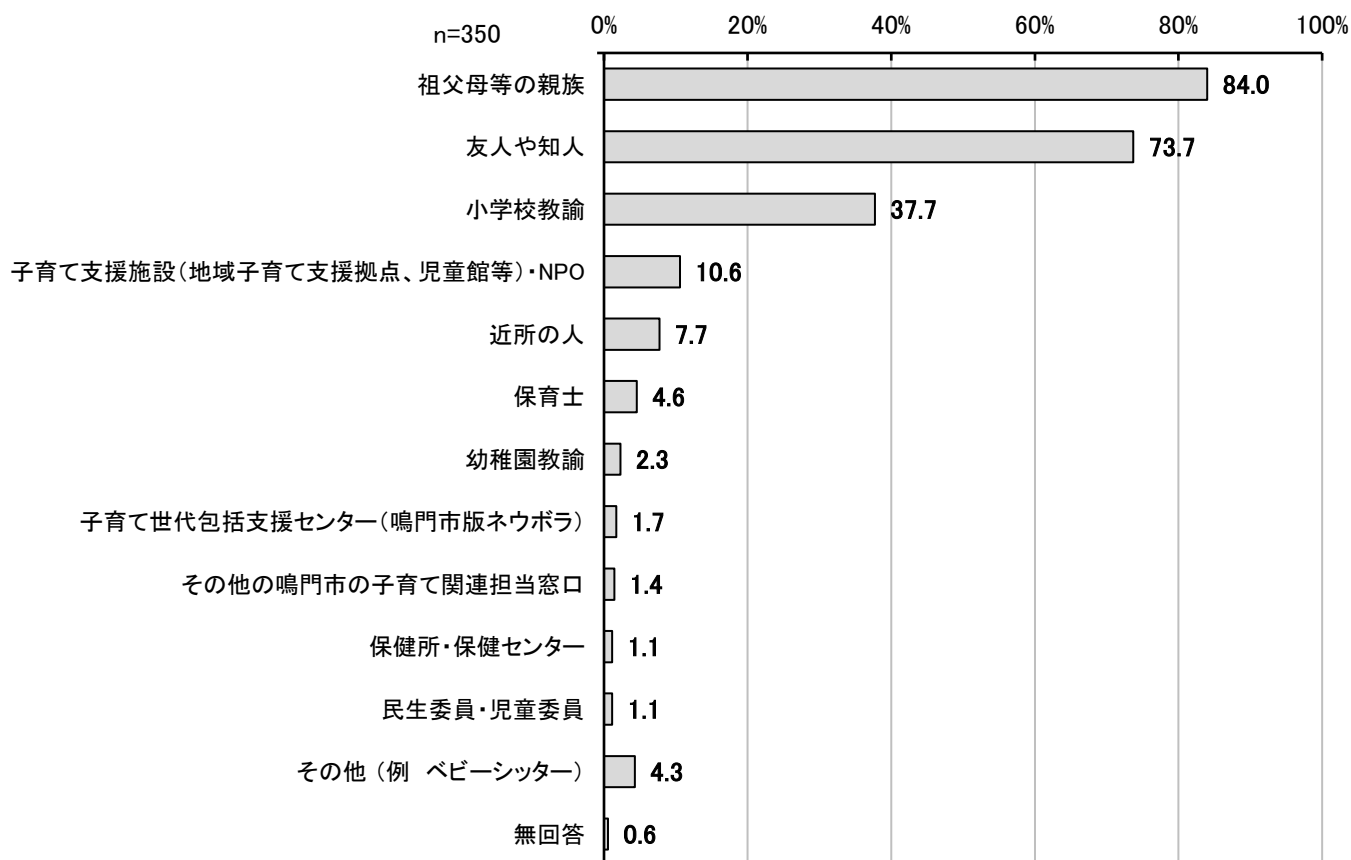
相談先の有無についての状況を見ると、「いる／ある」が94.1%とほとんどを占めています。



■相談相手（場所）（あてはまるものすべてに○）

※「1. いる／ある」と答えた方

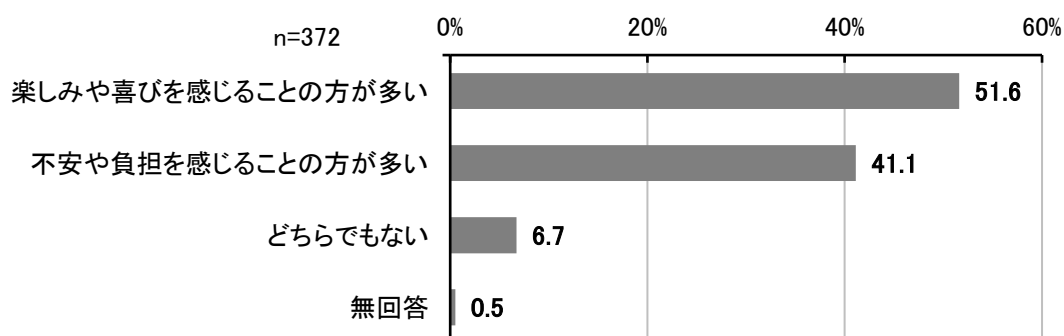
相談相手についての状況を見ると、上位から「祖父母等の親族」84.0%、「友人と知人」73.7%、「小学校教諭」37.7%となっています。



問9 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか。

■子育てについて（1つに○）

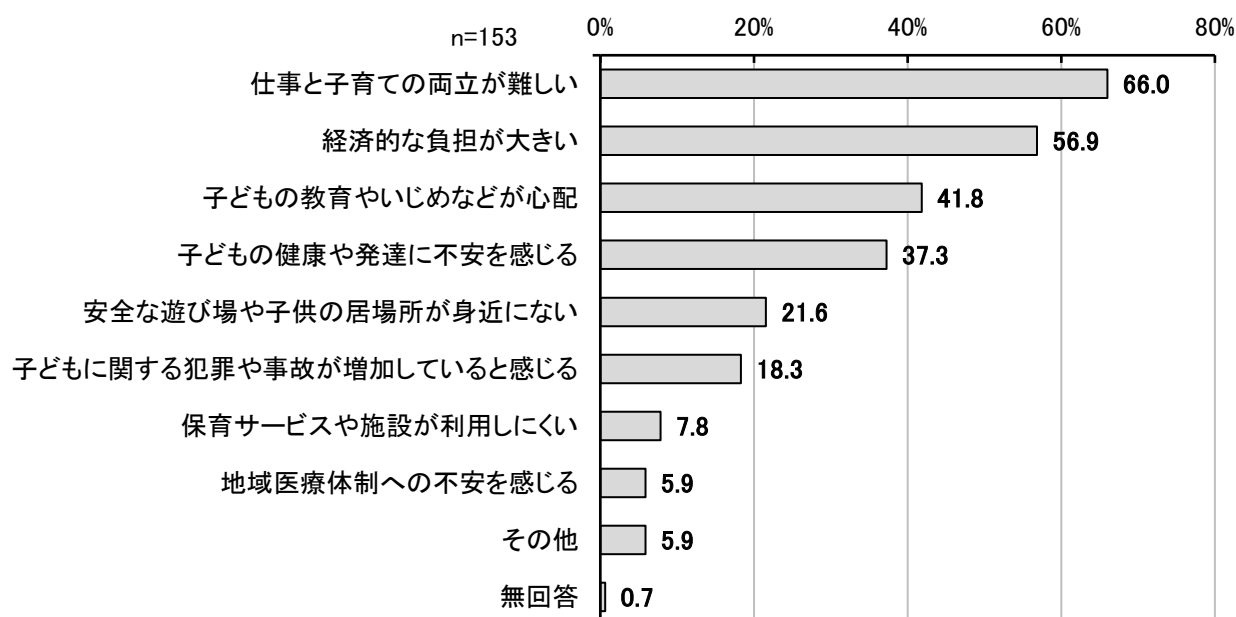
子育てについての精神的な状況を見ると、「楽しみや喜びを感じることの方が多い」の割合が51.6%と半数を占めています。一方で「不安や負担を感じることの方が多い」の割合は41.1%と4割を超えており、子育てに関して不安や負担を感じている方も多い傾向がみられます。



■不安や負担を感じる理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 不安や負担を感じることの方が多い」と答えた方

子育てに関して不安や負担を感じる理由についてみると、上位から「仕事と子育ての両立が難しい」66.0%、「経済的な負担が大きい」56.9%、「子どもの教育やいじめなどが心配」41.8%となっています。



問 10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

自由記載の内容については、主なものとして、「経済的支援」、「子どもが遊べる場所の充実」、「放課後や緊急時などに子どもを預けられる環境の整備」に関する内容などが挙げられています。

あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします

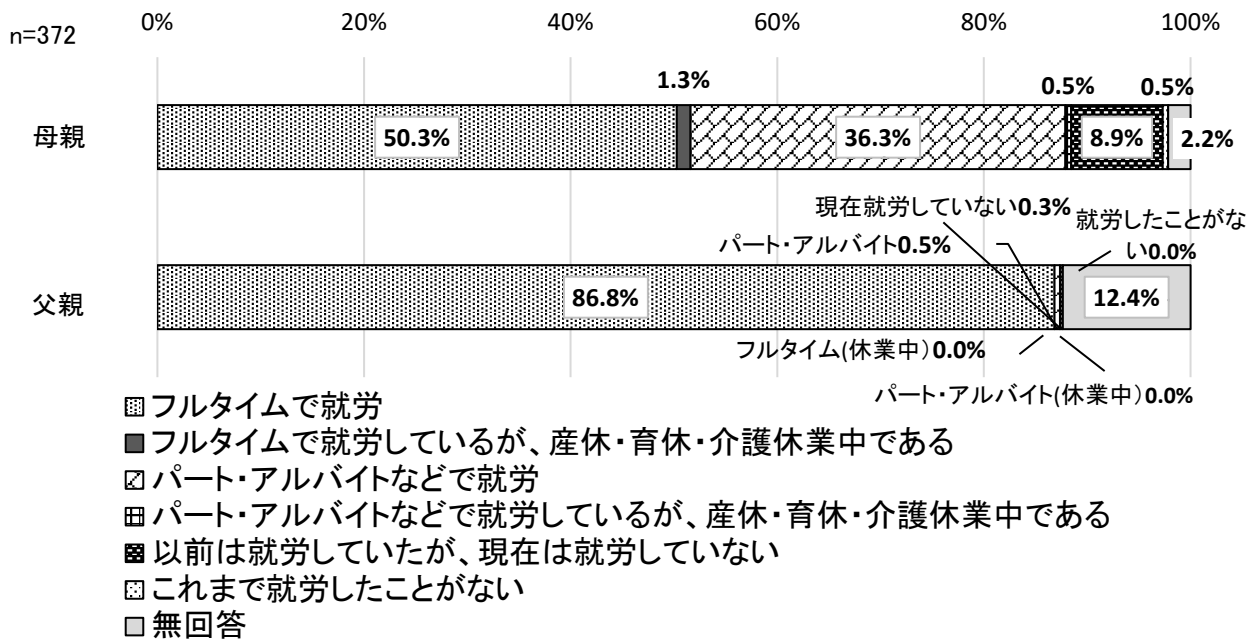
問 11・12 あて名のお子さんの保護者（母親・父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についておうかがいします。

(1) 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。1週あたりの就労日数、1日あたりの就労時間（残業時間も含む）。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて数字でご記入ください。

■現在の就労状況（1つに○）

現在の就労状況について、母親の場合、上位から「フルタイムで就労」50.3%、「パート・アルバイトなどで就労」36.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」8.9%となっています。

父親の場合、「フルタイムで就労」86.8%とほとんどを占めています。



■フルタイムの就労日数（1週間当たり）および就労時間（1日当たり）

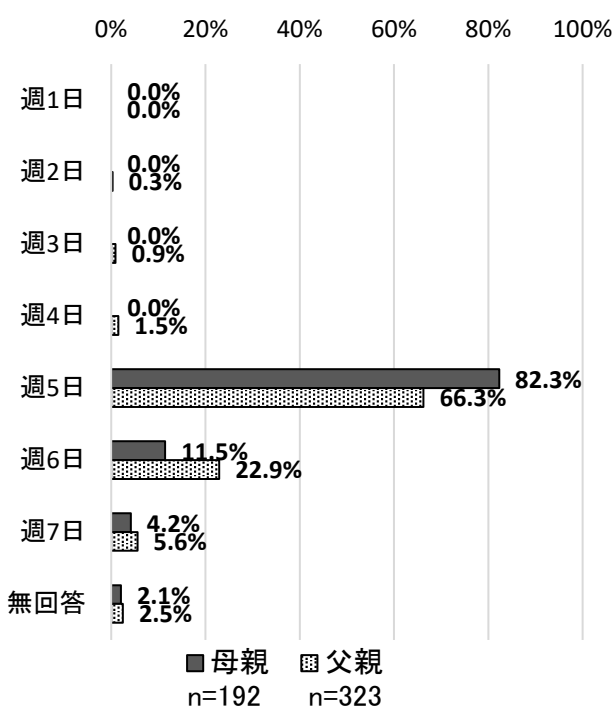
家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

※問11(1)、問12(1)で「1.フルタイムで就労」「2.フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

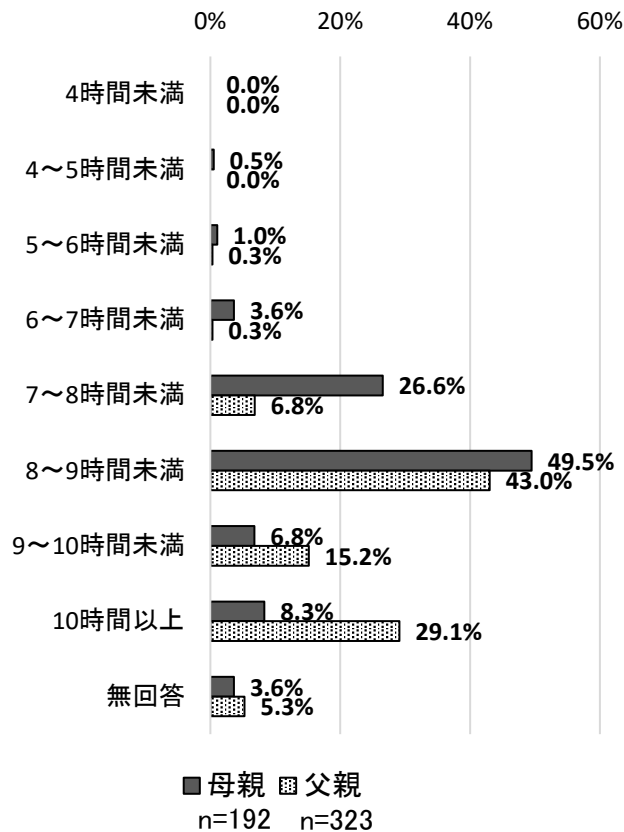
フルタイムで就労している母親の状況は、1週間当たりの就労日数では、母親・父親ともに「週5日」の割合が最も高く、それぞれ82.3%、66.3%となっています。1日当たりの就労時間では、母親・父親ともに「8～9時間」の割合が最も高く、それぞれ49.5%、43.0%となっています。

出発時間については、母親では「7:30～8:29」の割合が58.9%、父親では「6:30～7:29」の割合が35.3%と最も高くなっています。帰宅時間については、母親・父親ともに「17:30～18:29」の割合が最も高く、それぞれ44.8%、26.0%となっています。

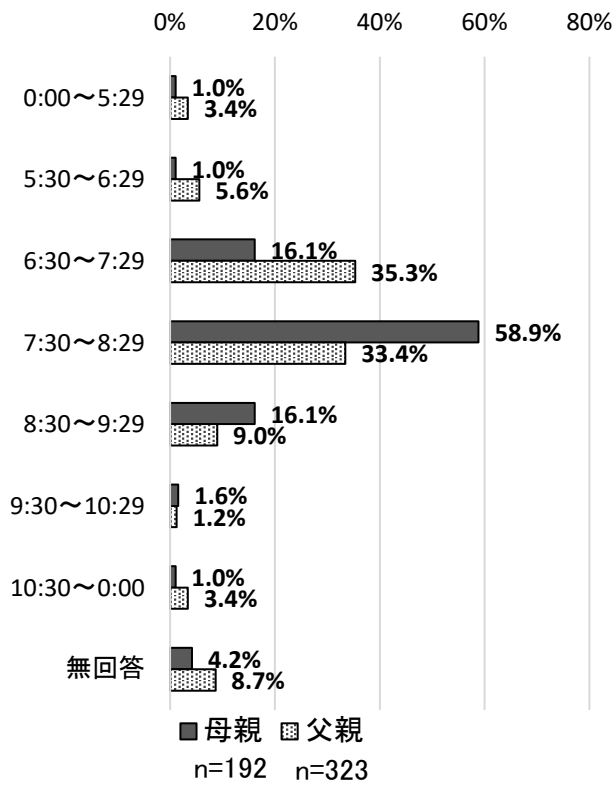
● 1週間当たりの就労日数-フルタイム



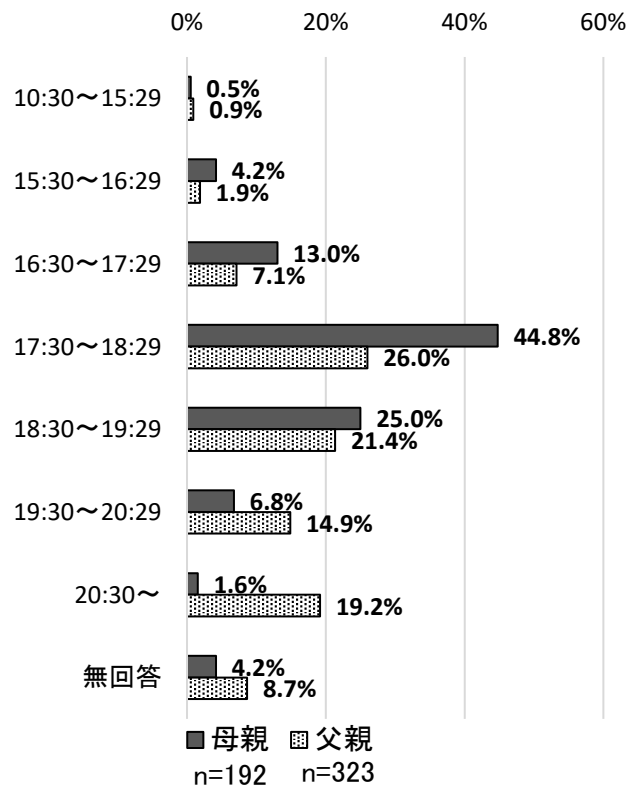
● 1日当たりの就労時間-フルタイム



● 出発時間-フルタイム



● 帰宅時間-フルタイム



■パート・アルバイトの就労日数（1週間当たり）および就労時間（1日当たり）

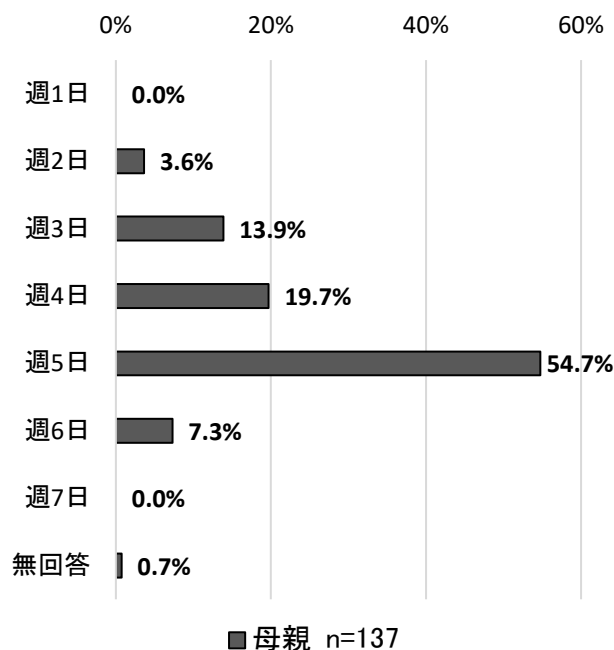
家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

※問11（1）、問12（1）で「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

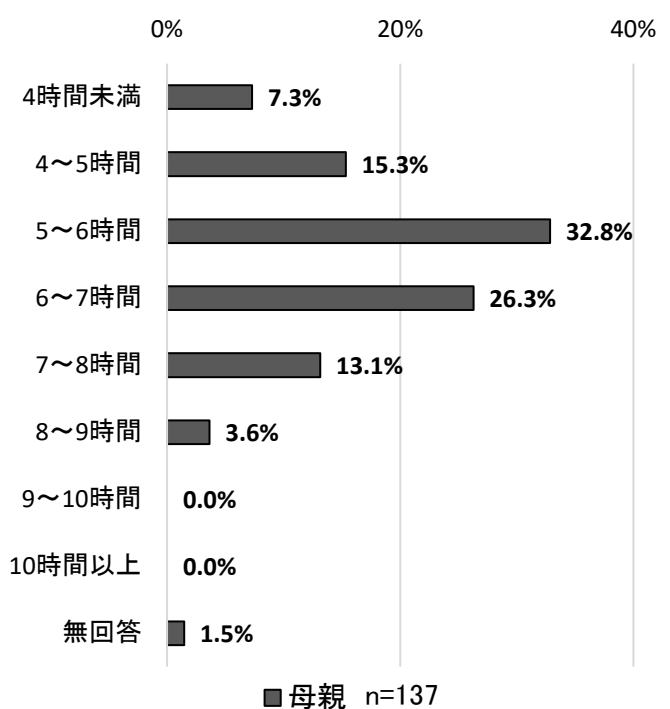
パート・アルバイトで就労している母親の状況は、1週間当たりの就労日数では、「週5日」が54.7%と最も高く、1日当たりの就労時間では、上位から「5～6時間」32.8%、「6～7時間」26.3%、「4～5時間」15.3%となっています。

出発時間については、「8:30～9:29」の割合が44.5%と最も高くなっています。帰宅時間については「10:30～15:29」の割合が31.4%と最も高くなっています。

●1週間当たりの就労日数-パート・アルバイト

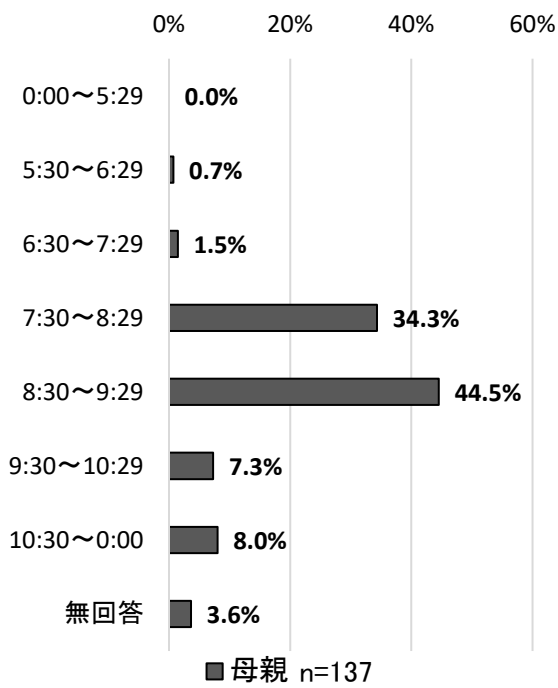


●1日当たりの就労時間-パート・アルバイト

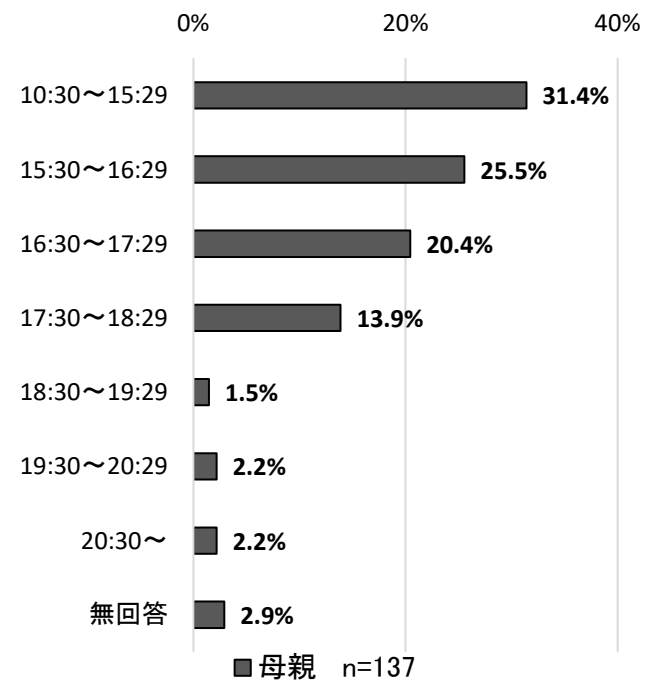


※父親の1週間当たりの就労日数では「週4日」と「週6日」がそれぞれ1件となっています。また、1日当たりの就労時間では「4～5時間」と「8～9時間」がそれぞれ1件となっています。

● 出発時間-パート・アルバイト



● 帰宅時間-パート・アルバイト

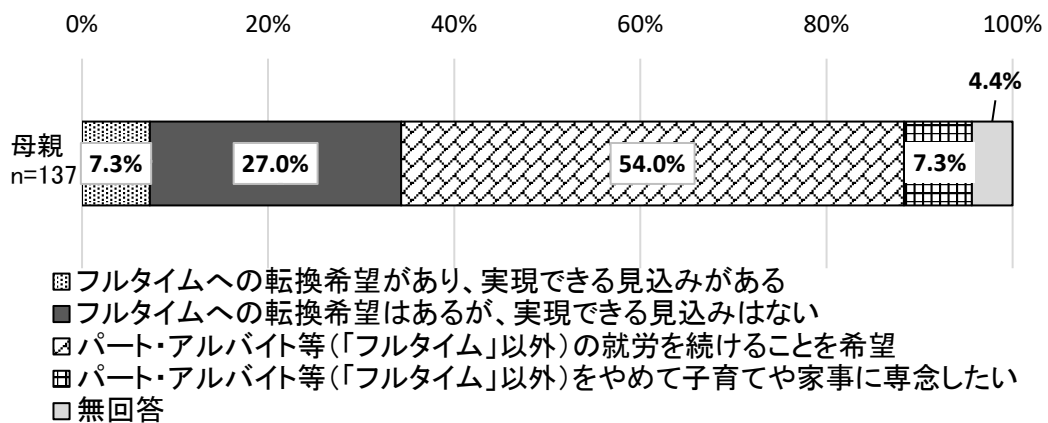


※父親の出発時間では「6:30~7:29」と「7:30~8:29」がそれぞれ1件となっています。
 また、帰宅時間では「10:30~15:29」と「18:30~19:29」がそれぞれ1件となっています。

(2) フルタイムへの転職希望はありますか。(1つに○)。

※問11(1)、問12(1)で「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

母親のパート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転職希望は、「パート・アルバイトなど(フルタイム以外)の就労を続けることを希望」の割合が54.0%と最も高くなっています。『フルタイムへの転職希望がある』(「フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない」の合計)の割合は34.3%となっています。



※父親では、「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない」と「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」がそれぞれ1件となっています。

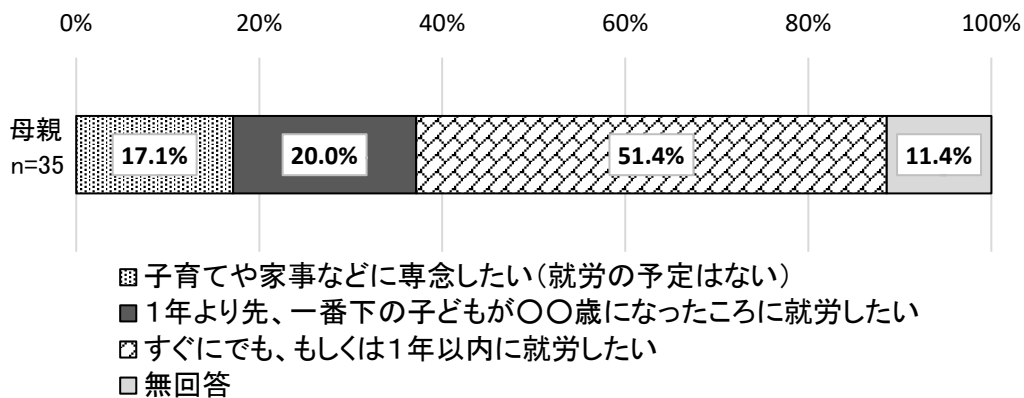
(3) 就労したいという希望はありますか。(1つに○)

※問11(1)、問12(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」と答えた方

母親で現在就労していない方の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が51.4%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」20.0%となっています。

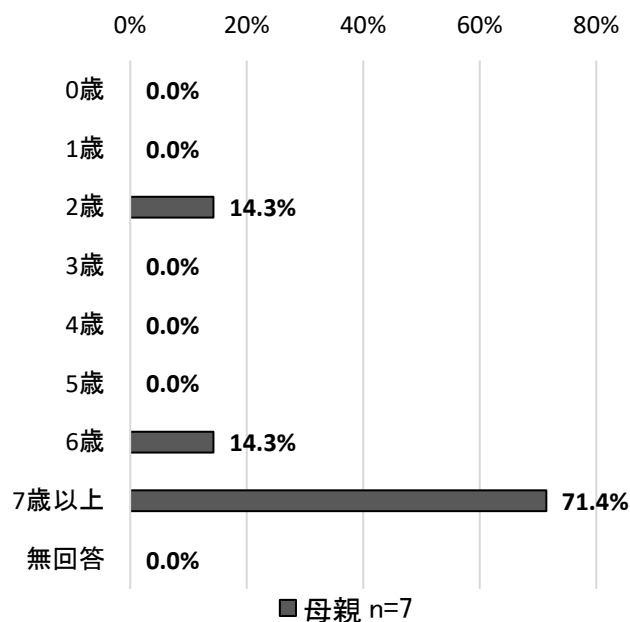
また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかでは、「7歳以上」の割合が71.4%と最も高く、次いで「2歳」と「6歳」14.3%となっています。

●就労希望



※父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

●就労したい子どもの年齢



※父親の回答はありませんでした。

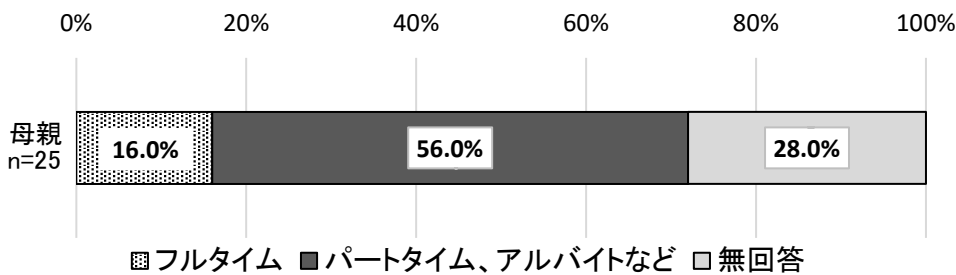
■希望する就労形態（1つに○）

※「2. 1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方

母親の希望する就労形態は、「パートタイム・アルバイトなど」の割合が56.0%、「フルタイム」の割合が16.0%となっています。

また、「パートタイム、アルバイトなど」を選んだ方の希望する1週間当たりの就労日数については、「3日」42.9%、次いで「4日」35.7%となっています。希望する1日当たりの就労時間では、「5時間」と「6時間」がともに35.7%となっています。

●希望する就労形態



※父親は「フルタイム」が1件となっています。

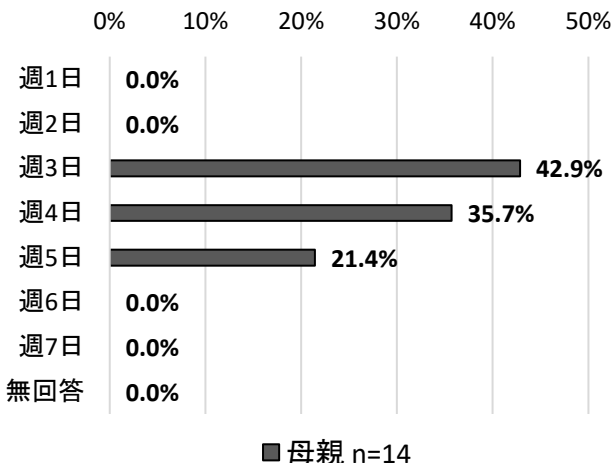
●フルタイムで希望する1週間当たりの就労日数

母親では、「週5日」が3件、「週4日」が1件となっています。
父親では、「週5日」が1件となっています。

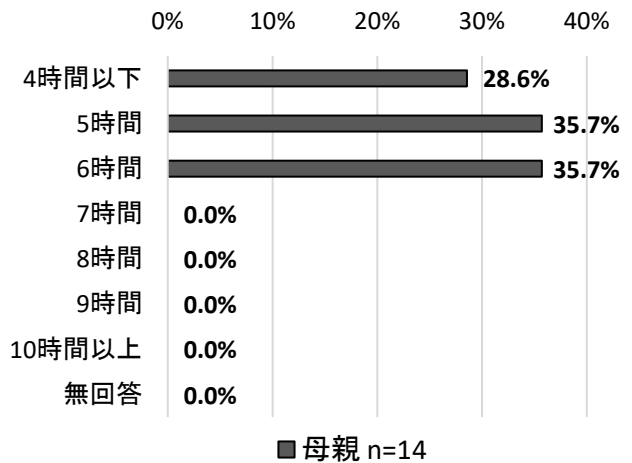
●フルタイムで希望する1日当たりの就労時間

母親では、「8時間」が3件、「6時間」が1件となっています。
父親では、「9時間」が1件となっています。

●パートタイム・アルバイトで希望する1週間当たりの就労日数



●パートタイム・アルバイトで希望する1日当たりの就労時間

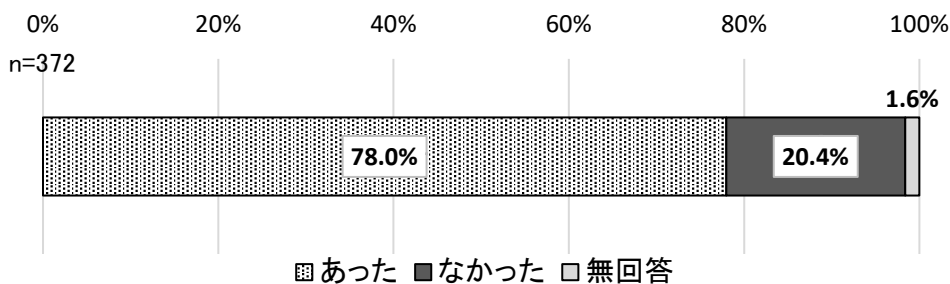


あて名のお子さんの病気の際の対応についておうかがいします

問 13 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。また、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。

■通常の事業が利用できなかった経験の有無（1つに○）

子どもが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験の有無については、「あった」の割合が78.0%、「なかった」の割合が20.4%となっています。

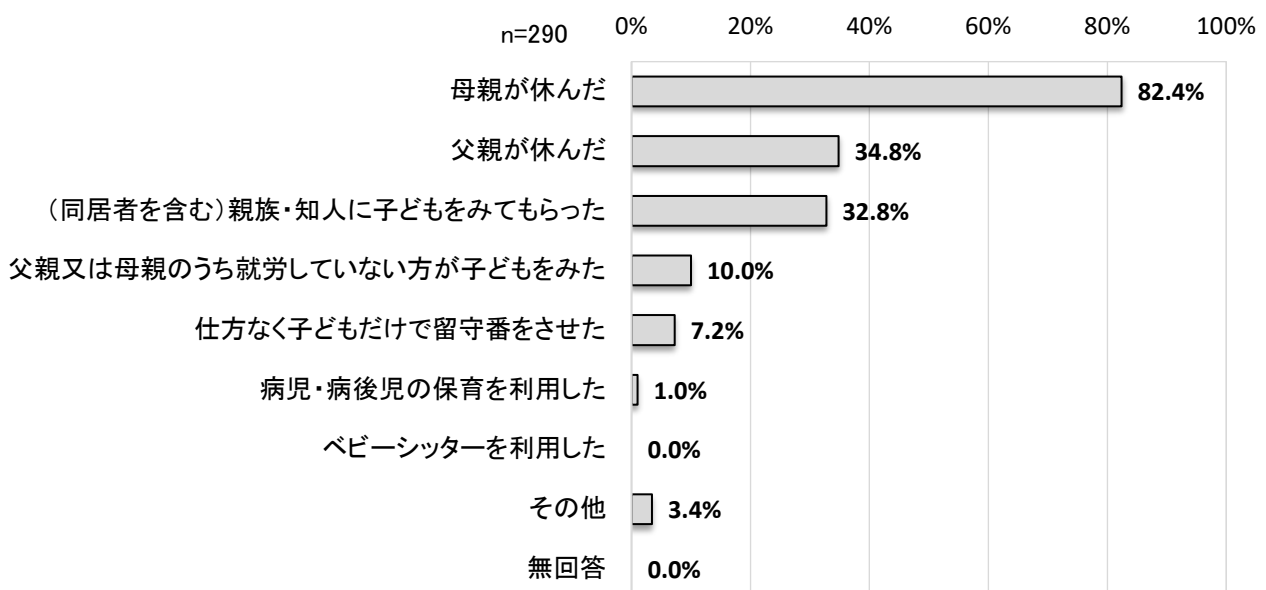


■1年間の対処方法

※「1. あった」と答えた方

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法についてみると、「母親が休んだ」の割合が82.4%と最も高く、次いで「父親が休んだ」34.8%となっています。

●この1年間の対処方法（あてはまるものすべてに○）

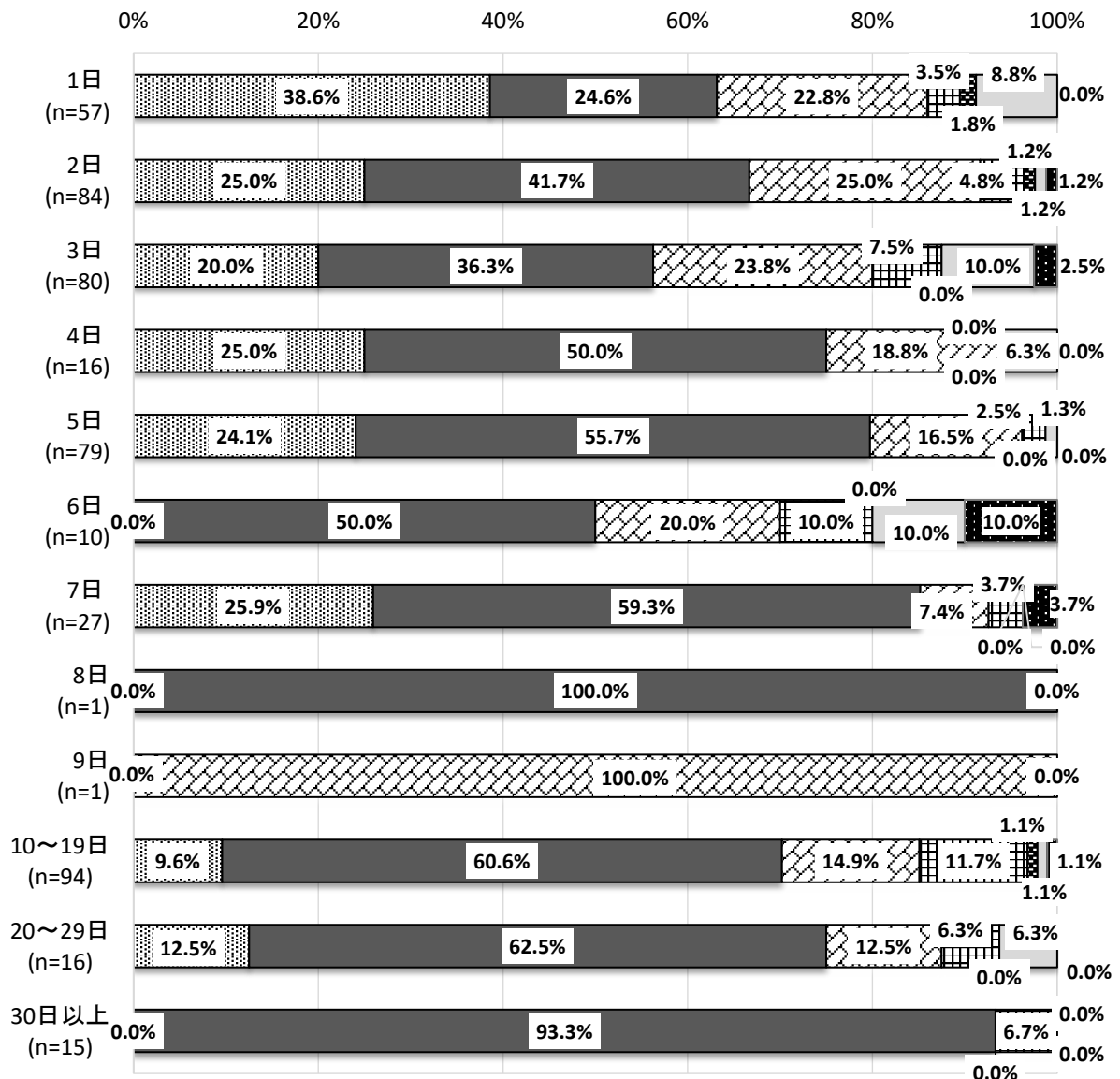


●年間のおおよその対処日数（数量回答）

※「1. あった」と答えた方

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処日数についてみると、「母親が休んだ」の割合は対処日数が増えるごとに増加する傾向がみられます。

また、「1日」から「7日」の間では、「父親が休んだ」と「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が2割程度みられています。



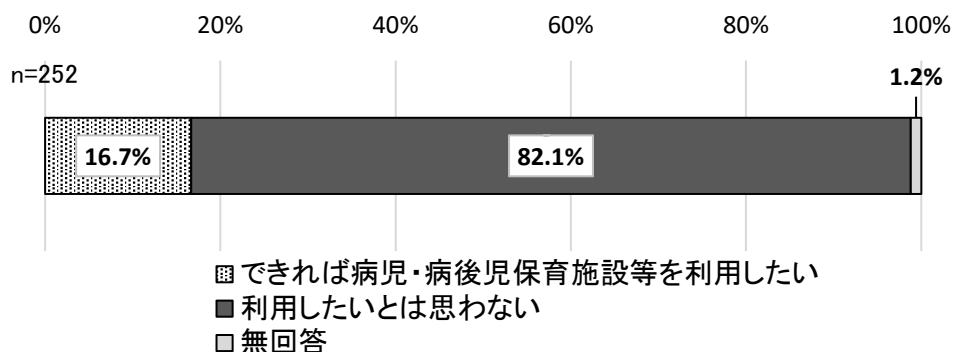
- 父親が休んだ
- 母親が休んだ
- (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった
- 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた
- 病児・病後児の保育を利用した
- 仕方なく子どもだけで留守番をさせた
- その他

問 13-① その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。また、日数についても枠内に数字でご記入ください。

※問 13で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」と答えた方

■病気の際の利用の意向（1つに○）

病児・病後児のための保育施設等の利用意向について、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」の割合は 16.7%、「利用したいとは思わない」の割合は 82.1% となっています。



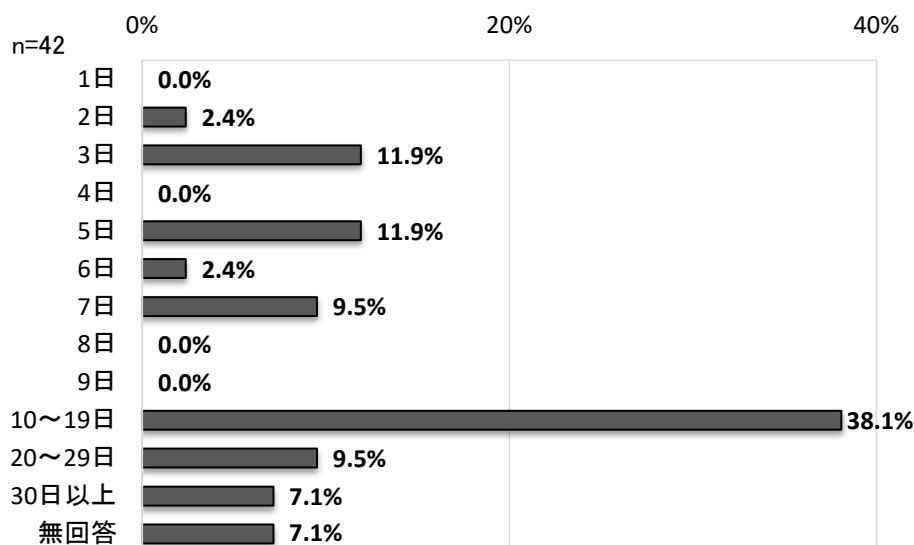
■利用希望日と利用を希望する事業形態

※「1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方

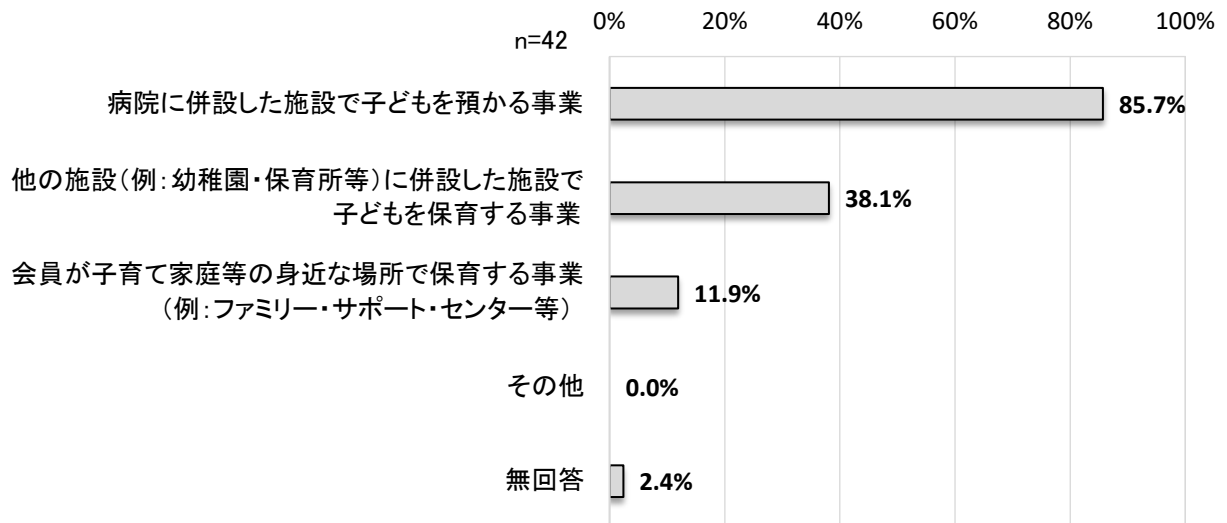
利用希望日数は、「10～19日」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「3日」と「5日」がともに 11.9%となっています。

病児・病後児保育施設などを利用したい方の子どもを預ける場合に希望する事業形態は、上位から「病院に併設した施設で子どもを預かる事業」85.7%、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」38.1%となっています。

●利用希望日数（数量回答）



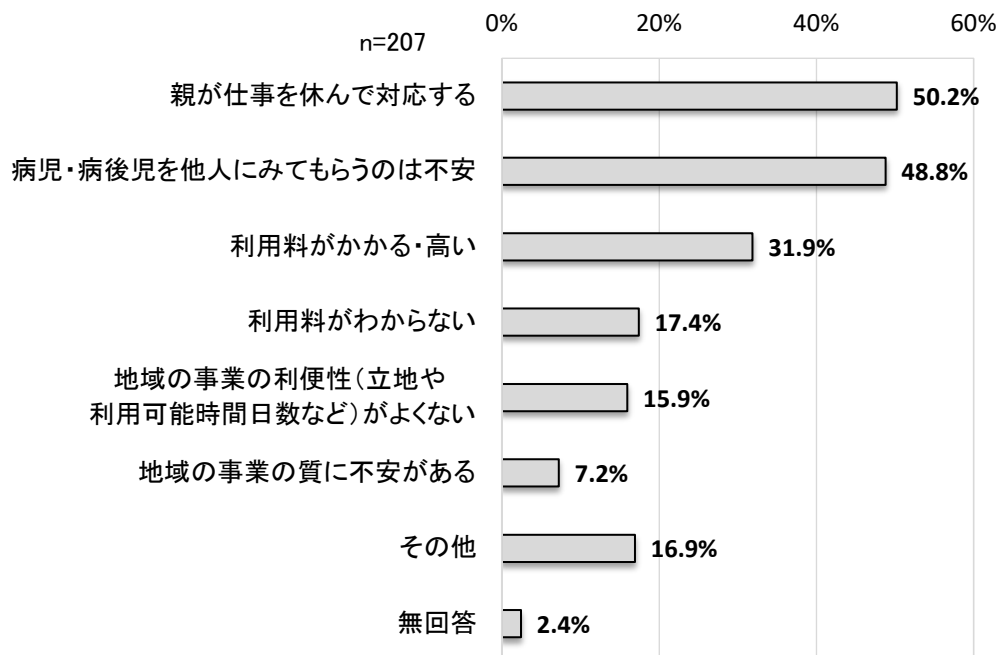
●利用を希望する事業形態（あてはまるものすべてに○）



■利用を希望しない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用したいとは思わない」と答えた方

利用を希望しない理由は、「親が仕事を休んで対応する」の割合が50.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」48.8%となっています。

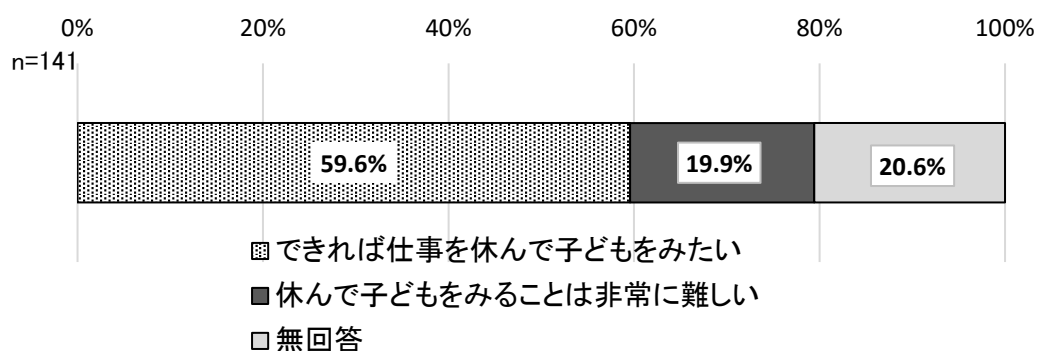


問 13-② その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んでお子さんをみたいと思われましたか。また、「3」から「8」の日数のうち仕事を休んでお子さんをみたかった日数についても枠内に数字でご記入ください。

※問 13で「3」から「8」のいずれかに回答した方

■病気の際の意向（1つに○）

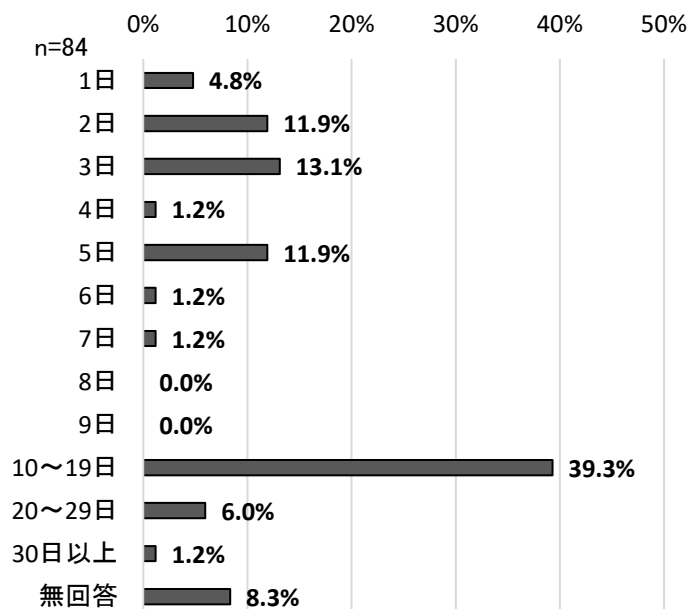
病気の際の意向については、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」の割合が59.6%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」の割合が19.9%となっています。



■休みの希望日数（数量回答）

※「1. できれば仕事を休んで子どもをみたい」と答えた方

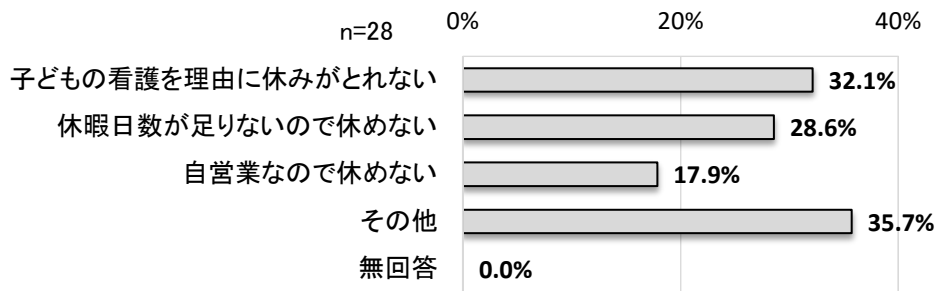
休みの希望日数は、「10～19日」の割合が最も高く、39.3%となっています。



■休むことが非常に難しい理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」と答えた方

休むことが非常に難しい理由として、上位から「その他」35.7%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」32.1%、「休暇日数が足りないので休めない」28.6%となっています。

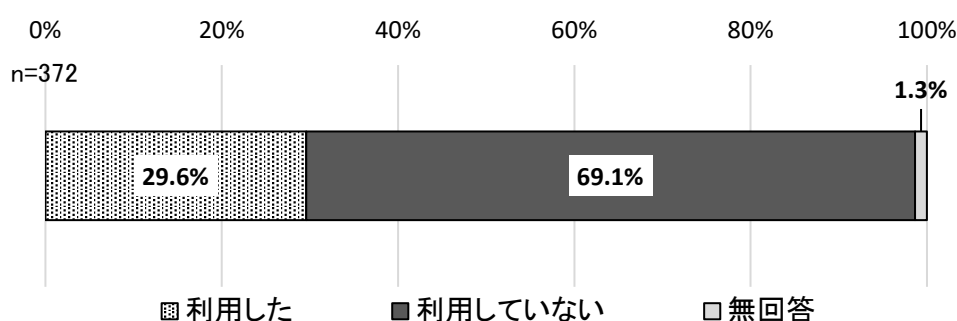


あて名のお子さんの不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についておうかがいします

問 14 あて名のお子さんについて、日中の保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）も枠内に数字でご記入ください。

■利用の有無（1つに○）

私用や不特定の就労等の理由で、不定期に利用する事業の有無については、「利用した」の割合が29.6%、「利用していない」の割合が69.1%となっています。

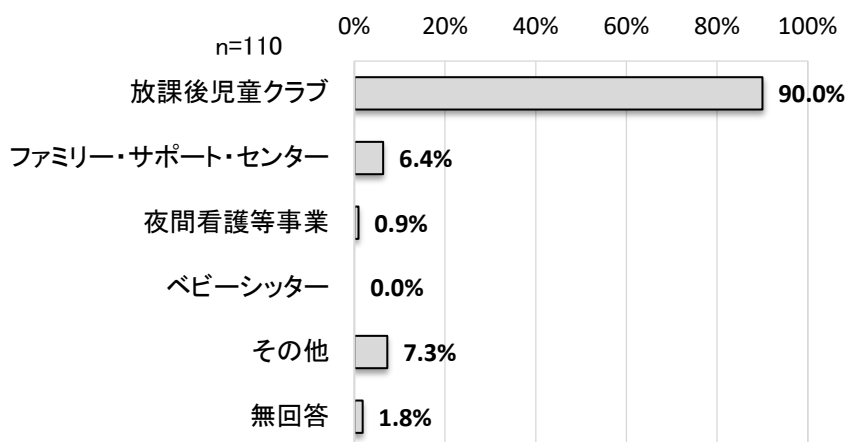


■利用している事業（あてはまるものすべてに○）

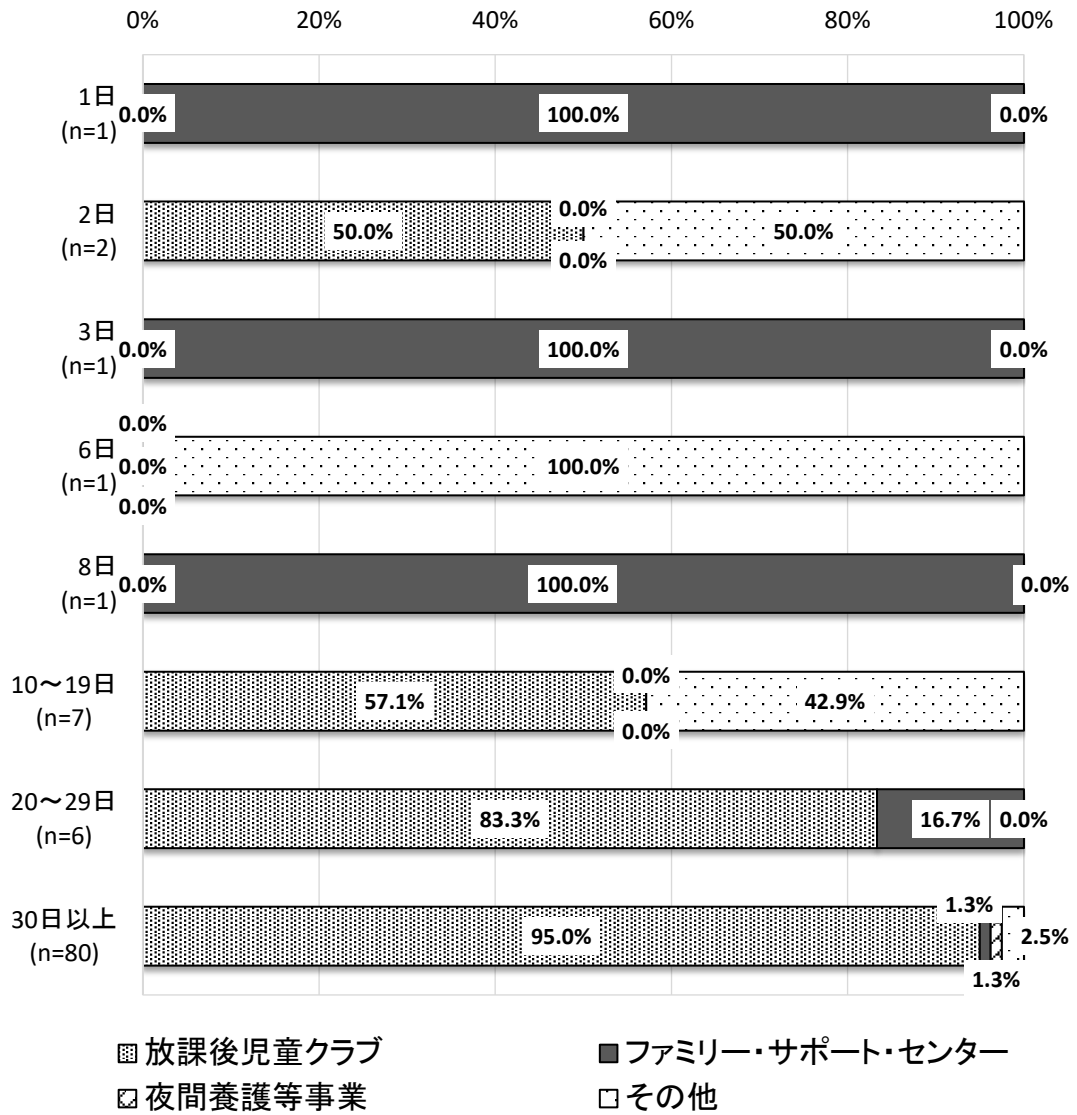
※「1. 利用した」と答えた方

私用や不特定の就労等の理由で、不定期に利用している事業は、「放課後児童クラブ」が90.0%とほとんどを占めています。

利用している事業の1年間の利用日数は、「30日以上」が80件と最も多くなっており、そのうち「放課後児童クラブ」が95.0%とほとんどを占めています。



●年間利用延べ日数（数量回答）

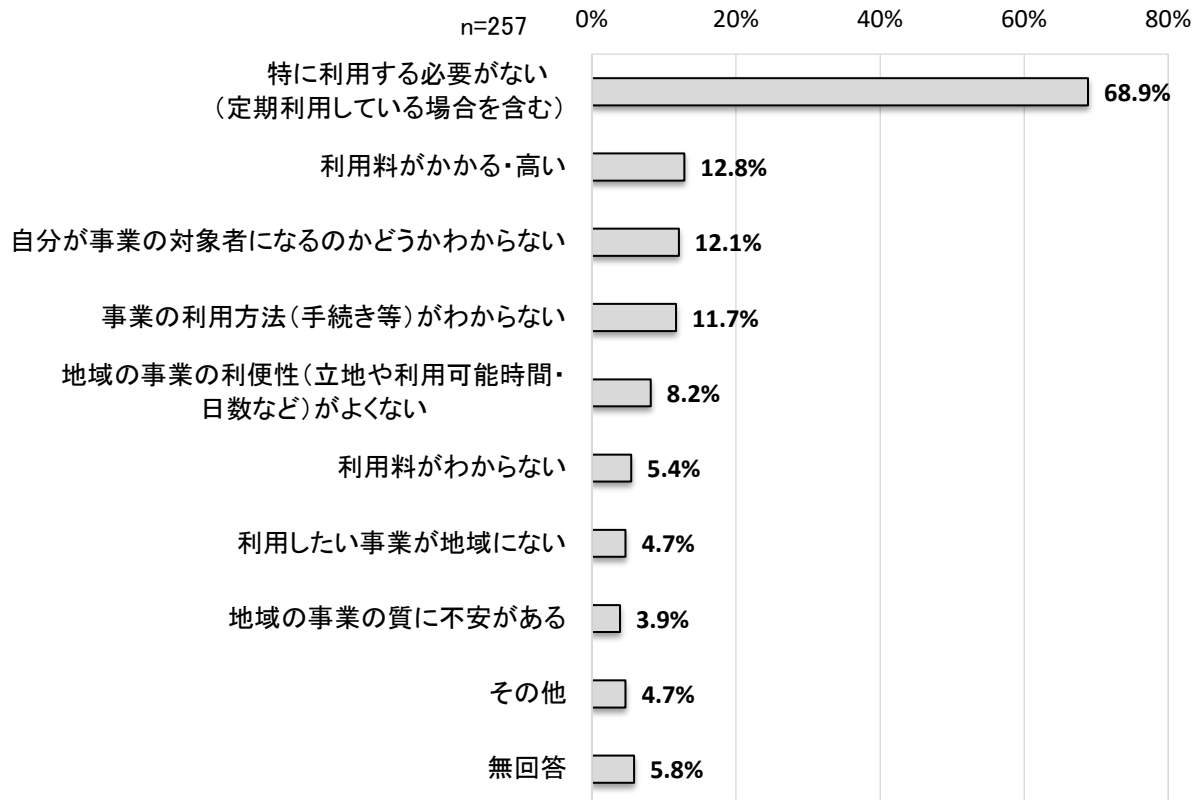


※事業では「ベビーシッター」、利用日数では「4日」、「5日」、「7日」、「9日」と回答された方はいませんでした。

■利用していない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用していない」と答えた方

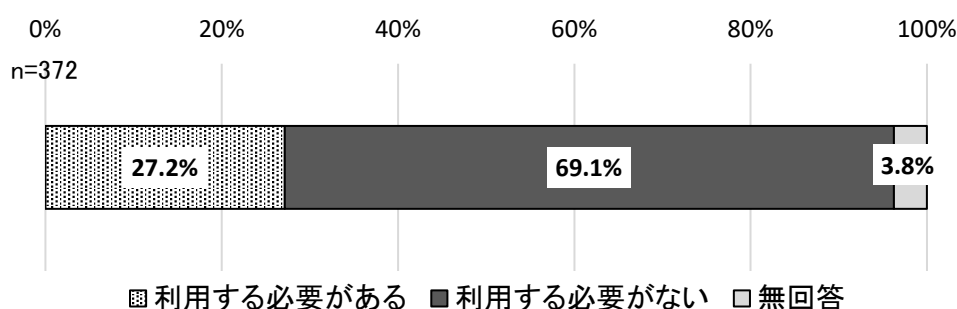
不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない（定期利用している場合を含む）」の割合が68.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」12.8%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」12.1%となっています。



問 15 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号1つに○、記号すべてに○をつけ、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を枠内に数字でご記入ください。

■利用の有無（1つに○）

不定期での事業の利用の有無は、「利用する必要がある」の割合が 27.2%、「利用する必要が無い」の割合が 69.1%となっています

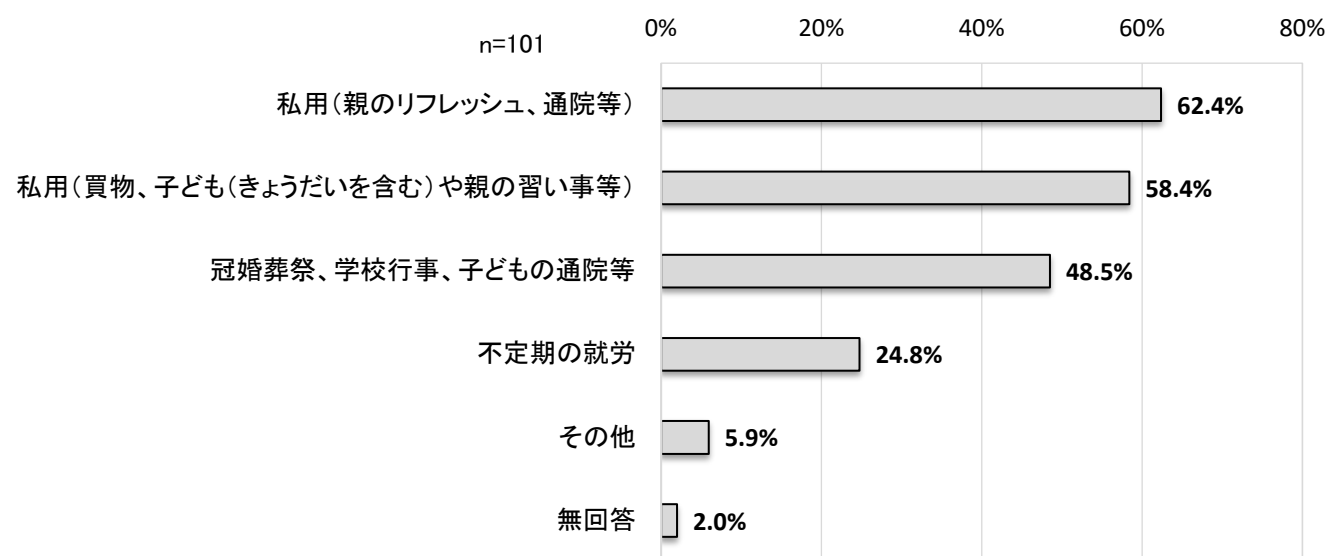


■希望する利用目的（あてはまるものすべてに○）

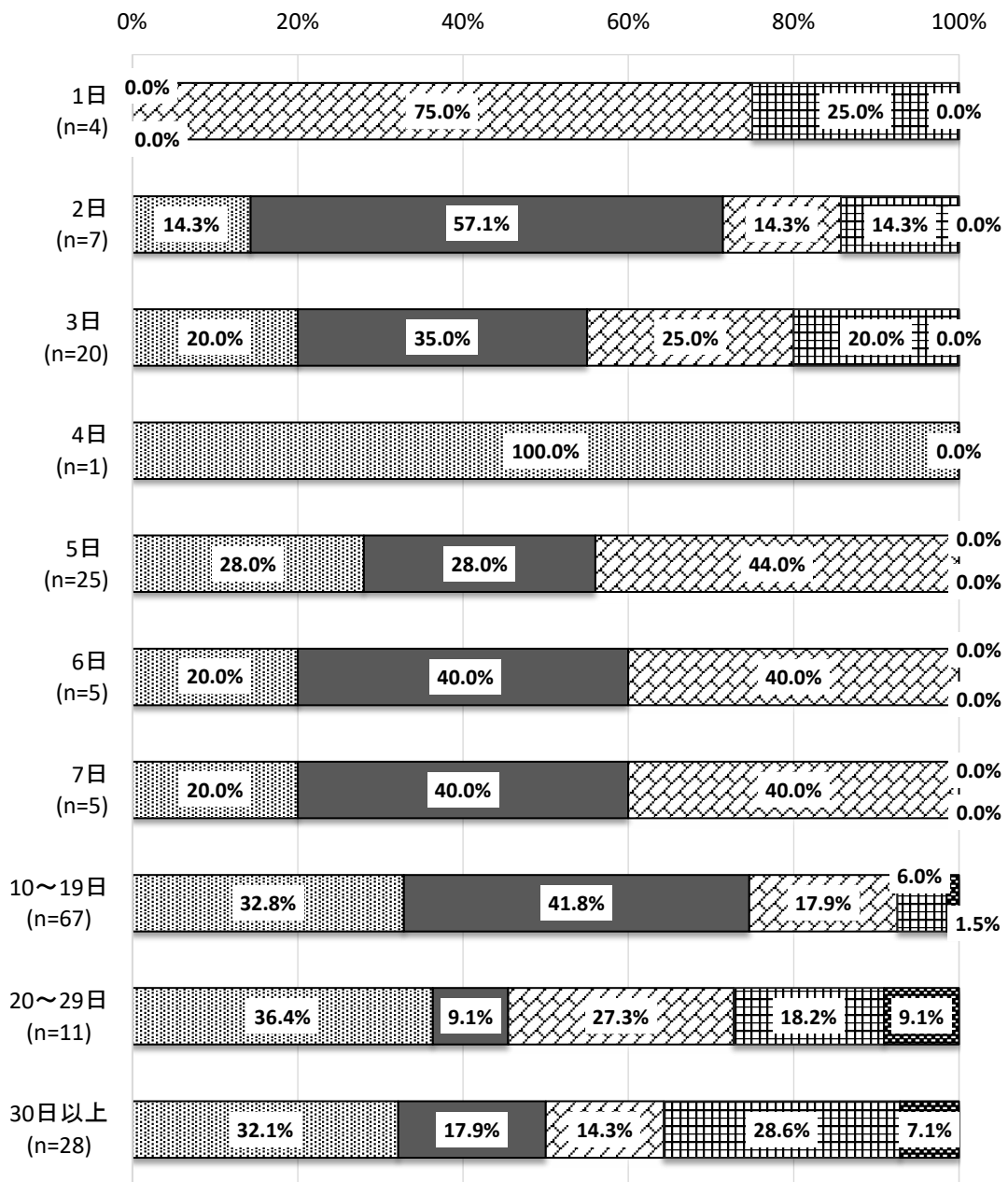
※「1. 利用する必要がある」と答えた方

利用したい目的では、「私用（親のリフレッシュ、通院等）」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）」58.4%となっています。

利用したい年間日数は、「10～19日」が 67 件と最も多くなっており、そのうちの7割が『私用』（「私用（親のリフレッシュ、通院等）」と「私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）」）を理由に事業の利用を希望しています。



●年間利用延べ日数（数量回答）



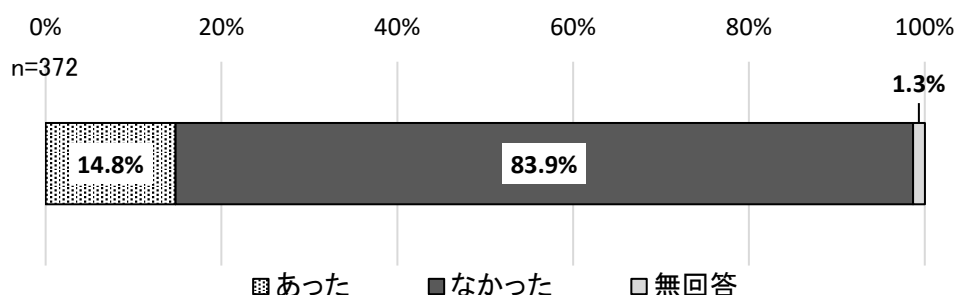
- ▨ 私用(買物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)
- 私用(親のリフレッシュ、通院等)
- 冠婚葬祭、学校行事、子どもの通院等
- 田 不特定の就労
- その他

※利用日数では、「8日」、「9日」と回答された方はいませんでした。

問 16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけて家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）また、あった場合は、この1年間の対処方法は何ですか。

■ 必要性の有無（1つに○）

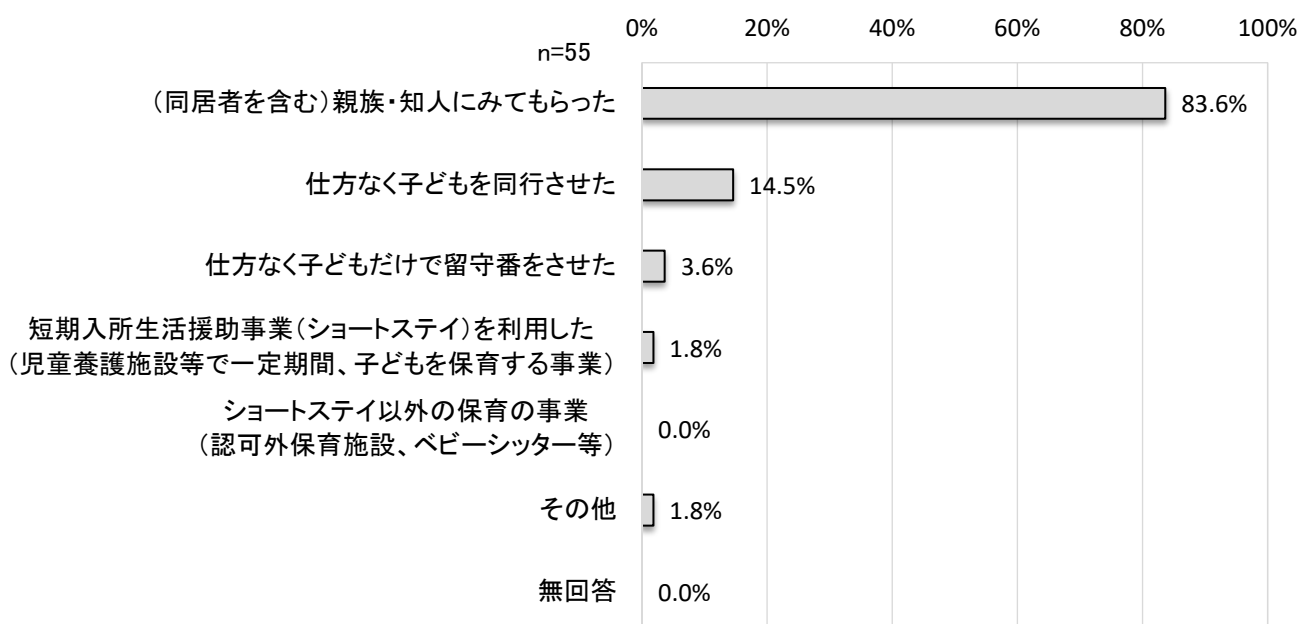
泊りがけて子どもをみてもらわなければならない経験の有無について、「あった」の割合が14.8%、「なかった」の割合が83.9%となっています。



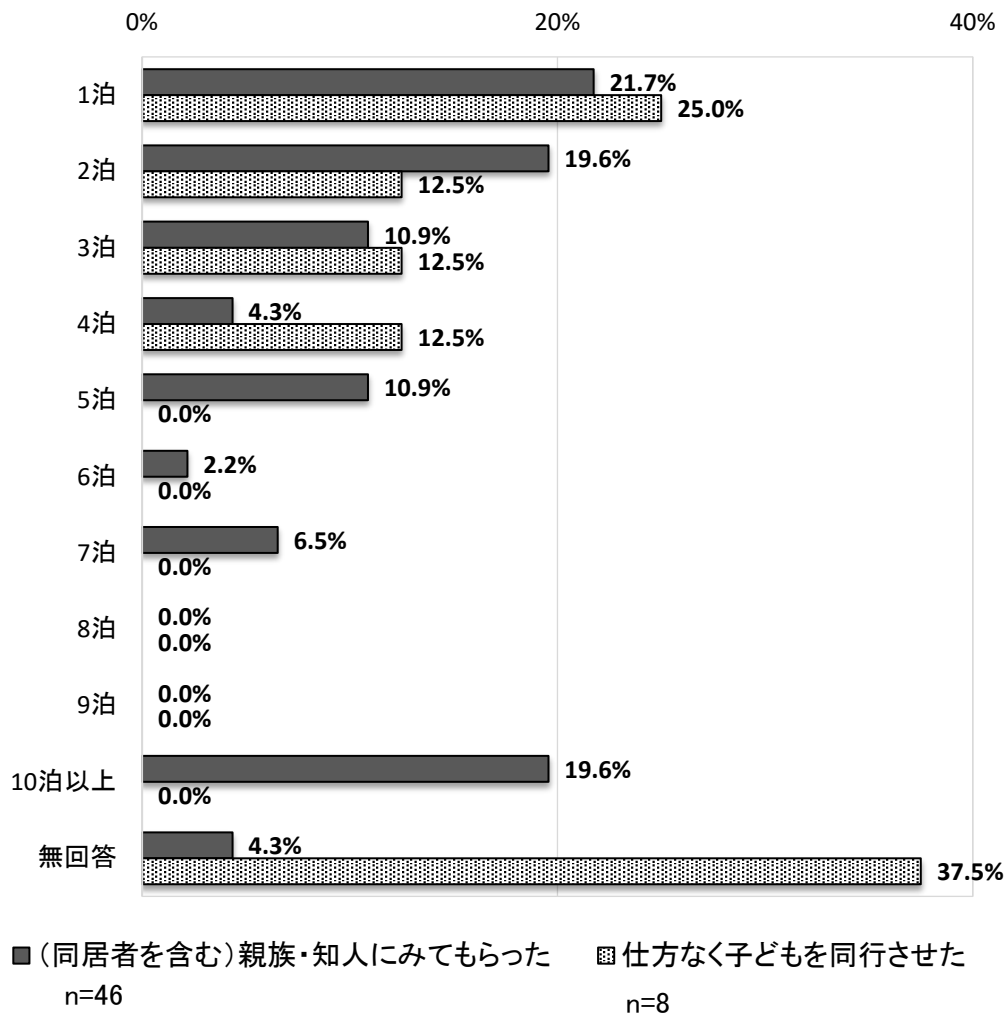
■ 対処方法（あてはまるものすべてに○）

※ 「1. あった」と答えた方

対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が83.6%と最も高く、預けた泊数は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」では「1泊」の割合が21.7%と最も高く、次いで「2泊」と「10泊以上」19.6%となっています。



●年間利用延べ日数（数量回答）



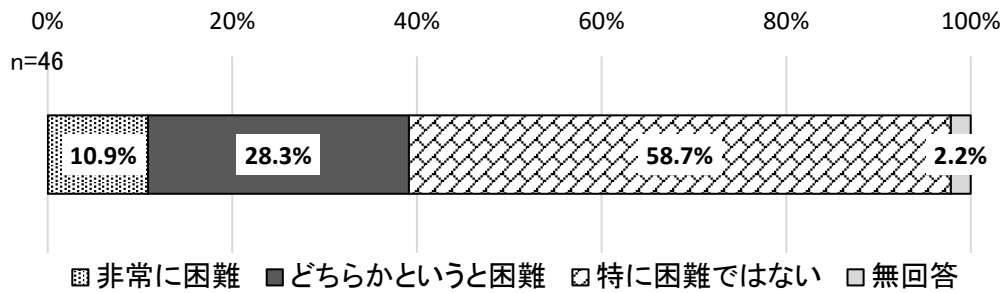
※短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）は「10泊以上」が1件、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は「1泊」が1件となっています。

また、「ショートステイ以外の保育の事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）」と「その他」の回答はありませんでした。

問 16-① その場合、どの程度困難でしたか。(1つに○)

※問 16で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方

「(同居を含む) 親族・知人にみてもらった」場合の困難の程度については、『困難を感じた』(「非常に困難」と「どちらかという困難」の合計)が39.2%と約4割となっています。また、「特に困難ではない」の割合は58.7%となっています。



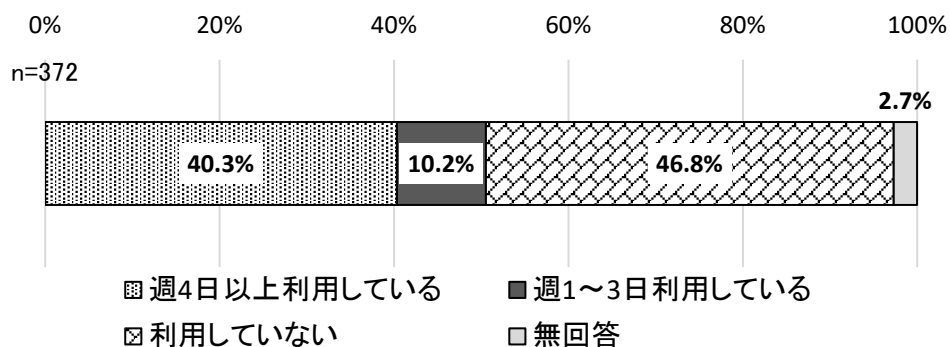
あて名のお子さんの放課後の過ごし方について おうかがいします

問 17 あて名のお子さんは、現在放課後児童クラブ(学童保育)を利用していますか。利用されている場合は利用している時間帯と、利用している主な理由を、また利用していない場合は、利用していない主な理由をお答えください。平日・土曜日それぞれについてご記入ください。

■平日の利用状況（1つに○）

平日の放課後児童クラブの利用状況を見ると、『利用している』（「週4日以上利用している」と「週1～3日利用している」の合計、以下同様）の割合が50.5%と半数が放課後児童クラブを利用しています。また、「利用していない」の割合は46.8%となっています。

『利用している』のうち、「週4日以上利用している」が40.3%、「週1～3日利用している」が10.2%となっており、週4日以上での利用が多い傾向がみられます。



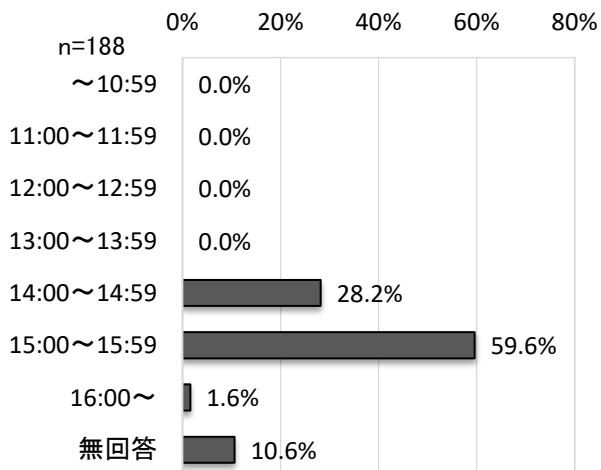
■平日の利用時間帯と利用している主な理由

※「1. 週4日以上利用している」「2. 週1～3日利用している」と答えた方

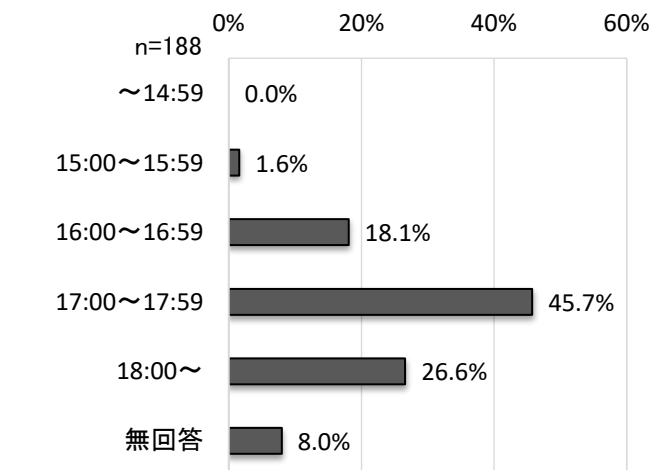
平日の放課後児童クラブの利用時間帯をみると、利用開始時間は、「15:00～15:59」の割合が59.6%と最も高くなっています。利用終了時間は、「17:00～17:59」の割合が45.7%と最も高く、次いで「18:00～」26.6%となっています。

利用している主な理由は、「現在就労している」が83.0%とほとんどを占めています。

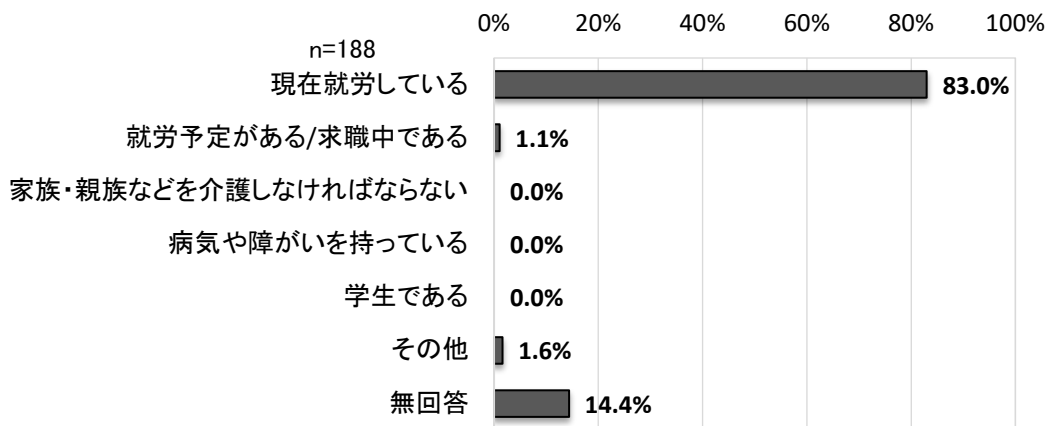
●利用開始時間（数量回答）



●利用終了時間（数量回答）



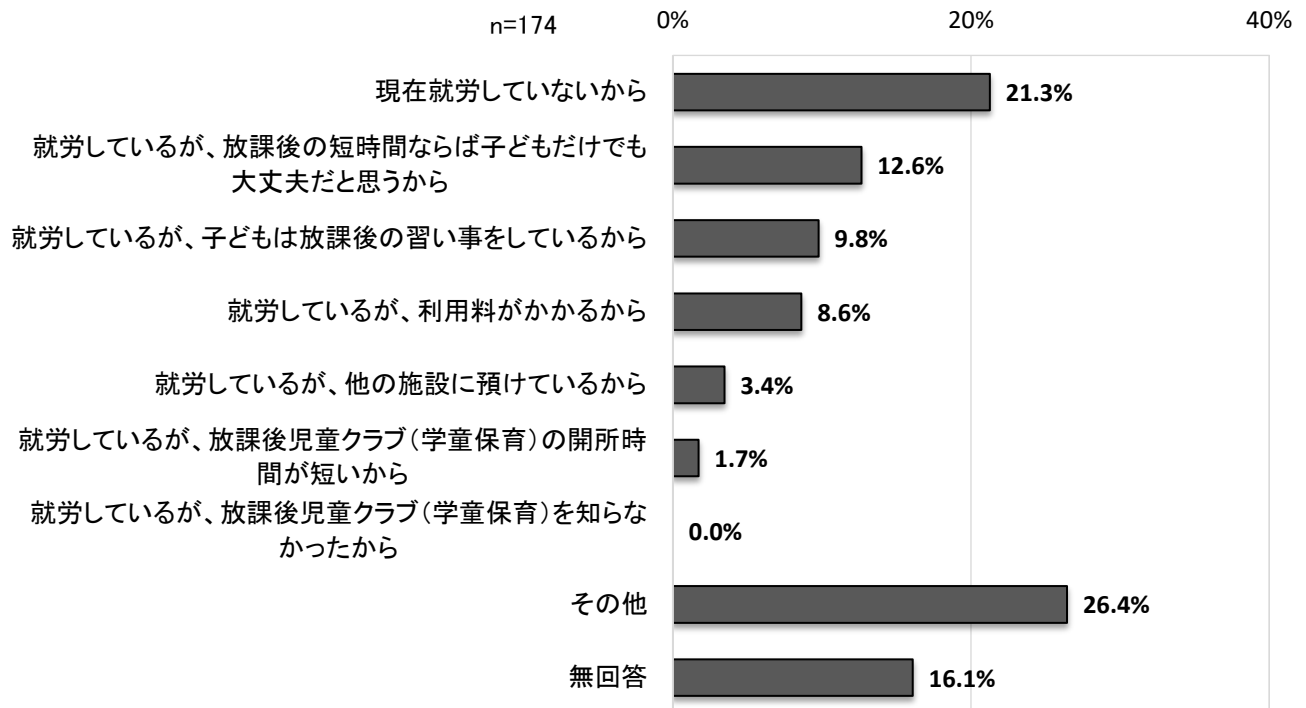
●利用している主な理由（1つに○）



■平日に利用していない主な理由（1つに○）

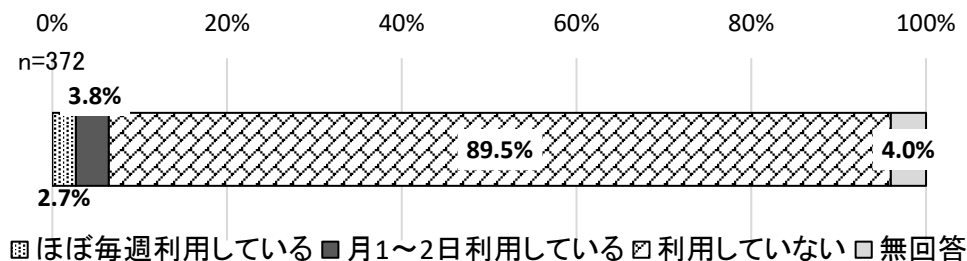
※「3. 利用していない」と答えた方

平日に放課後児童クラブを利用していない理由は、「その他」の割合が26.4%と最も高く、次いで「現在就労していないから」21.3%、「就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけでも大丈夫だと思うから」12.6%となっています。



■土曜日の利用状況（1つに○）

土曜日の放課後児童クラブの利用状況を見ると、「利用していない」が89.5%と最も高くなっています。『利用している』（「ほぼ毎週利用している」と「月1～2日利用している」の合計）の割合は6.5%となっています。



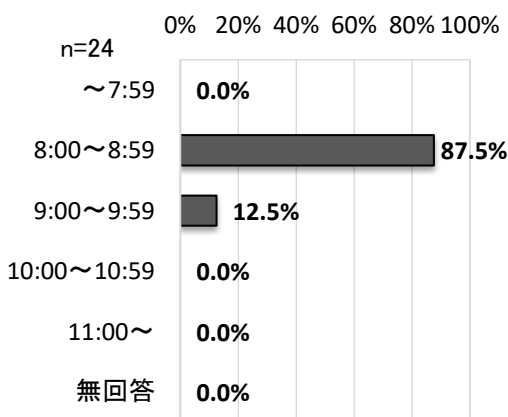
■土曜日の利用時間帯と利用している主な理由

※「1. ほぼ毎週利用している」「2. 月1～2日利用している」と答えた方

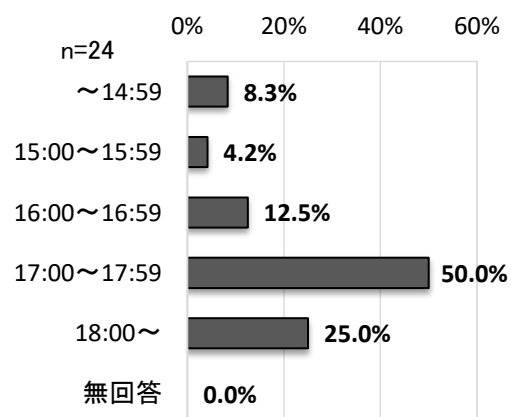
土曜日の放課後児童クラブの利用時間帯を見ると、利用開始時間は、「8:00～8:59」の割合が87.5%と最も高くなっています。利用終了時間は、「17:00～17:59」の割合が50.0%と最も高く、次いで「18:00～」25.0%となっています。

利用している主な理由は、「現在就労している」が95.8%とほとんどを占めています。

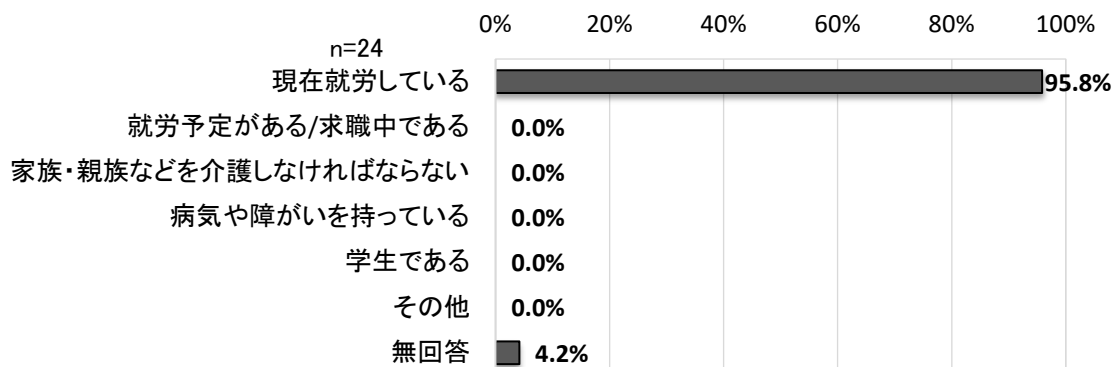
●利用開始時間（数量回答）



●利用終了時間（数量回答）



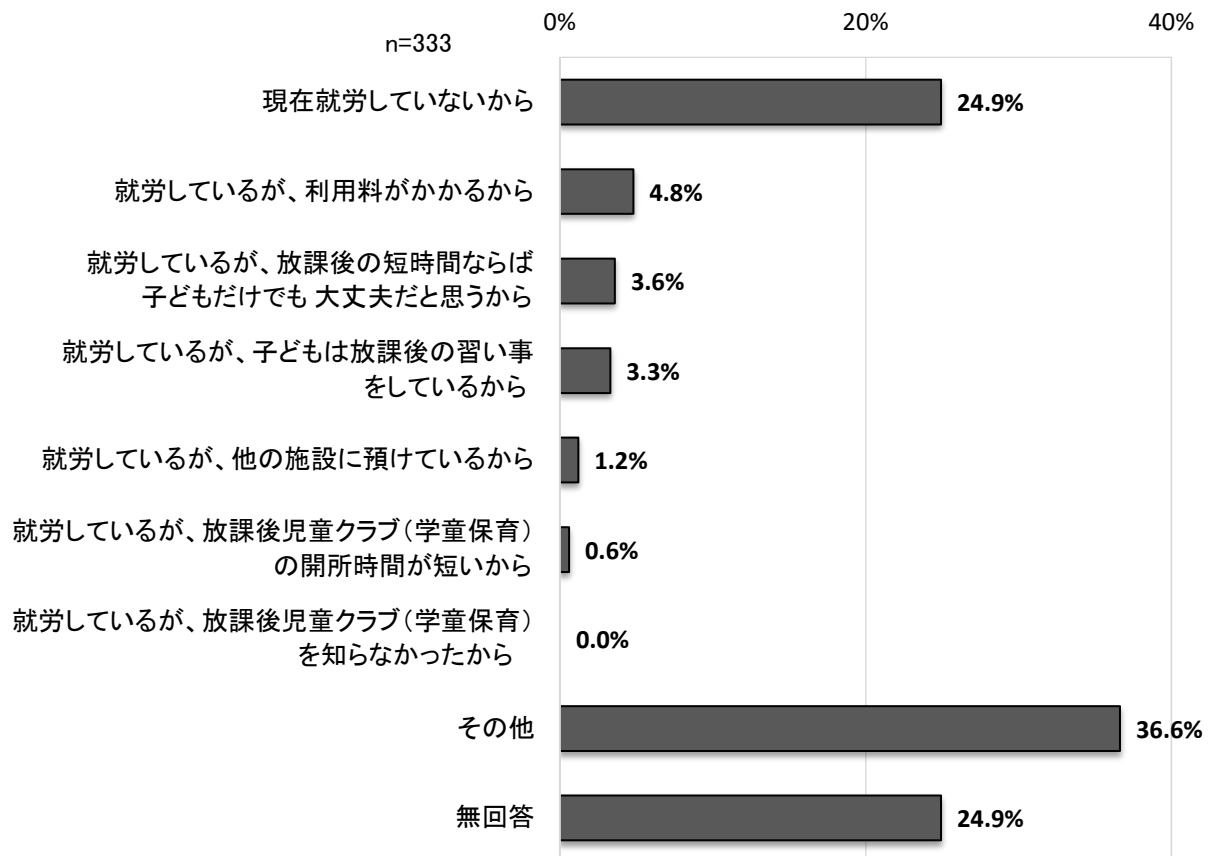
●利用している主な理由（1つに○）



■土曜日に利用していない主な理由（1つに○）

※「3. 利用していない」と答えた方

土曜日に放課後児童クラブを利用していない理由は、「その他」の割合が36.6%と最も高く、次いで「現在就労していないから」が24.9%となっています。

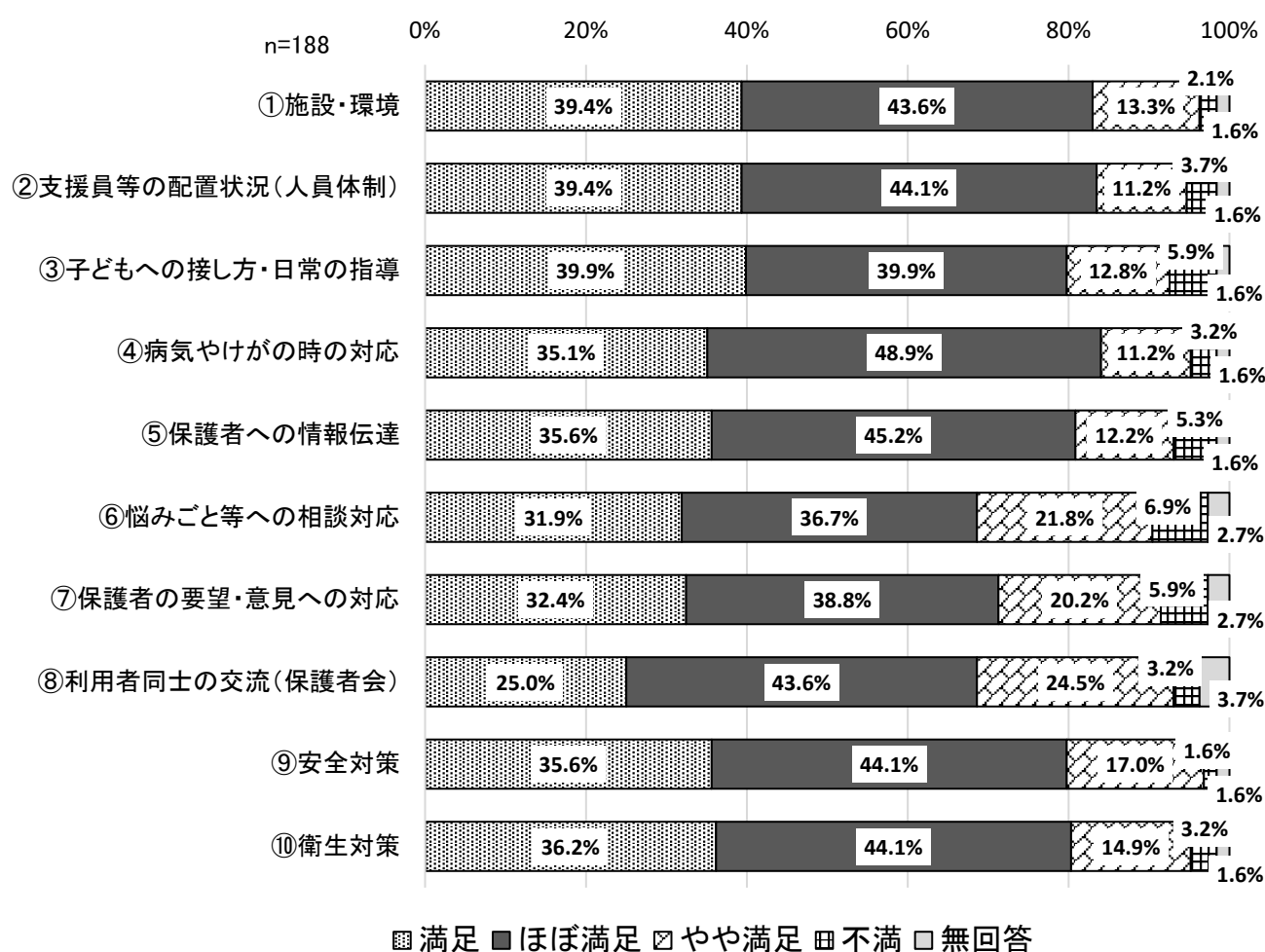


問 18 放課後児童クラブ（学童保育）に対してどのように感じていますか。

（①～⑩のそれぞれ1つに○）

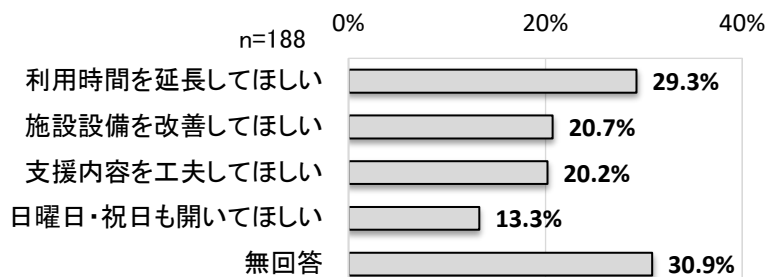
放課後児童クラブ（学童保育）の満足度は、『満足』（「満足」、「ほぼ満足」、「やや満足」の合計、以下同様）の割合が9割と、全体的に満足されている状況となっています。

一方で、『満足』の中で比較的満足度が低い「やや満足」についてみると、10項目のうち「⑥悩みごと等への相談対応」、「⑦保護者の要望・意見への対応」、「⑧利用者同士の交流（保護者会）」の3項目では割合が2割を超えており、他の項目に比べて、比較的満足度が低いことがうかがえます。



問 19 現在通っている放課後児童クラブ（学童保育）に対して次のような要望がありますか。（〇は2つまで）

放課後児童クラブ（学童保育）への要望は、上位から「利用時間を延長してほしい」29.3%、「施設設備を改善してほしい」20.7%、「支援内容を工夫してほしい」20.2%となっています。

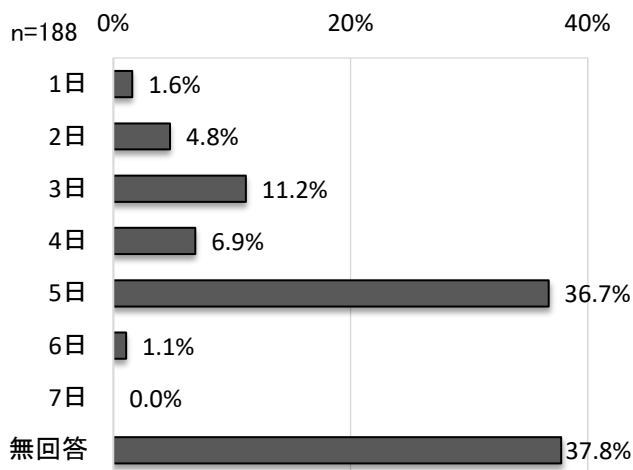


問 20 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後児童クラブの利用希望はありますか。平日（小学校終了後）、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇それぞれについてご記入ください。平日は、週当たり日数を枠内にご記入ください。

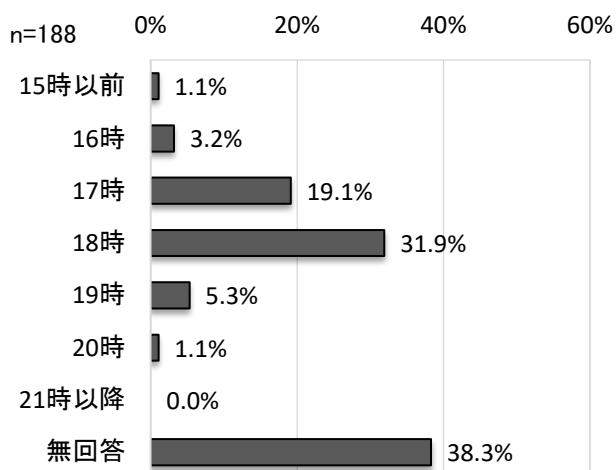
（1）平日

小学校高学年の放課後児童クラブの平日の利用希望をみると、週当たりの希望日数では「5日」の割合が36.7%と最も高くなっています。下校時からの希望する終了時間は「18時」の割合が31.9%と最も高く、次いで「17時」19.1%となっています。

●週当たりの利用希望日数（数量回答）



●希望する利用終了時間（数量回答）



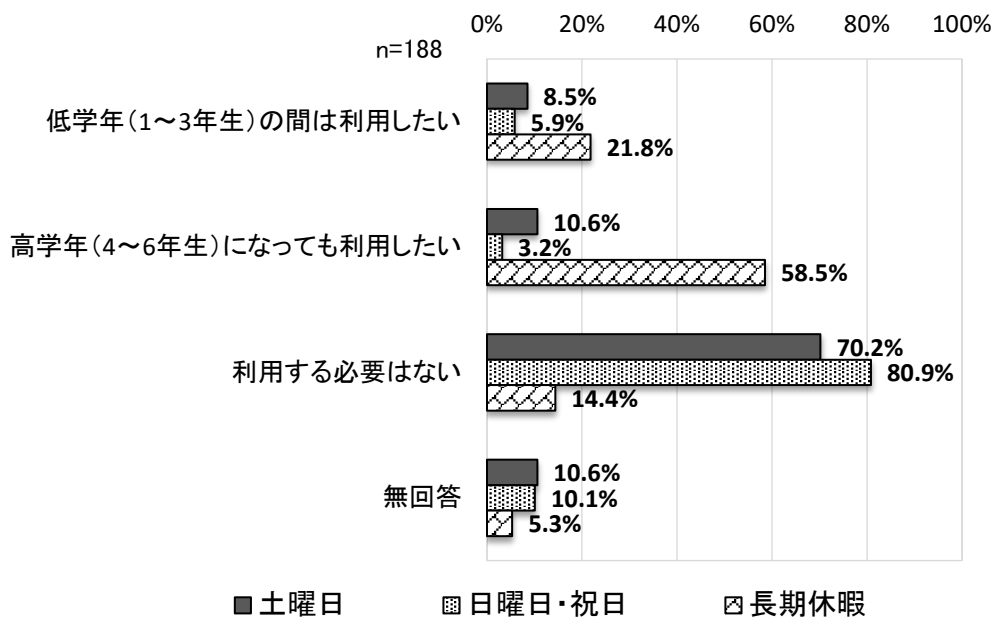
(2) 土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇

小学校高学年の放課後児童クラブの土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇の利用希望をみると、土曜日と日曜日・祝日では「利用する必要はない」の割合がそれぞれ70.2%、80.9%と最も高くなっています。一方で、長期休暇では、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が58.5%と最も高くなっています。

希望する利用開始時間をみると、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇のすべてにおいて「8時」の割合が高くなっています。

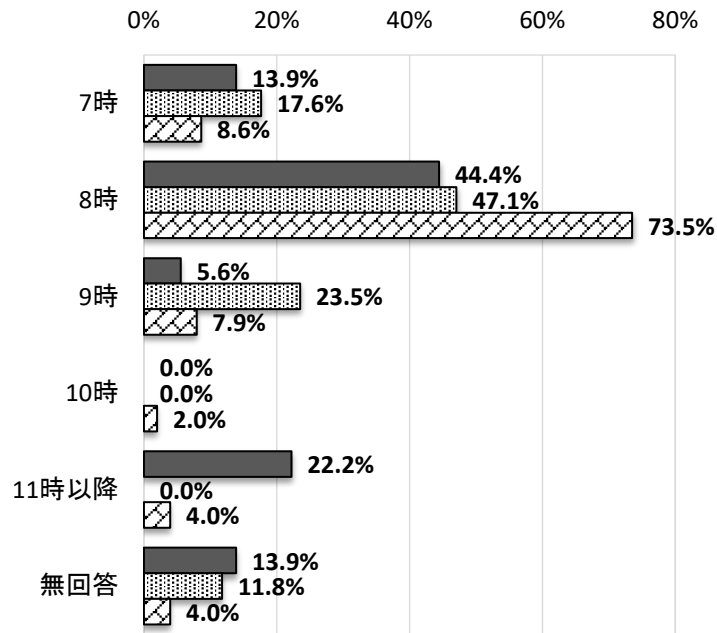
希望する利用終了時間をみると、土曜日、日曜日・祝日は「17時」、長期休暇は「18時」の割合が最も高くなっています。

●利用の希望 (1つに○)



●希望する利用開始時間（数量回答）

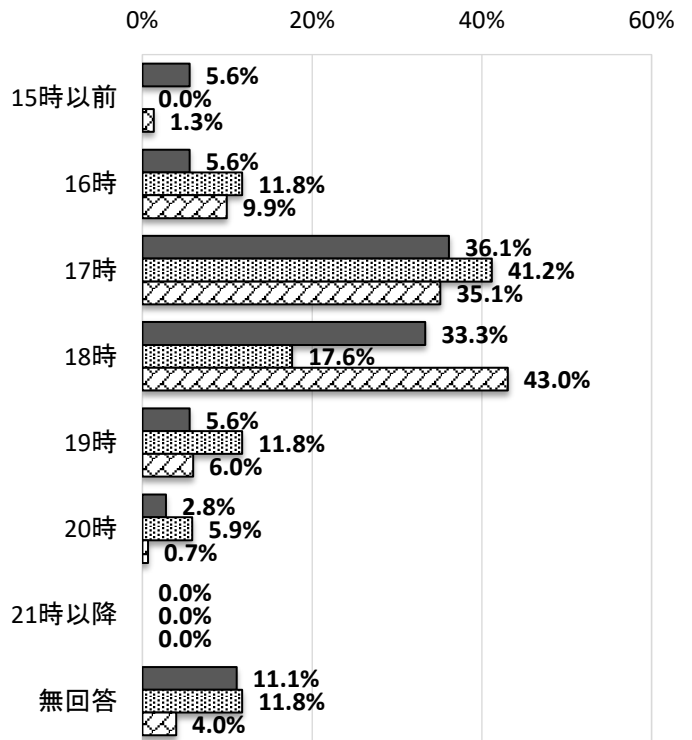
※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方



■土曜日 n=36 ▨日曜日・祝日 n=17 ▩長期休暇 n=151

●希望する利用終了時間（数量回答）

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方



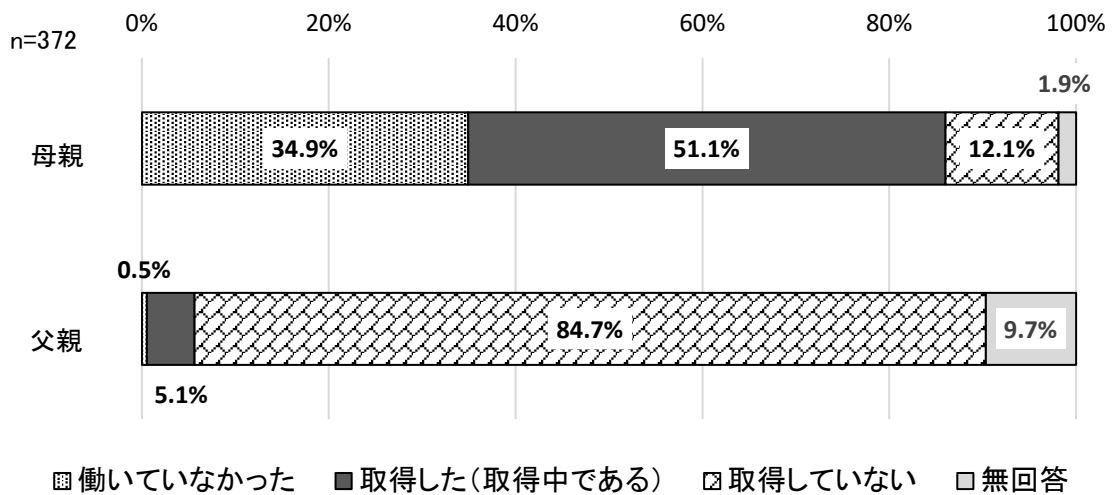
■土曜日 n=36 ▨日曜日・祝日 n=17 ▩長期休暇 n=151

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についておうかがいします

問 21 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

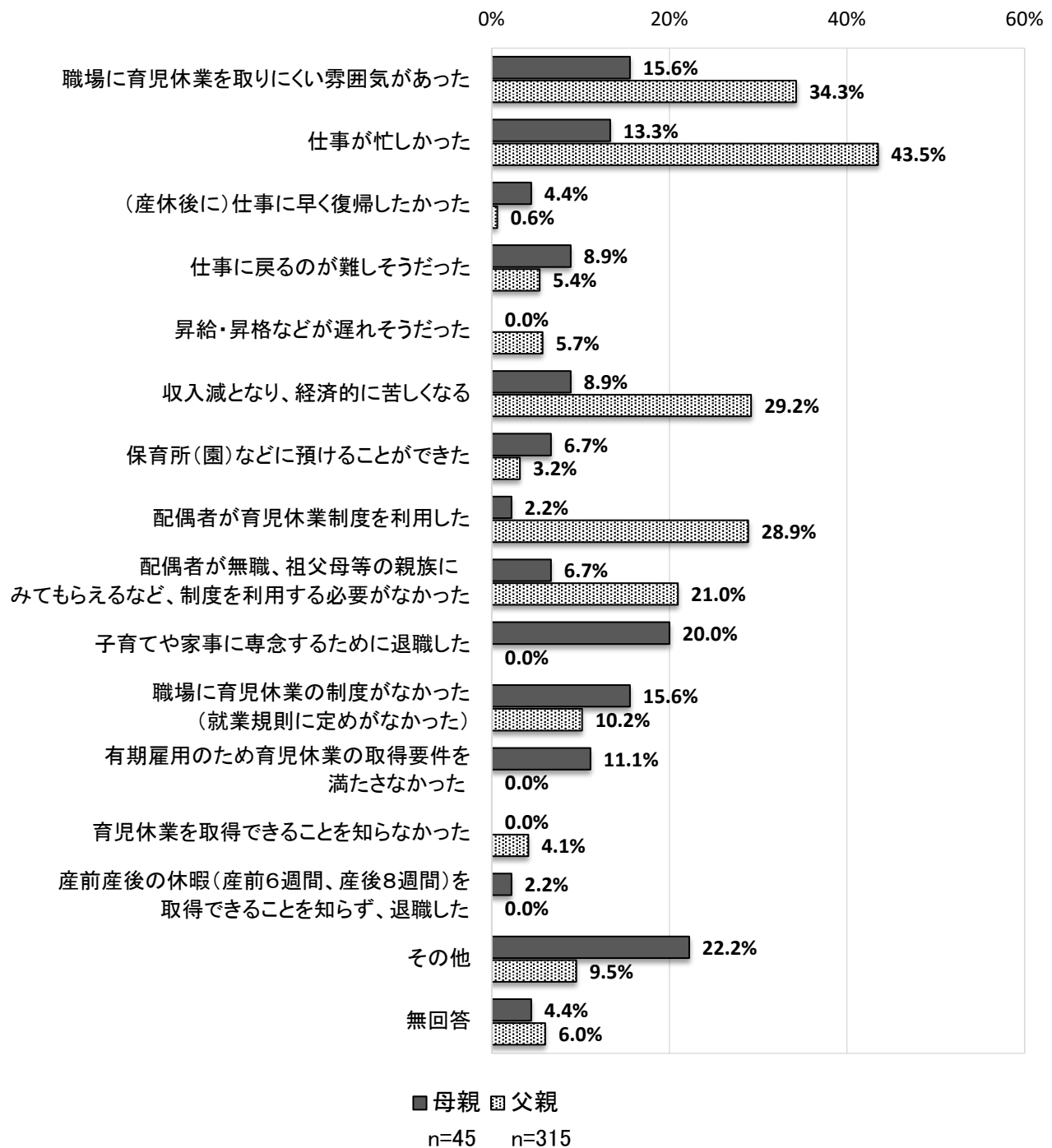
■ 育児休業の取得状況（1つに○）

子どもが生まれた時の保護者の育児休業の取得状況について、「取得した（取得中である）」の割合が母親で 51.1%、父親で 5.1%となっています。また「取得していない」の割合は父親で 84.7%とほとんどを占めています。



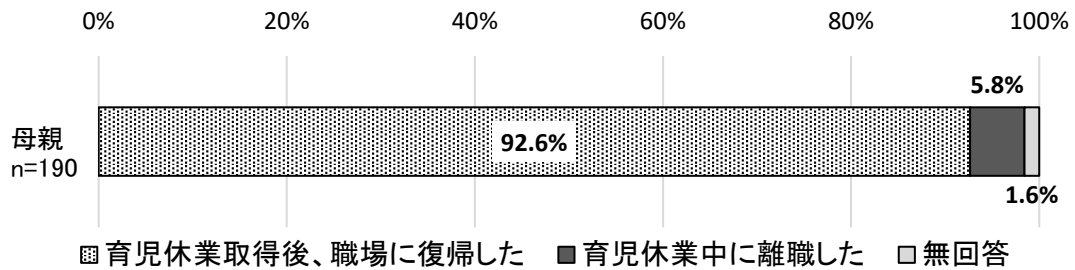
■取得していない理由（あてはまるものすべてに○）

育児休業を取得していない理由は、母親では「その他」の割合が22.2%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するために退職した」20.0%となっています。父親では「仕事が忙しかった」の割合が43.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」34.3%となっています。



問 21-① 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)

育児休業取得後の職場への復帰は、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が92.6%、84.2%とそれぞれ最も高くなっています。



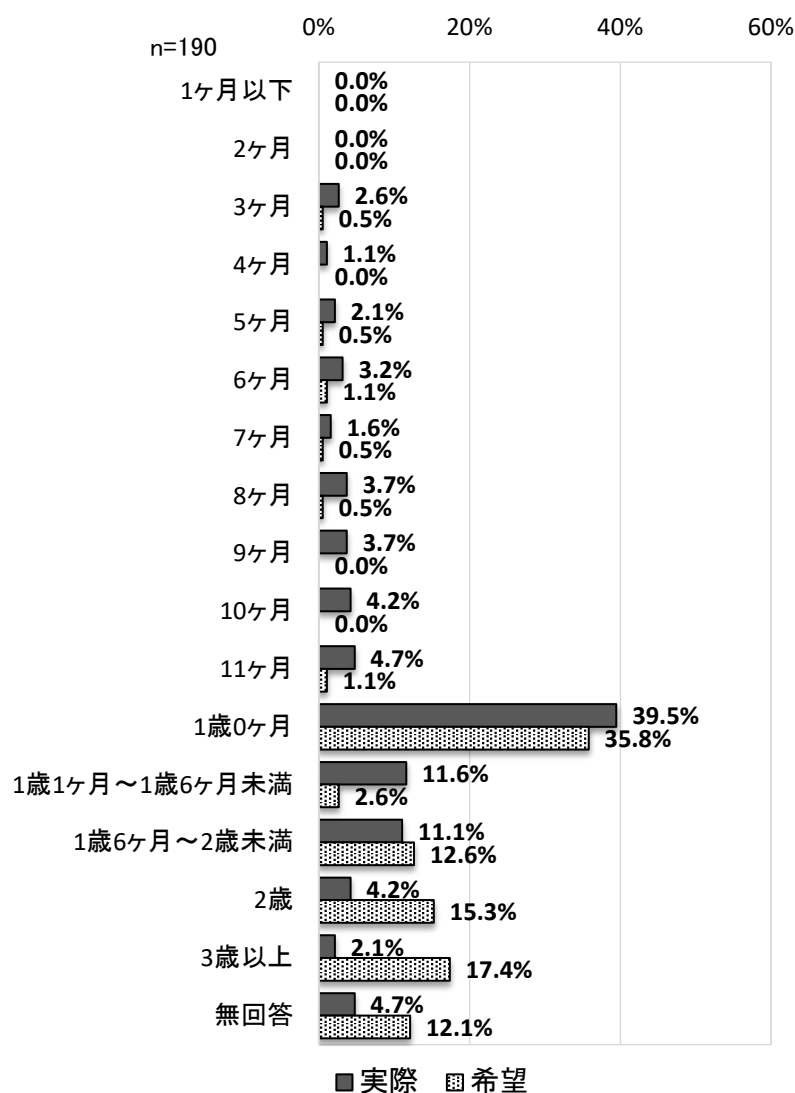
父親	件数	割合 (%)
育児休業取得後、職場に復帰した	16	84.2%
育児休業中に離職した	0	0.0%
無回答	3	15.8%
合計 (n=)	19	100.0%

問 21-② 育児休業からは「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

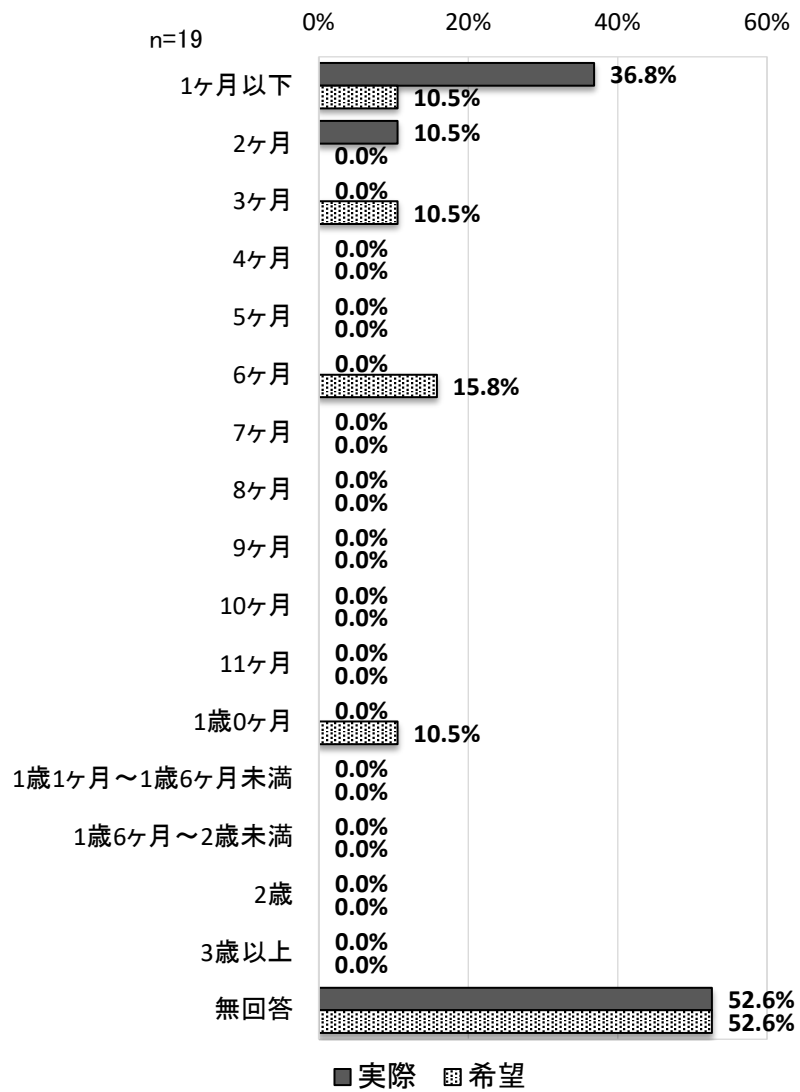
※問 21 で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

職場復帰時の子どもの年齢は、母親では「実際」、「希望」ともに「1歳0ヶ月」の割合が最も高くなっています。父親では「実際」は「1ヶ月以下」、「希望」は「6ヶ月」の割合が最も高くなっており、「実際」と「希望」の期間に差がみられています。

●母親



●父親

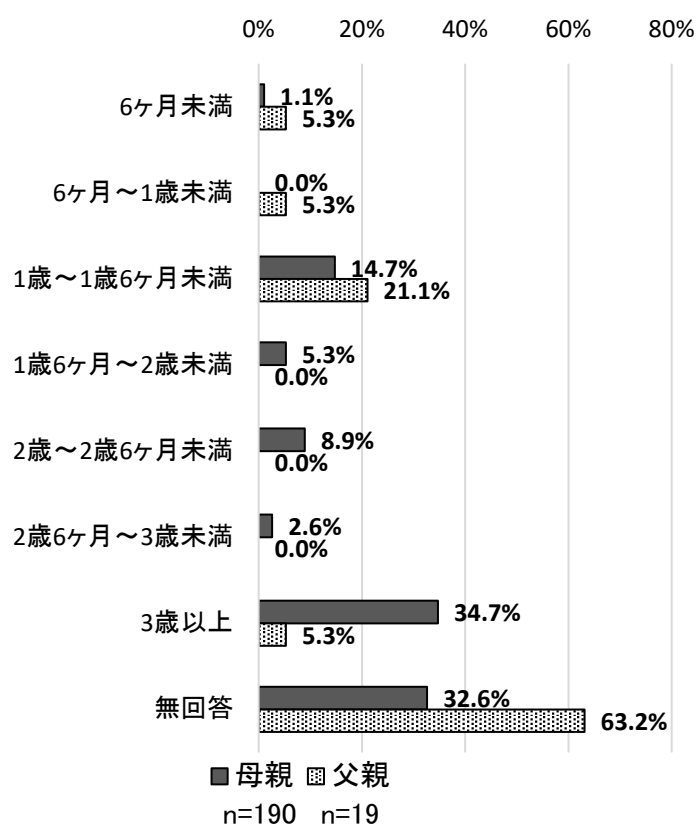


問 21-③ お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

※問 21 で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

■ 職場復帰した時の子どもの年齢 (数量回答)

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、何歳何か月まで取りたかったかについては、母親は「3歳以上」の割合が34.7%と最も高く、父親は「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が21.1%と最も高くなっています。



問 21-④ 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。

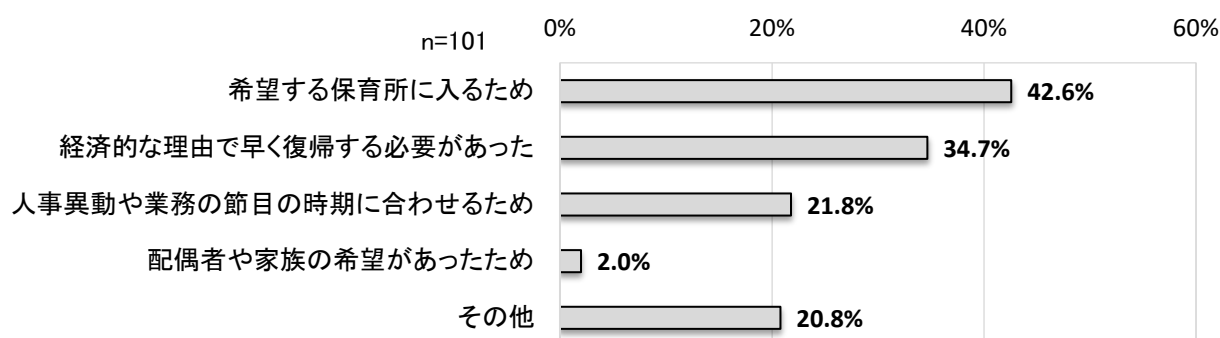
※問 21-②で実際の復帰と希望が異なる方

■3歳まで取得できる制度があった場合、職場復帰を希望する子どもの年齢（数量回答）

母親の回答で、希望より早く復帰した方は、上位から「希望する保育所に入るため」42.6%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」34.7%となっています。また、希望より遅く復帰した方は、「希望する保育所に入れなかったため」が20.8%と最も高くなっています。

(1) 「希望」より早く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

●母親

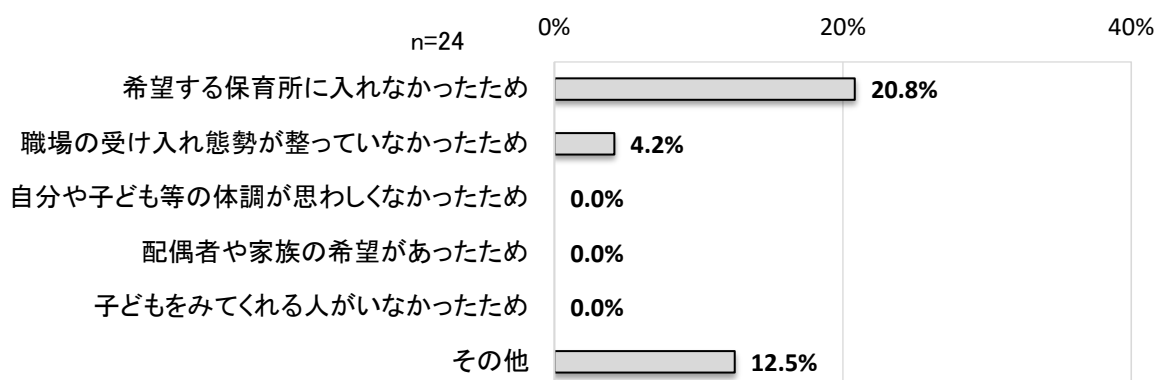


●父親

父親	件数	割合 (%)
希望する保育所に入るため	1	12.5%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	2	25.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	1	12.5%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
その他	3	37.5%
合計 (n=)	8	

(2) 「希望」より遅く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

●母親



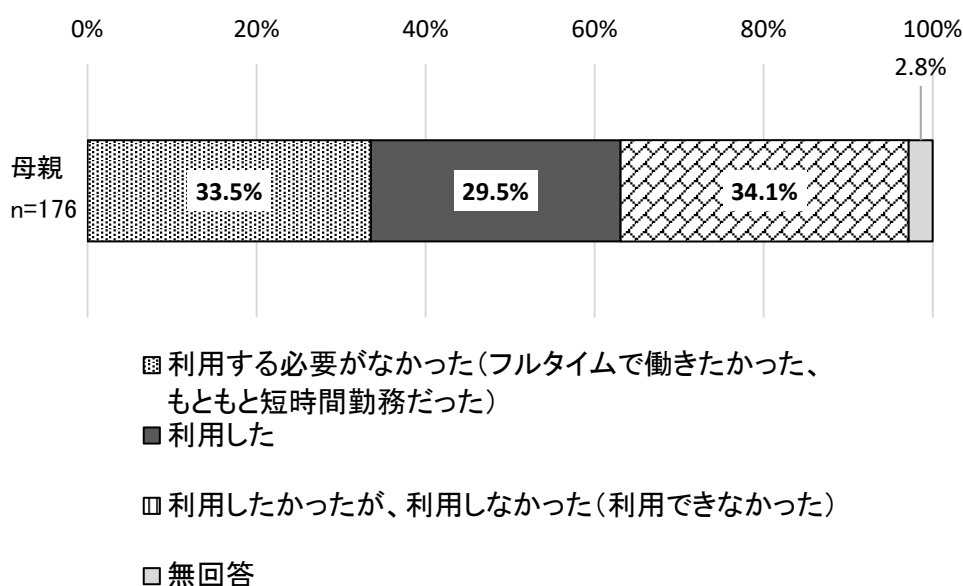
※父親の回答はありませんでした。

問 21-⑤ 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)
 ※問 21-①で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

短時間勤務制度について、母親は「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が34.1%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」33.5%、「利用した」29.5%となっています。

父親は「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が最も高くなっています。

●母親



●父親

父親	件数	割合 (%)
利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	8	50.0%
利用した	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	4	25.0%
無回答	4	25.0%
合計(n=)	16	100.0%

問 21-⑥ 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

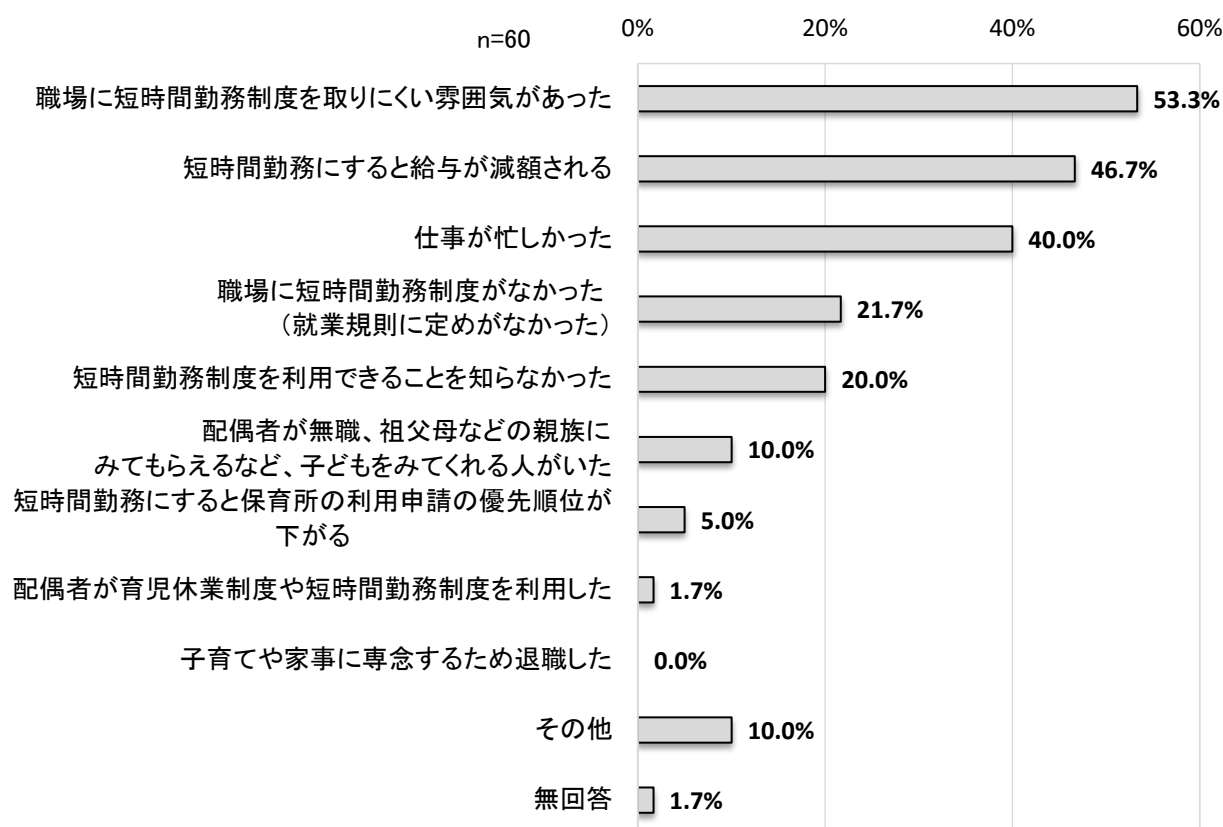
（あてはまるものすべてに○）

※問 21-⑤で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と答えた方

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由では、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」46.7%、「仕事が忙しかった」40.0%となっています。

父親は「短時間勤務にすると給与が減額される」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」の割合が最も高くなっています。

●母親



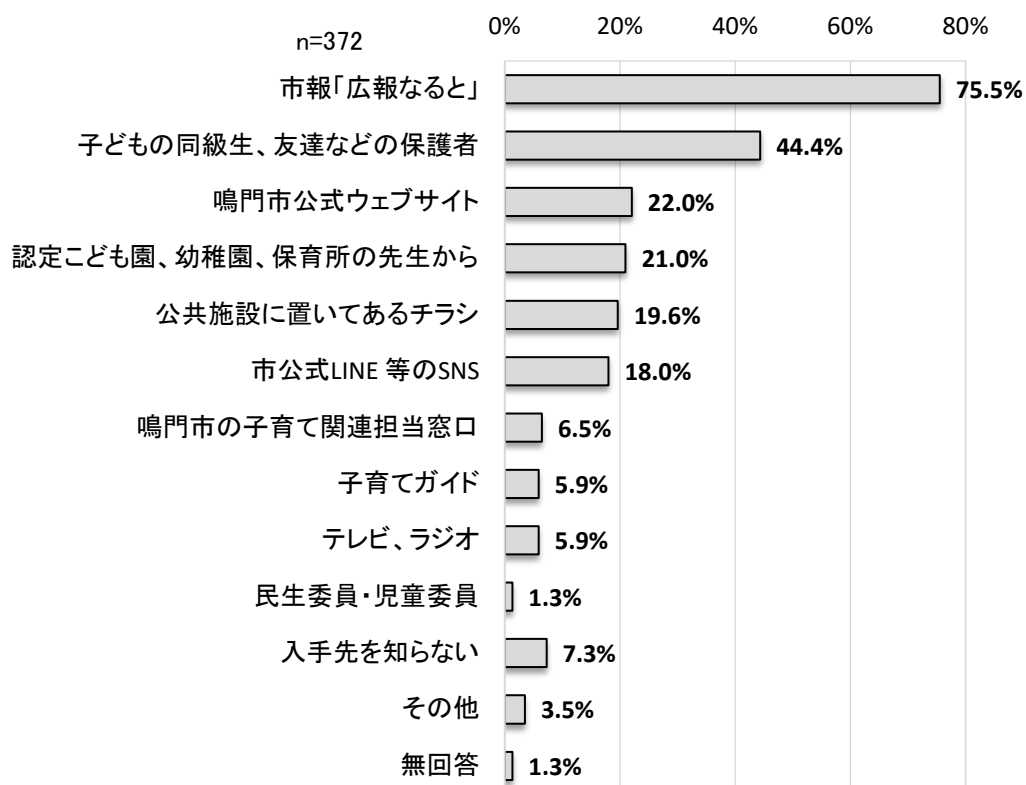
●父親

父親	件数	割合 (%)
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	25.0%
短時間勤務にすると給与が減額される	2	50.0%
仕事が忙しかった	1	25.0%
職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	0	0.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた	2	50.0%
短時間勤務にすると保育所の利用申請の優先順位が下がる	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	2	50.0%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計 (n=)	4	

問 22 あなたは、鳴門市の子育てに関する情報はどこから入手していますか。

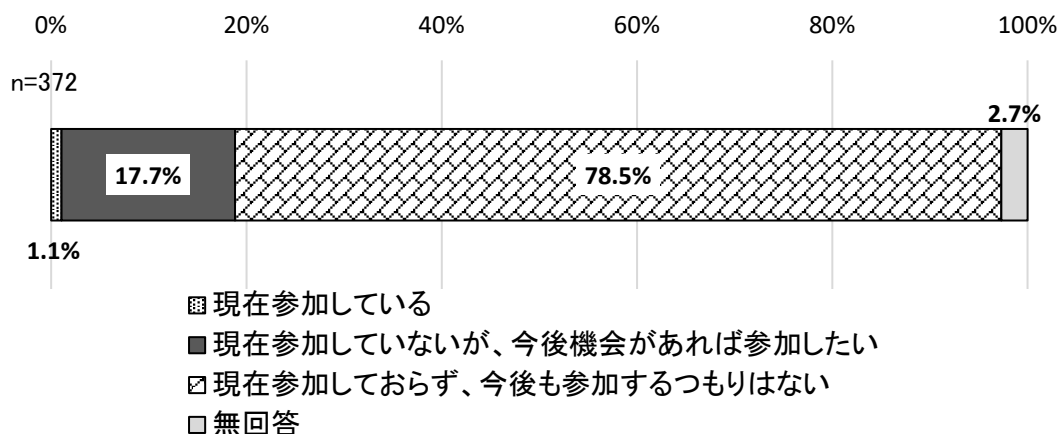
(あてはまるものすべてに○)

鳴門市の子育てに関する情報の入手先は、「市報『広報なると』」の割合が 75.5%と最も高く、次いで「子どもの同級生、友達などの保護者」44.4%、「鳴門市公式ウェブサイト」22.0%となっています。



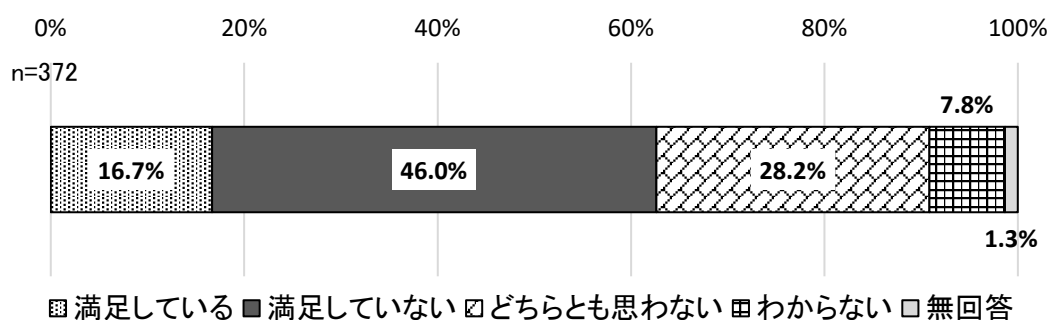
問 23 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。(1つに○)

子育てサークルなどの自主的な活動への参加については、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「現在参加していないが、今後機会があれば参加したい」17.7%となっています。「現在参加している」は 1.1%と低くなっています。



問 24 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(1つに○)

子どもの遊び場については、「満足していない」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「どちらとも思わない」28.2%となっています。「満足していない」46.0%に対して、「満足している」16.7%となっていることから、子どもの遊び場に関しての満足度が低い傾向がみられます。



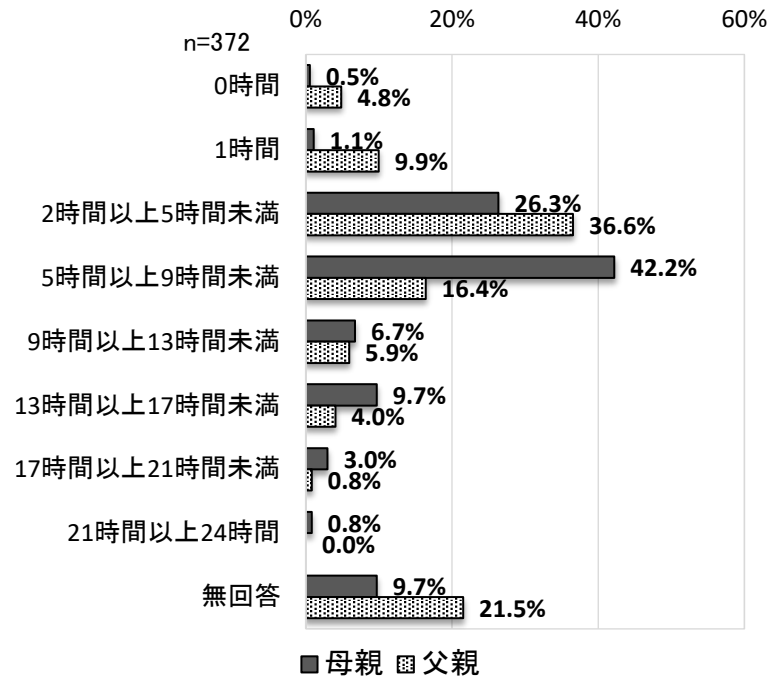
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス） についておうかがいします

問 25 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。枠内に数字でご記入ください。（1週間の平均的な時間をお答えください。数字は一枠に一字）また、その時間は十分だと思いますか。

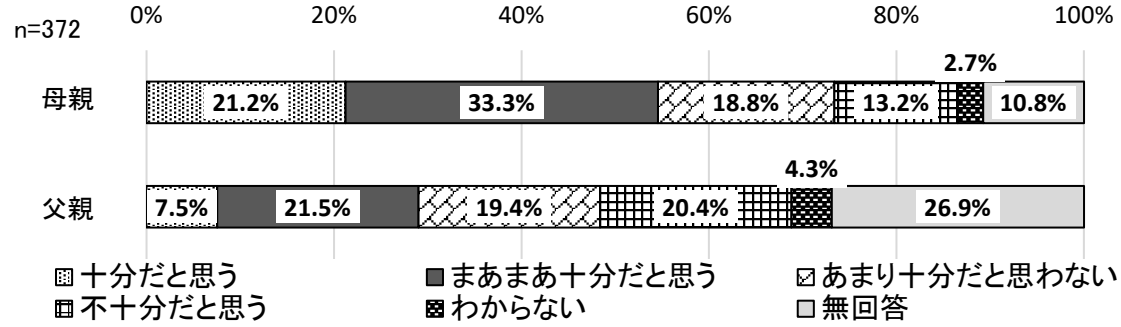
子どもと一緒に過ごす時間は、母親では「5時間以上9時間未満」の割合が42.2%と最も高く、父親では「2時間以上5時間未満」の割合が36.6%と最も高くなっています。

その時間を十分と思うかについては、母親では『十分』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計、以下同様）の割合が54.5%となっています。一方、父親では『十分』の割合が29.0%となっており、母親と比べて、子どもと過ごす時間が十分だと思っていない方が多くなっています。

●子どもと一緒に過ごす時間（数量回答）



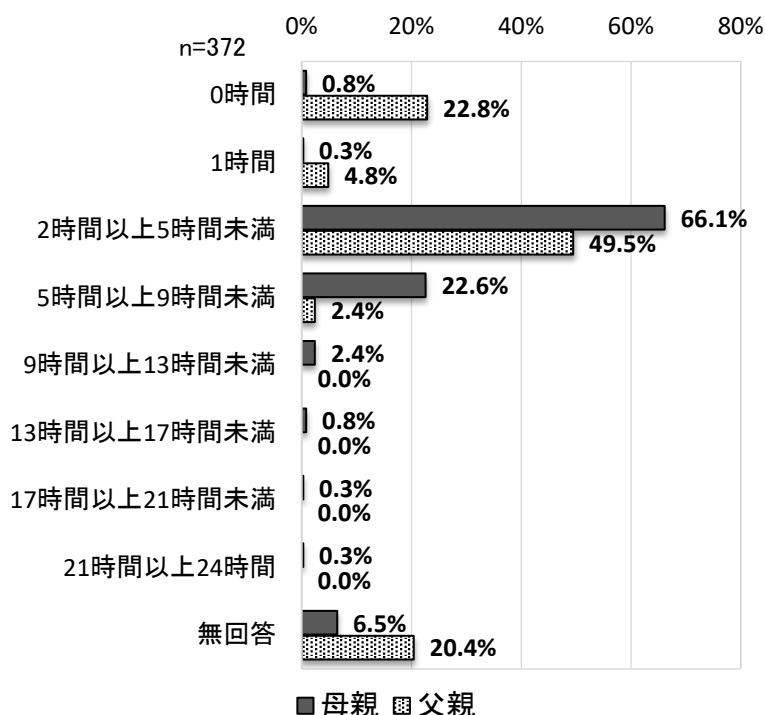
●子どもと一緒に過ごす時間への認識（1つに○）



問 26 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。枠内に数字でご記入ください。

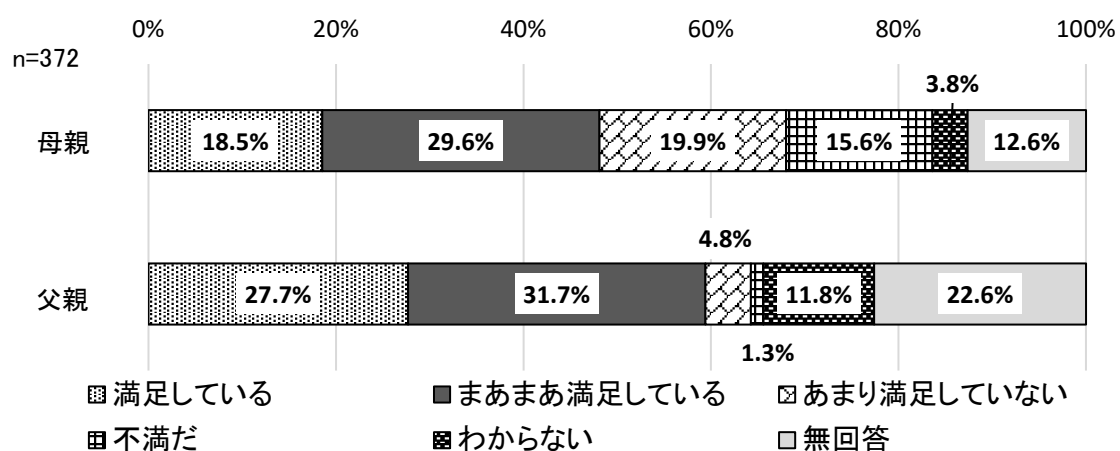
(1週間の平均的な時間をお答えください。数字は一枠に一字)

1日当たりの家事については、母親・父親ともに「2時間以上5時間未満」の割合が最も高く、それぞれ66.1%、49.5%となっています。



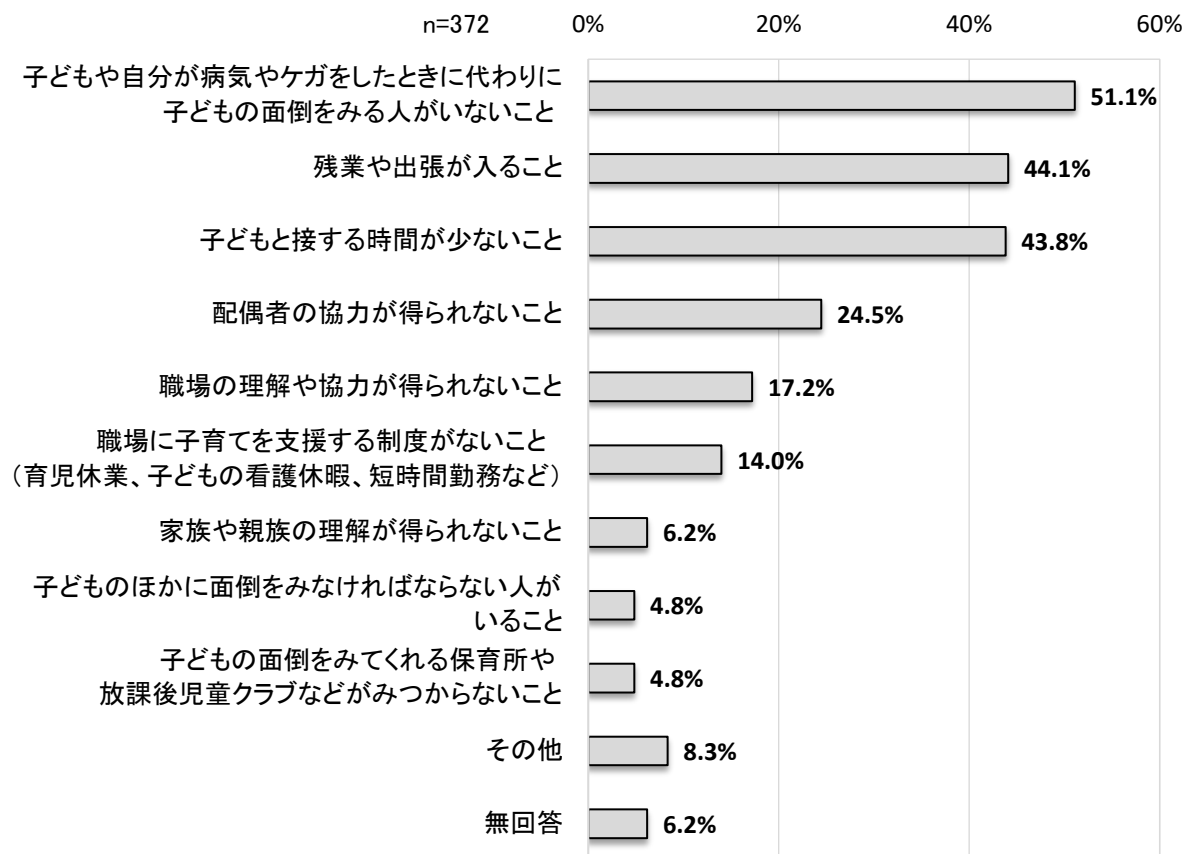
問 27 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。(1つに○)

配偶者との家事、育児分担の満足度は、『満足』(「満足している」と「まあまあ満足している」の合計)の割合が母親では48.1%、父親では59.4%と、母親・父親ともに約半数以上が満足しています。



問 28 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。
 現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

仕事と子育ての両立で大変なことは、上位から「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」51.1%、「残業や出張が入ること」44.1%、「子どもと接する時間が少ないこと」43.8%となっています。

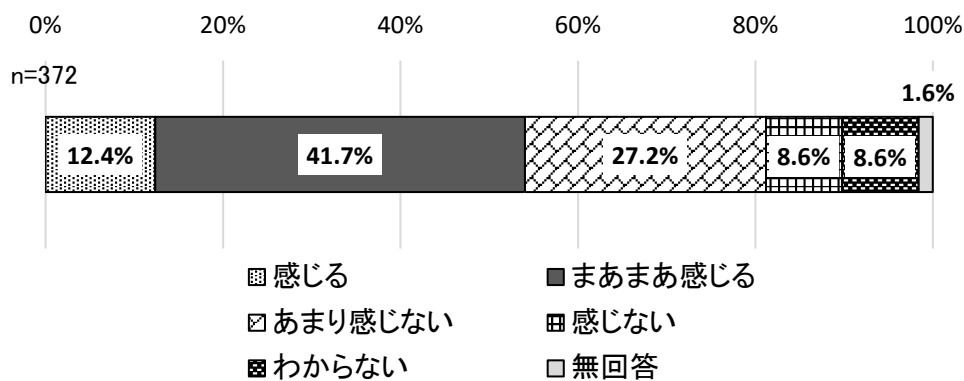


問 29 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。

現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。

(1つに○)

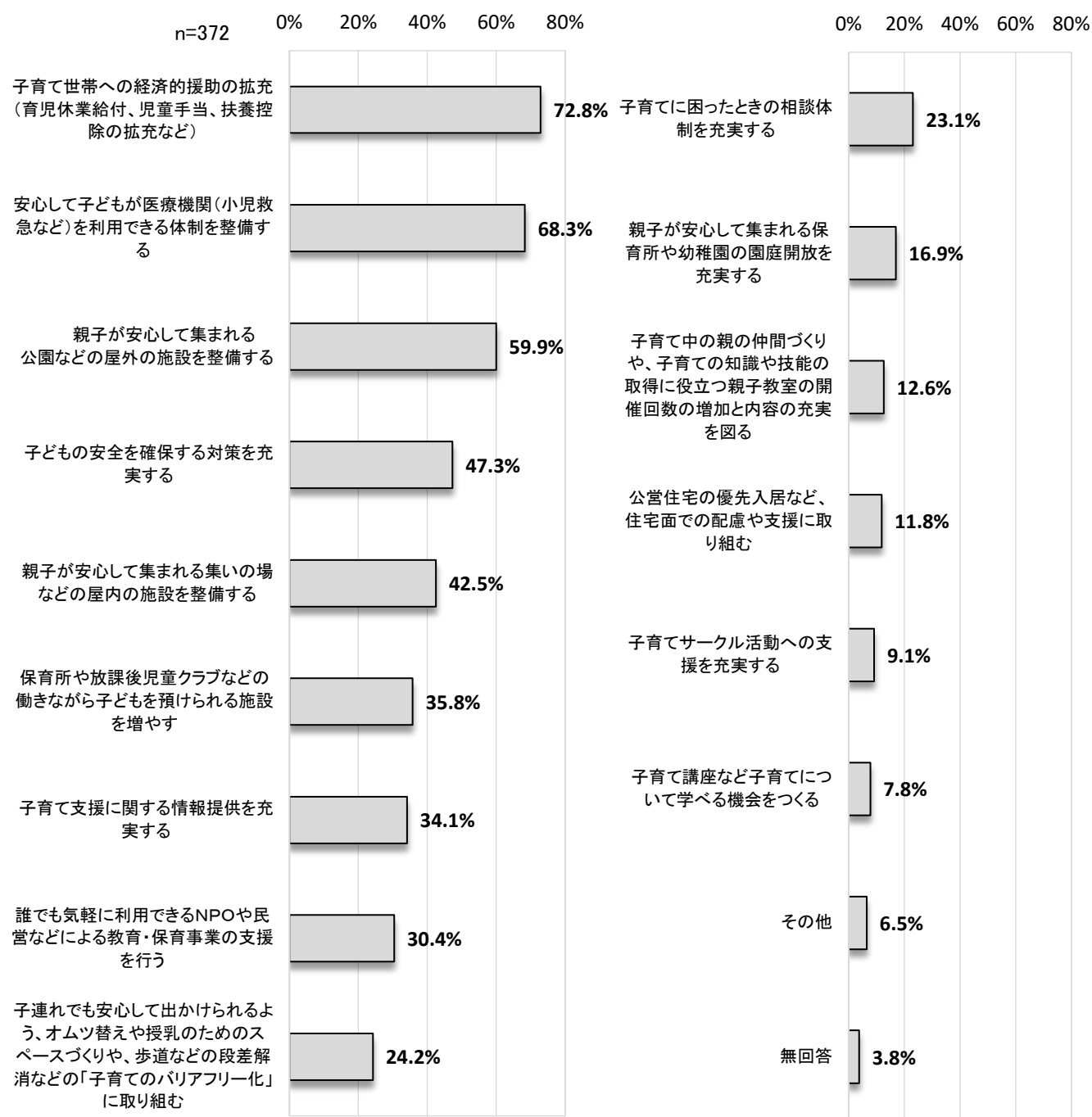
仕事と生活の調和が図られていると感じているかは、『感じる』(「感じる」と「まあまあ感じる」の合計)の割合は 54.1%となっており、半数以上の方は仕事と生活の調和が図られていると感じています。一方で『感じない』(「あまり感じない」と「感じない」の合計)の割合は 35.8%となっています。



行政への要望

問 30 行政に対して、子育て支援の現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。(あてはまるものすべてに○)

希望する支援策に関しては、上位から「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など）」72.8%、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」68.3%、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」59.9%となっています。



問 31 鳴門市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(1つに○)

鳴門市における子育ての環境や支援への満足度は、「満足度 3」の割合が 44.6%と最も高くなっています。また、『満足度が高い』（「満足度 4」と「満足度 5」の合計）の割合は 22.6%、『満足度が低い』（「満足度 1」と「満足度 2」の合計）の割合は 29.0%となっており、鳴門市における子育ての環境や支援について、比較的満足度が低い傾向がみられます。

